



水と緑と太陽の里 宜野座村
GINOZA SON

宜野座村観光振興計画

令和4年3月
宜野座村



目次

第1章 計画策定にあたり	1
1. 計画策定の背景.....	3
2. 計画の位置づけ.....	4
3. 計画の目的.....	5
4. 計画の期間.....	6
5. 本計画作成のスケジュール.....	6
6. 本計画作成の構成.....	7
7. 本計画作成における体制.....	8
(1) 宜野座村観光振興委員会 委員構成.....	8
(2) 委員会開催.....	8
第2章 宜野座村観光の現状と課題	9
1. 宜野座村観光振興計画（平成27年度策定）の評価.....	11
2. 宜野座村観光の状況.....	12
(1) 入込客数の推移.....	12
(2) 各項目別の入域者数の推移.....	14
3. 宜野座村観光について県外・村外客および村民が求める姿.....	20
(1) 県外・村外の方が求める宜野座村観光の姿.....	20
(2) 村民が求める宜野座村観光の姿.....	28
4. 宜野座村の観光の特徴と課題.....	32
第3章 宜野座村の観光振興の基本方針	35
1. 基本理念と目標.....	37
2. 基本方針（施策の方向性）.....	38
3. 施策体系（全体構成）.....	39
4. 推進体制および各主体の役割.....	40
第4章 具体的な取り組みと目標	43
1. 具体的な取り組み内容.....	45
2. 実施のロードマップ.....	57
3. 効果を検証するための指標 KPI・目標値.....	58
資料編	61
1. 宜野座村の観光の歴史.....	63
2. 宜野座村観光協会のこれまでの取り組み.....	64
3. 宜野座村観光振興委員会の概要.....	69

4. 地域ワーキングの概要	71
5. 来村者アンケート調査結果 自由意見・要望等	77
6. 国内・県内における観光の状況	79
(1) 国内の動き	79
(2) 沖縄県全体の動き	81

第 1 章 計画策定にあたり

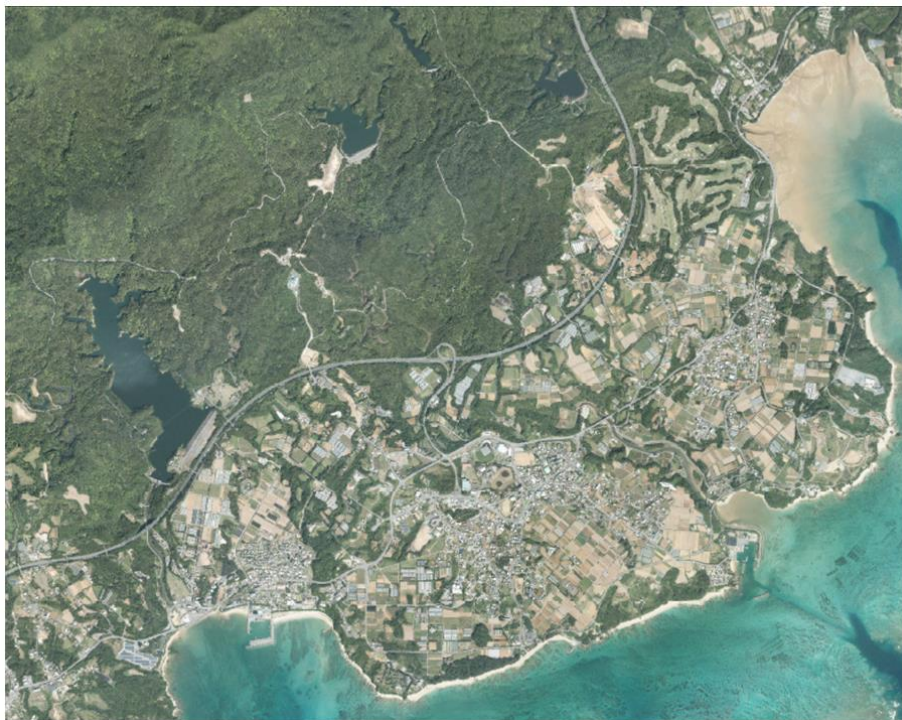
1. 計画策定の背景

これまで宜野座村としては、昭和 62 年度に観光振興計画を策定後、検証や改定がなされないまま経過していましたが、平成 20 年 5 月に宜野座村観光推進協議会を設立し、村内観光事業者と共に、本村における観光誘客の本格的な活動が始まり、平成 26 年 4 月に本村の機構改革において観光商工課を設置、平成 27 年 5 月には協議会を一般社団法人宜野座村観光協会（以下「観光協会」という）へと法人化し、平成 28 年 3 月に宜野座村観光振興計画（改正版）を策定するなど、宜野座村ならではの地域資源を活用した観光の振興を推進してきました。

あわせて、平成 30 年 4 月に「宜野座村観光拠点施設」の新設に伴い、「道の駅ぎのぞ」がリニューアルされたことから、平成 30 年度には 108 万人を超える入域客数を記録するなど、村外からの客の流入が大きく変化し、新たな賑わいの形が出てきています。

しかしながら本計画改定を前に、令和 2 年 1 月からの世界的な新型コロナウイルス感染症拡大による、人の移動の制限、抑制等により、旅行業界の動きがストップし、国内的にも、世界的にも、未だ先が見えない厳しい状況下の中で、同時に新しい観光の形への変化、変革が求められ、問われている状況でもあります。

今回改定する「宜野座村観光振興計画」については、新型コロナウイルス感染症拡大等、未だ厳しい状況下を踏まえ、見えてきた宜野座村独自の観光の形、今後の方向性等について、地域関係者と意見を交わし、本村の実情、現状に見合った計画の策定を目指すことと致しました。



2. 計画の位置づけ

本計画は、上位計画となる「第5次宜野座村総合計画・後期基本計画（令和4年3月策定）」に掲げるむらづくりの将来像である「水と緑と太陽の里・宜野座村」の実現に向けた、「基本施策4-3地域特性を活かした観光・商工業の振興」の具体的な計画となります。策定にあたっては、国や県の施策や観光関連計画に留意するとともに、宜野座村における各種関連計画との整合性を図り策定しています。

上位機関の関連計画等

国	沖縄県
<ul style="list-style-type: none"> ●観光立国推進基本法（平成18年度） ●観光立国実現に向けたアクション・プログラム（平成25年度） ●観光立国推進基本計画（H28年度） ●明日の日本を考える観光ビジョン（H28年度） 	<ul style="list-style-type: none"> ●沖縄21世紀ビジョン（平成21年度） ●沖縄21世紀ビジョン基本計画（平成28年度） ●沖縄21世紀ビジョン実施計画 改定版（平成28年度） ●沖縄県観光振興計画（第5次）（平成28年度） ●沖縄観光推進ロードマップ改訂版（平成28年度）

宜野座村

宜野座村第5次総合計画

基本構想

（2016（平成28年）～2025（令和7年度））

前期基本計画

（2016（平成28）年度～2020（令和2年度））

後期基本計画

2021（令和3）年度～2025（令和7）

まち・ひと・しごと創生総合戦略 （平成27年度）

- 宜野座村人口ビジョン
- 宜野座村総合戦略

宜野座村観光振興計画 （H27年度）

第3次宜野座村観光振興計画



各分野別計画

福地川リバーパーク基本計画



宜野座村地域資源活性化プラン

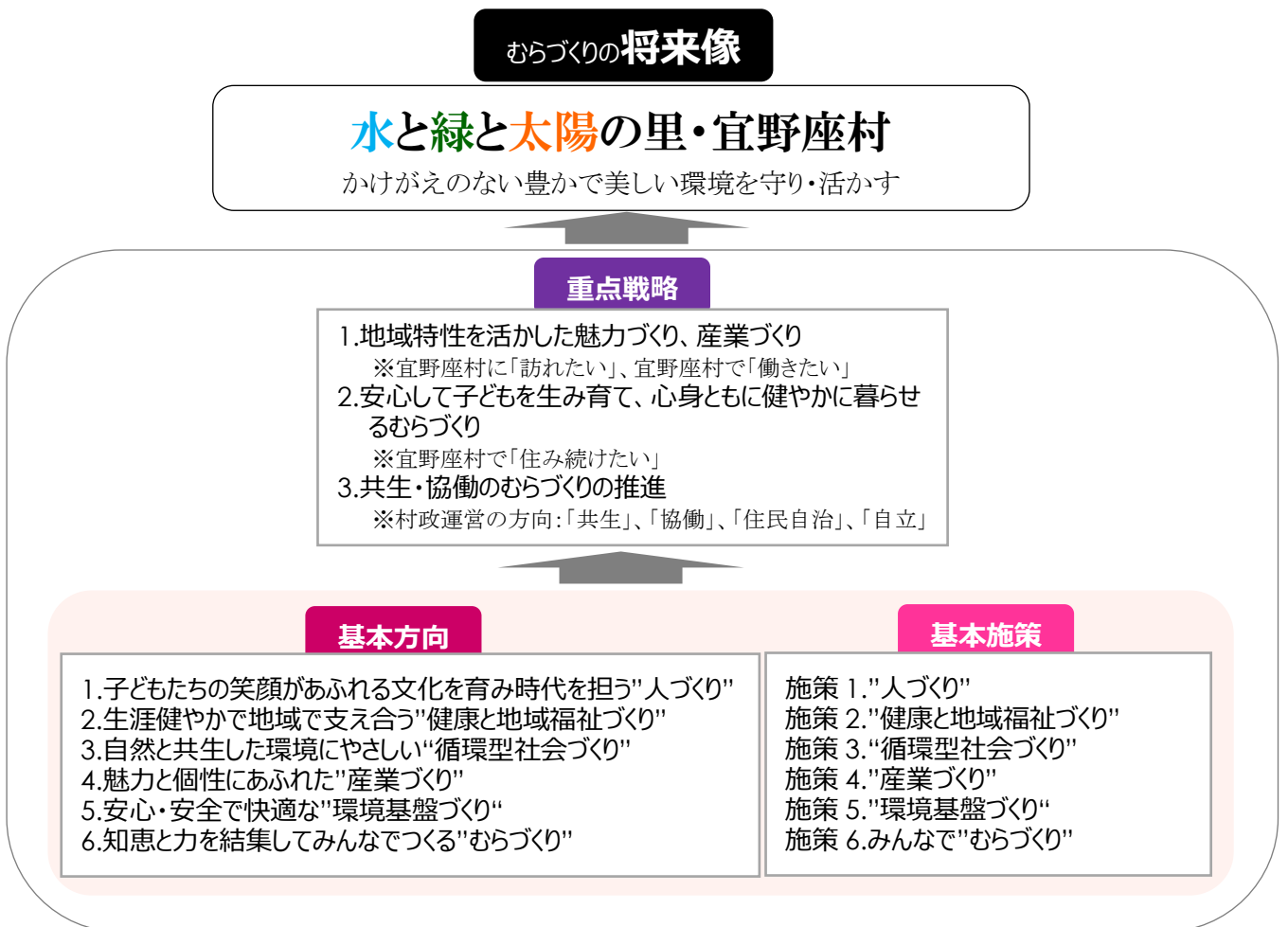
3. 計画の目的

本計画は、宜野座村の観光振興の基本的な考え方と、展開する戦略を明確にするとともに、「第5次宜野座村総合計画・後期基本計画」における観光関連の各種施策を実現するための部門別計画です。

「第5次宜野座村総合計画」は、「基本構想」および、「基本計画」、「実行計画」から構成されており、「第5次宜野座村総合計画・後期基本計画」は、本村の中長期的なまちづくりの総合的指針である「宜野座村総合計画」（2021年（令和3）年度～2025 令和7（2025）年度）の後期基本計画（2021（令和3）年度から2025（令和7）年度）です。

本村では、昭和60年9月の宜野座村民憲章制定に際し、「水と緑と太陽の里」をむらづくりのキャッチフレーズとして掲げ、平成19年度策定の「第3次総合計画」から「水と緑と太陽の里・宜野座村」をむらづくりの将来像としてきました。「第5次宜野座村総合計画」においても、その将来像を引き続き継承しています。

その中の重点戦略の1つである『地域特性を活かした魅力づくり、産業づくり』において、「魅力ある観光地の形成や体験・滞在型観光の推進」を据えており、むらづくりの施策大綱である基本方向の「魅力と個性にあふれた“産業づくり”」にて、「地域特性を活かした観光・商工業の振興」として、「観光」を重点項目に位置付けています。



4. 計画の期間

本計画の計画期間は、2021（令和3）年度から2025（令和7）年度までの5年間とします。
 なお、計画の進捗について適宜確認を行うとともに、その状況によっては必要に応じ、見直しを行います。

	R2	R3	R4	R5	R6	R7
第5次宜野座村総合計画 宜野座村総合計画後期基本計画	策定					
まち・ひと・しごと創生総合戦略	策定					
宜野座村観光振興計画	策定					

5. 本計画作成のスケジュール

本計画の策定は、令和2年度に加え、令和3年度のまたがる約2年の期間で策定しました。



6. 本計画作成の構成

本計画策定にあたっては、観光客、観光事業者の生の声を拾うとともに、村民の主体的な計画であることを目指す宜野座村の観光状況および今後の将来像を検討するため、以下の調査および、座談会を開催しました。

なお、本調査にて策定した基本理念、方向性等をもとに、観光協会主催による委員会が立ち上がっており、そこで得られた地域の声も、本計画に盛り込み、本計画委員会にて提案・議論の結果、本計画へ盛り込んでいます。

アンケート調査/データ整理・分析

①入域者数データ集計

- 道の駅ぎのぞを含む観光施設の来訪者数
- 文化施設等利用者数
- スポーツキャンプ等来村者数
- タイガースキャンプおよびイベント等来場者数
- 入域者数の推移等

②村外、県外来訪者アンケート調査

- 村外、県外からの来訪者
- 村内のホテル宿泊者へのアンケート調査
- 道の駅ぎのぞ、カンナタラソ等観光施設来訪者
- 来訪目的、評価。満足度

③村民アンケート調査

- 総合計画策定時に実施
- 友人、知人を宜野座村に招待経験の有無。来訪知人からの感想。
- 来訪知人を案内した場所等
- 観光振興等への満足度。
- 観光振興において期待、希望すること

ワーキング・ヒアリング・座談会

④観光施設ヒアリング

- 県外資本で村内営業の宿泊施設、ウェディング事業者へヒアリング
- 客層や事業内容の状況、特徴
- 宜野座村の観光振興として期待する、希望すること
- 連携できること等

⑤本土出身者座談会

- 宜野座村で働く、営業する、本土出身者による座談会を実施
- 感じている宜野座村の魅力
- 5年後の宜野座の観光の目指す方向として期待、希望すること

⑥各区座談会

- 村内の各区それぞれの、主に観光関連従事者等を集めた座談会を実施
- 各区の観光イメージ、特徴、現状
- 5年後の宜野座の観光の目指す方向として期待、希望すること
- 連携できる観光プラン等

⑦観光協会主催のワーキング会議

- 本計画において策定した基本理念、方向性等をもとに、観光協会が独自でワーキング会議を実施。
- 観光関連事業者を中心としたメンバーで構成
- 観光商工課も参加し、連携して開催
- 基本方針についての具体的なイメージの検討・提案
- 宜野座村が目指す観光振興と、観光プラン等を検討し、具体的な実施を目指して実施
- 会議名称:「宜野座村民参加型持続可能な観光地づくり委員会」

7. 本計画作成における体制

宜野座村観光振興委員会は、村民（区）、観光関連団体、観光関連事業者、農業関係者、漁業団体、学識経験者、宜野座村各課等で構成されています。さらに、村内の観光事業者等、地域の声を広く反映するため、宜野座村観光振興委員会にて検討材料とするための個別ワーキング、意見交換会などを複数実施しました。

(1) 宜野座村観光振興委員会 委員構成

	所属・職名	令和2年度	令和3年度	備考
		氏名	氏名	
1	宜野座村副村長	山城 智	下里 哲之	委員長
2	(一社)宜野座村観光協会 会長	新里 清次	新里 清次	委員
3	宜野座村商工会 会長	仲本 彰	宜野座 盛克	〃
4	宜野座村漁業協同組合 会長	仲栄眞 盛昌	仲栄眞 盛昌	〃
5	区長会代表	島袋 全永	新里 幸美	〃
6	農業関係者(イチゴ生産組合会長)	志良堂 治	志良堂 治	
7	カンナタラソラゲーナ 支配人	図師 里佳	図師 里佳	〃
8	宜野座村むらづくりアドバイザー 沖縄大学地域研究所特別研究員	島田 勝也	島田 勝也	〃
9	宜野座村むらづくりアドバイザー	當山 智士	當山 智士	〃
10	沖縄観光コンベンションビューロー 受入事業部 MICE 推進課 課長	上地 公代	上地 公代	〃
11	総務課長	下里 哲之	城間 真	〃
12	企画課長	比嘉 昭彦	比嘉 昭彦	〃
13	建設課長	河上 正秀	島袋 光樹	〃
14	産業振興課長	石川 岩夫	浦崎 正人	〃
15	教育課長	當眞 修	當眞 修	〃

事務局・本計画作成チーム

1	観光商工課 課長	金武 哲也	金武 哲也	
2	観光商工課 参事	島袋 光樹	仲間 出	
3	観光商工課 観光商工アドバイザー	友利 直子	友利 直子	
4	観光商工課	東 全志	東 全志	
5	観光商工課	新里 俊文	新里 俊文	
6	観光商工課	當眞 はるか	當眞 はるか	

(2) 委員会開催

委員会は下記のとおり実施しました。

	開催日	議題
第1回	2021年2月2日(火)	・宜野座村観光振興計画改正の概要説明 議題1.宜野座村が観光振興で目指す将来像について
第2回	2021年3月26日(金)	議題1.宜野座村が目指す5年後の宜野座村観光の将来像 議題2.宜野座村が5年後目指す目標(項目・数値)
第3回	2022年2月25日(金)	議題1.宜野座村観光振興計画(案)について

第 2 章 宜野座村観光の現状と課題

1. 宜野座村観光振興計画（平成 27 年度策定）の評価

観光振興課の新設とともに昭和 62 年策定以来の改定となった「宜野座村観光振興計画（平成 27 年度策定）」では下記内容を「基本的な方向性」としました。

実施内容としては下記のとおりです。

宜野座村観光振興計画（平成 27 年度改定）計画期間（平成 27 年度～令和 2 年度）

【基本的な考え方】

観光振興によって、村づくりの柱である、「自然・文化の保全・活用」と「基幹産業」を推し進めます。

- 自然・文化（人々の暮らし）を魅せます！
- 観光振興で基幹産業が元気になります！

【基本的な方向性】

①認知度向上のための情報発信等、広報のさらなる強化

宜野座村観光協会が中心となり、SNS での情報発信や、定期的な YouTube 配信などを実施。また県内県外での展示会等にも積極的に出店し、広域連携によるイベント参加、開催など各種取り組みを実施。詳細については、資料編（P.64～）にて記載。

②環境保全を優先とした持続可能な観光の振興

長年の課題でもある赤土流出を抑制・削減するための取り組みや、村民を中心とした景観村づくりを推進する取り組みなどを実施。これまでも、豊かな自然環境の中での、住む人も来訪者も「ゆったり癒される村」としての観光振興を推進してきており、今後もこの姿勢を踏襲していきます。

③宿泊及び飲食店等の誘致・活性化の推進

宿泊施設としては 1 軒のホテルが新設されました。また、道の駅ぎのざのリニューアルオープンに伴い、観光拠点施設内に店舗を誘致し、他テナントを含め、連携したイベントを開催するなど、活性化のための取り組みを実施。さらに、「キラリ☆ぎの座」グルメと称し、村民が選ぶ村内店舗のおススメグルメを投票し、10 位までを決定・店舗登録する制度を令和元年度から実施しており、宜野座村の食の魅力発信、発掘のための取り組みも行っている。

④地域全体が連携・参加する取り組みの推進

道の駅ぎのざにおける直売所を中心に、農家直送の農作物や、漁業から「海ぶどう」、「もずく」などを季節折々で販売しており、多くの方が宜野座村産の野菜、果物等を目当てに来村。特に、いちごの時期には多くの観光客が来所し、「いちご狩り」が人気となっている。

2. 宜野座村観光の状況

宜野座村の観光客の動向・特徴は次のとおりです。この内容を踏まえ、現状と課題を検証します。

(1) 入込客数の推移

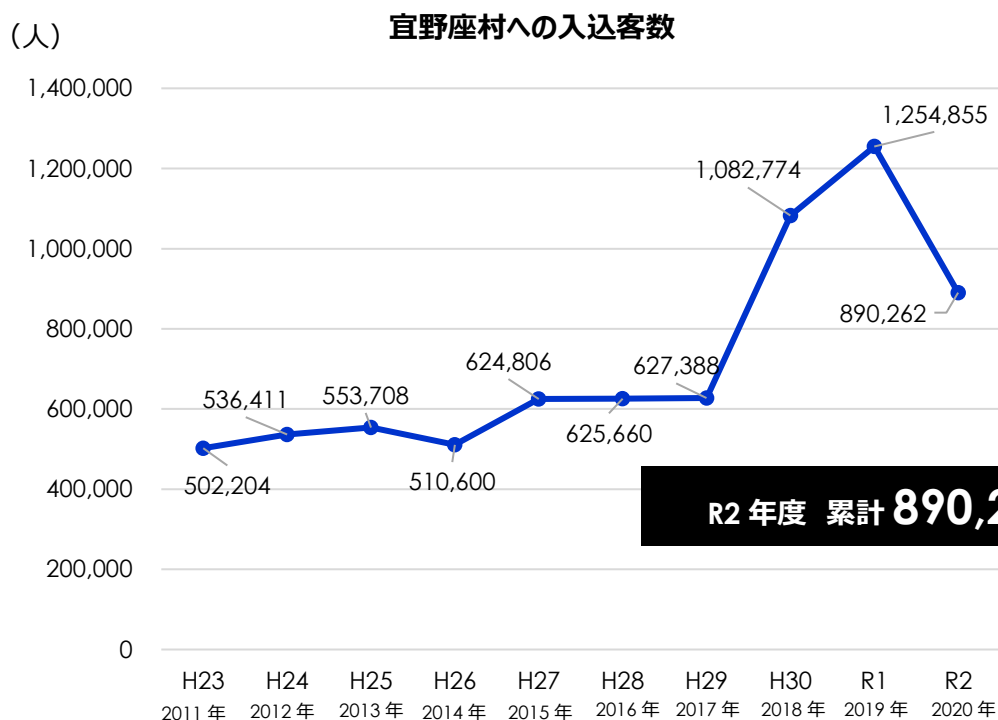
「道の駅ぎのぞ」のリニューアルオープン後、入込客数が増加

【現状】

- 平成 30 年度 3 月に「宜野座村観光拠点施設」が新設され、「道の駅ぎのぞ」がリニューアルされたことから、平成 30 年度（2018 年）には入込客数が 1,082,774 人と前年比で 72.6%増と大きく増加しました。令和元年度には 1,254,855 人となっています。
- しかし、令和 2 年 1 月からの新型コロナウイルスの世界的広がりにより、令和 2 年（2020 年）には 890,262 人と前年比で 29.1%減少しています。

【課題】

- 世界的な新型コロナウイルス感染症拡大により、旅行業界の動きがストップし、未だ、先が見えない厳しい状況下であり、同時に新しい観光の形への変化、変革が求められ、問われています。宜野座村独自の特徴にあわせた取り組みが求められています。



宜野座村への観光客数の集計・把握について

観光庁「観光入込客統計に関する共通基準」も加味した上で、以下のとおり、整理いたします。

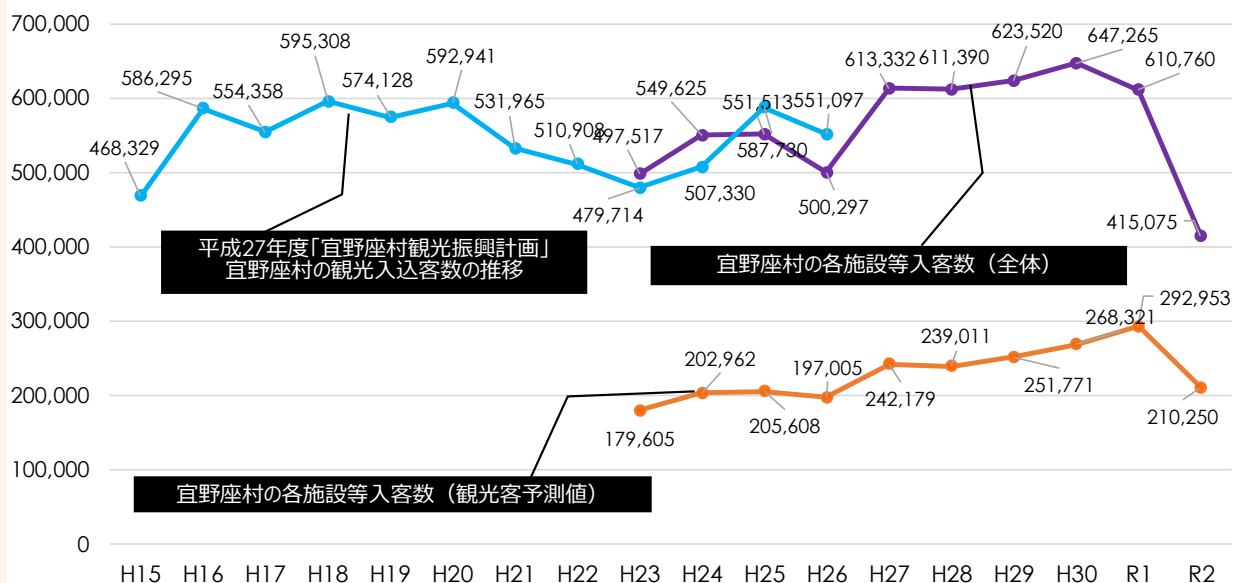
【現状】

- 平成 27 年度に策定した「宜野座村観光振興計画」に記載した観光客数の平成 15 年度から平成 22 年度までの数字は不明となっており、観光商工課で保有する数字は平成 23 年から現在のものとなっています。
- 前回作成の観光振興計画に記載の数字と、現存の数字が比較できるのは平成 23 年度から平成 26 年度の数字ですが、その数字についても下記のとおり、各年ともに、数字に乖離が見られます。
- 観光客数の計上においては、各施設における観光客が占める割合を感觸的数値として当てはめ、数字を予測して出しています。
- 観光客というのは、「県外客」を想定しています。県内他地域の来客者については、観光客にカウントしてきていません。

【今後について】

- 宜野座村への来村者の特徴としては、県内在住の方が多く、また、令和 2 年の「新型コロナウイルスの世界的広がり」における観光ストップの状況において、その状況が地域経済への打撃を防いだことから、本村における周辺県内在住者の重要性を強く教訓として感じたところです。
⇒ 今後は、県内村外客も入域客として集計いたします。
- 入域客数の把握として、これまでの推計値ではなく、可能な限り施設にご協力頂き、「実数」での把握を目指します。(村内客と、村外客を分けた数値での報告に可能な限りご協力いただき計上致します)
- なお、「道の駅ぎのぞ」への来客数の把握として、これまでは直売所のレジ通過数をカウントしており、これは 1 家族 1 回のカウントになっていることが想定されます。今後は、「道の駅ぎのぞ」内の「観光情報センター」への来所数をカウント数に加え、「道の駅ぎのぞ」への入域客数とします。

前回作成「宜野座村観光振興計画」との現状比較



(2) 各項目別の入域者数の推移

① 観光施設

観光施設への入込客数が増加

【現状】

● 道の駅「ぎのざ」への来客数が多い割合を占めており、リニューアル後できた、水遊び場や遊具などの利用を利用するお客様の増加により、平成 30 年度（2018 年）には 775,528 人の入域客数を記録しており、平成 23 年度（2011 年）の 321,474 人から、7 年間で、141.2%増加しています。

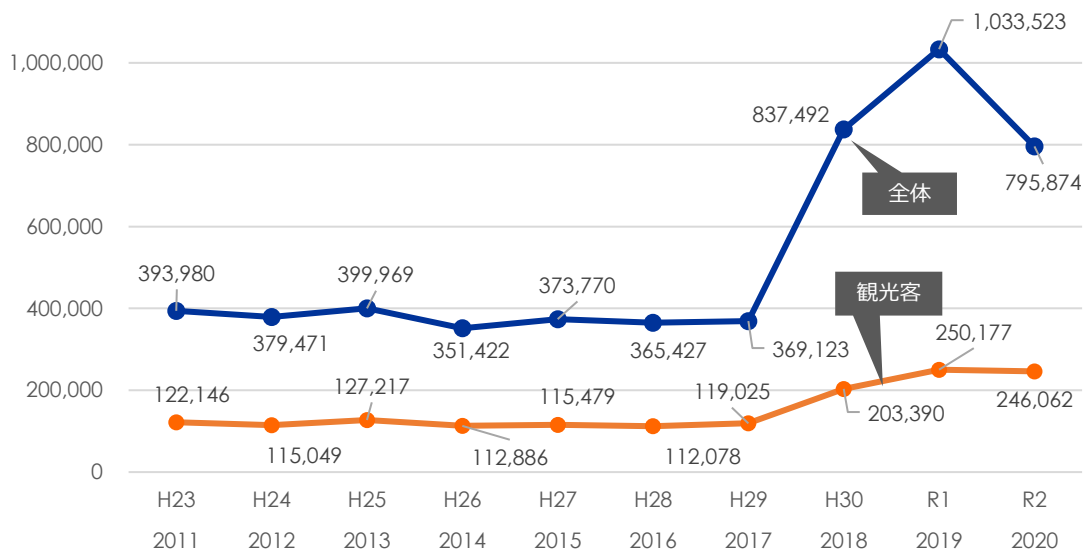
・

【課題】

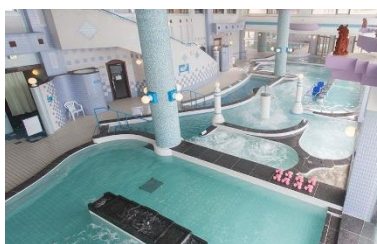
● 来客者の多くは、観光客というより、周辺地域の方々（県内在住者）が多い。しかし、新型コロナウイルスの広がりによる自粛期においては、それが功を成した。

観光施設：入込客数の推移

(人)



道の駅ぎのざ



カナタラソグーナ



漢那ビーチ

【対象】カナタラソグーナ/道の駅ぎのざ 直売所/宜野座カントリークラブ/かなパークゴルフ場/漢那ダム/
漢那ビーチ

② イベント

イベントへの入込客数は微増

【現状】

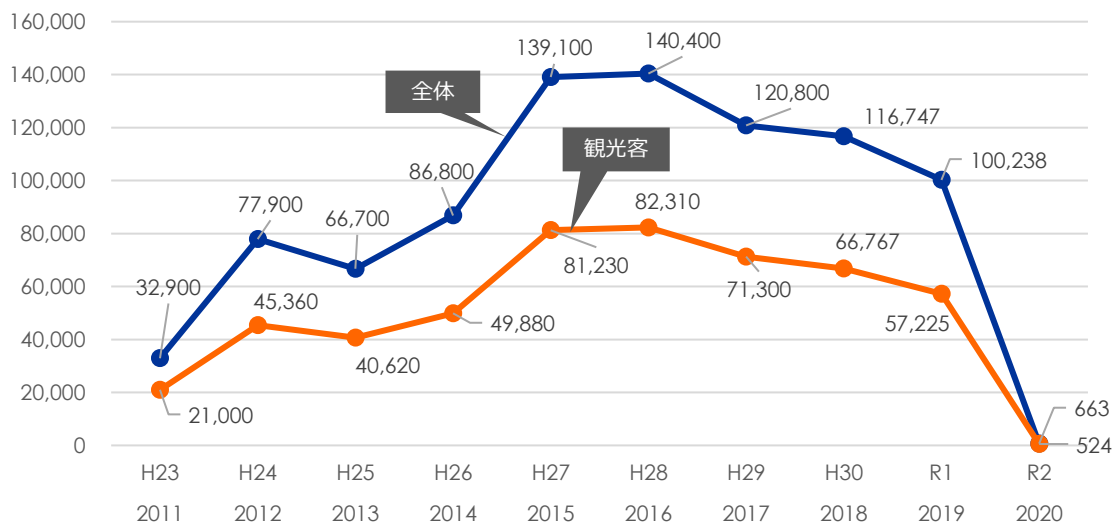
- タイガースキャンプへの来場が最も多く、毎年 8～10 万人の方が来られています。
- イベントへの来場者は微増となっています。

【課題】

- 平成 26 年度から平成 28 年度まで開催していた「沖縄バーガーフェスタinぎのぞ」は 1 万人規模の集客のある県内でも知名度のあるイベントとなっていました。それに代わる「ぎのぞ」ならではのイベントの創出が求められています。

イベント：入込客数の推移

(人)



	2011 H23		2012 H24		2013 H25		2014 H26		2015 H27		2016 H28		2017 H29		2018 H30		2019 R1		2020 R2	
	入城数	観光客数	入城数	観光客数	入城数	観光客数	入城数	観光客数	入城数	観光客数	入城数	観光客数	入城数	観光客数	入城数	観光客数	入城数	観光客数	入城数	観光客数
イベント	32,900	21,000	77,900	45,360	66,700	40,620	86,800	49,880	139,100	81,230	140,400	82,310	120,800	71,300	116,747	66,767	100,238	57,225	663	524
宜野座村まつり			7,000	2,100			12,000	3,600	12,500	3,750	13,500	4,050	7,000	2,100	13,114	3,934	13,600	4,080		
阪神キャンプ	27,900	17,000	67,300	40,380	63,700	38,220	63,800	38,280	114,000	68,400	111,300	66,780	108,900	65,340	100,300	60,180	80,800	48,480		
沖縄バーガーフェスタinぎのぞ							8,000	5,600	10,000	7,000	10,000	7,000								
リバーサイドフェスタ(ワンダフルFriday)													600	420	133	93	51	36	63	44
漢那ダムまつり	5,000	4,000	3,600	2,880	3,000	2,400	3,000	2,400	2,600	2,080	3,600	2,880	2,800	2,240	3,200	2,560	2,800	2,240	0	0
サマーフェスタ (道の駅「ぎのぞ」フェスティバル)											2,000	1,600	1,500	1,200			2,987	2,390	600	480



阪神キャンプ



宜野座村まつり



漢那ダムまつり

【対象】宜野座村まつり/阪神キャンプ/リバーサイドフェスタ(ワンダフル Friday) /漢那ダムまつり/沖縄バーガーフェスタinぎのぞ/サマーフェスタ/道の駅「ぎのぞ」フェスティバル

③体験メニュー

「いちご狩り」が人気

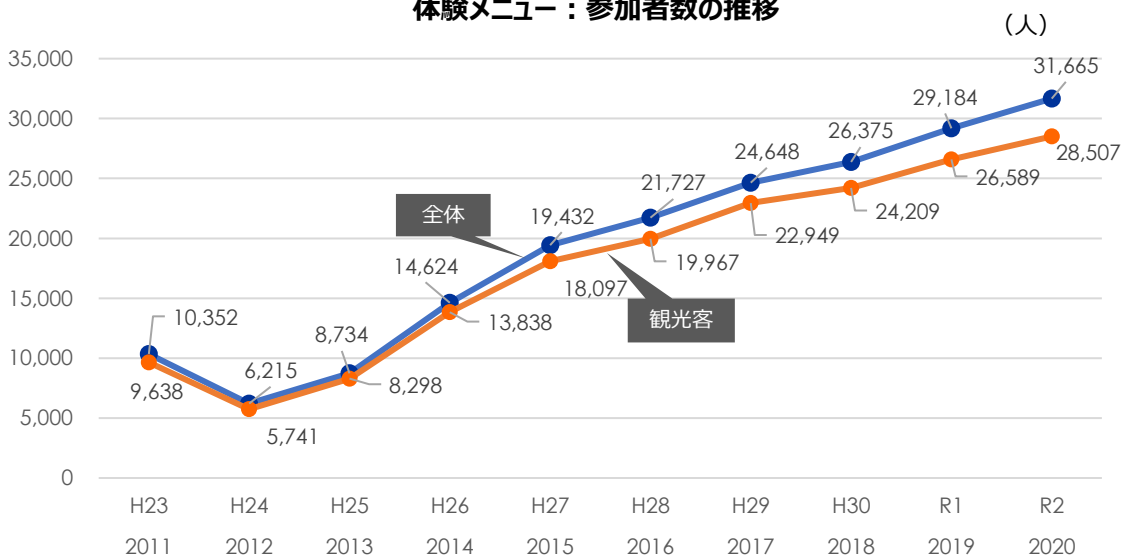
【現状】

- 「いちご狩り」が毎年好調。人気となっています。
- 宜野座村観光協会が体験窓口となり、事業者へ紹介しています。

【課題】

- 修学旅行のあり方や、選ばれるメニューが変化してきています。新たな宜野座村独自の魅力発掘と、商品づくりが求められています。
- まだまだ知られていないということが現状。どう発信し、どう誘客に繋げていくかが課題です。

体験メニュー：参加者数の推移



	2011 H23		2012 H24		2013 H25		2014 H26		2015 H27		2016 H28		2017 H29		2018 H30		2019 R1		2020 R2	
	入客数	観光客数	入客数	観光客数	入客数	観光客数	入客数	観光客数	入客数	観光客数	入客数	観光客数	入客数	観光客数	入客数	観光客数	入客数	観光客数	入客数	観光客数
いちご狩り	2,544	2,290	1,690	1,521	1,690	1,521	6,156	5,540	11,117	10,005	15,886	14,297	16,687	15,018	21,661	19,495	25,004	22,504	30,888	27,799
松田鍾乳洞					1,244	1,244	2,338	2,338	1,958	1,958	1,008	1,008	3,469	3,469	1,335	1,335	1,430	1,335	697	627
体験プログラム (観光協会)	162	162	87	87	518	556	629	629	797	797	205	205	205	205	860	860	44	44	44	44
散策ツアー (観光協会)	15	15	14	14	146	146	141	141	0	0	335	335	552	552	103	103	53	53	36	36
民泊体験	1,340	1,340	744	744	1,456	1,456	2,503	2,503	2,452	2,452	2,420	2,420	2,665	2,665	2,416	2,416	2,552	2,552	0	0
民間体験施設	5,331	5,331	3,070	3,070	3,070	3,070	2,516	2,516	2,662	2,662	1,530	1,530	1,010	1,010	0	0	101	101	0	0
民間体験工房	960	500	610	305	610	305	341	171	446	223	343	172	60	30	0	0	0	0	0	0
合計	10,352	9,638	6,215	5,741	8,734	8,298	14,624	13,838	19,432	18,097	21,727	19,967	24,648	22,949	26,375	24,209	29,184	26,589	31,665	28,507



いちご狩り



松田鍾乳洞



ぎのぎ散策

【対象】 いちご狩り/松田鍾乳洞たんけん/各種体験事業/マリン事業/散策事業/ツアー企画事業
各種体験事業/キャリア教育プログラム

④文化施設利用

宜野座村の貴重な歴史文化の宝庫「博物館」の観光施設としての発信・活用へ

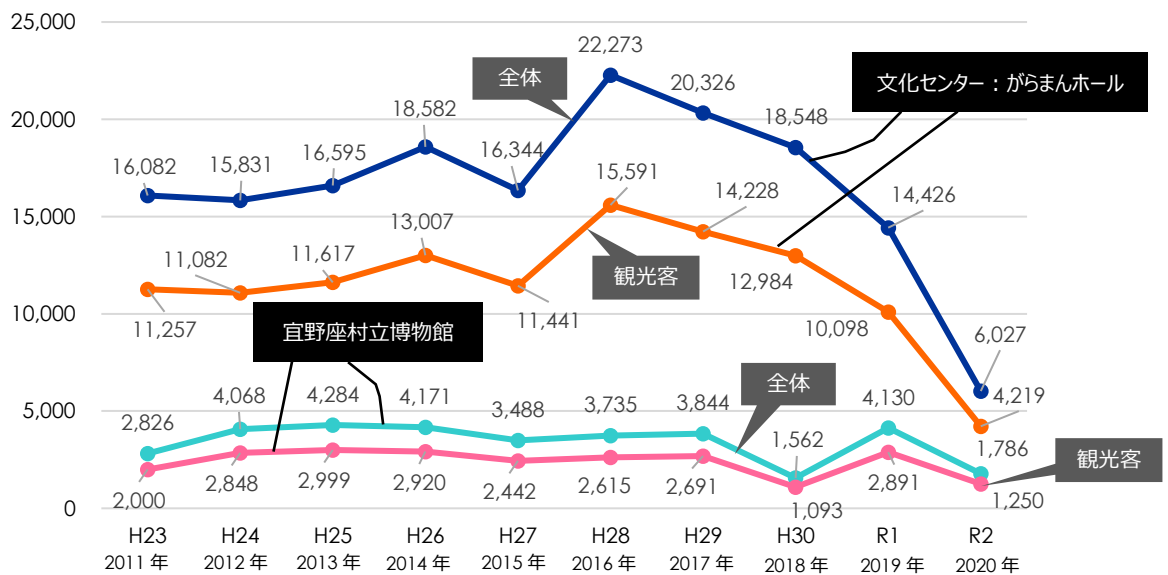
【現状】

- 「がらまんホール」でのイベントは、伝統芸能的なものから、世界的、先進的なものまで幅広く、村外からも来られるなど、他地域からも好評を得ています。
- 「宜野座村立博物館」は、宜野座村の歴史や文化を総合的に扱った博物館で、伝統芸能、民話等の歴史的な情報、展示物の他、様々な貴重な展示物があるのですが、観光客向けの施設として広報活用できておらず、残念ながらあまり知られていません。

【課題】

- 「がらまんホール」のイベントに来場される方を地域の店舗に流せていないという課題があります。来られた方へ宜野座村の商品を楽しんでいただく機会へつなげていく仕組みが必要です。
- 「宜野座村立博物館」の観光施設としての広報と、客目線に立った工夫改善が求められています。

文化施設：利用者数の推移



文化センターがらまんホール



宜野座村立博物館

【対象】宜野座村立博物館/文化センターがらまんホール

⑤スポーツ施設・スポーツ合宿

今後も可能性が高い、スポーツ合宿

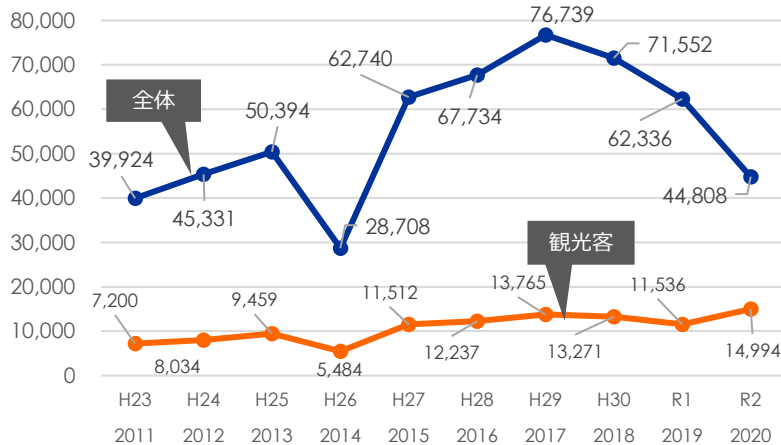
【現状】

- 宜野座村では、平成 23 年度から観光協会を窓口として、スポーツ合宿の受け入れを開始し、これまでの累積として、2,194 人の方々が訪れています。主にカヌー競技、野球等。
- 特に閑散時期のペンション等への波及効果に繋がっています。また、受入時の食事対応は、村内飲食店の協力のもと実施しています。
- 合宿日数の増加が地域への波及効果につながることから、スポーツ合宿の推進による、地域経済への波及効果が期待されます。

【課題】

- 食事対応が課題。これまで村内飲食店に協力して実施してきましたが、食事会場を持たないペンション等で受入れている事例が多く、特に朝食の対応が課題となっています。

スポーツ施設の利用者数の推移

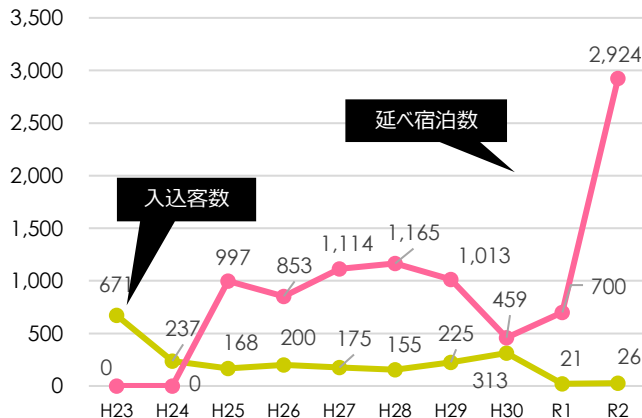


カヤックチーム日本代表合宿



カヌースプリント男子日本代表合宿

スポーツ合宿入込数および延べ宿泊数の推移



年度	カヌー		野球		柔道		自転車		サッカー		合計人数	延べ宿泊者数
	人数	人数×泊数	人数	人数×泊数	人数	人数×泊数	人数	人数×泊数	人数	人数×泊数		
H23年度	671										671	0
H24年度	39		198								237	0
H25年度	24	106	144	891							168	997
H26年度	64	106	129	740	7	7					200	853
H27年度	38	187	128	810			9	117			175	1,114
H28年度	41	454	114	711							155	1,165
H29年度	50	144	135	739			10	100	30	30	225	1,013
H30年度	130	341	65	65			65		53	53	313	459
H31年度	21	700									21	700
R2年度	26	2,924									26	2,924
R3年度	3	90									3	90

※データ 宜野座村観光協会より

【対象】宜野座ドーム/宜野座球場/総合体育館/総合グラウンド/宜野座ドーム/多目的スポーツ施設

⑥民泊体験

民泊体験利用者は横ばいで推移している

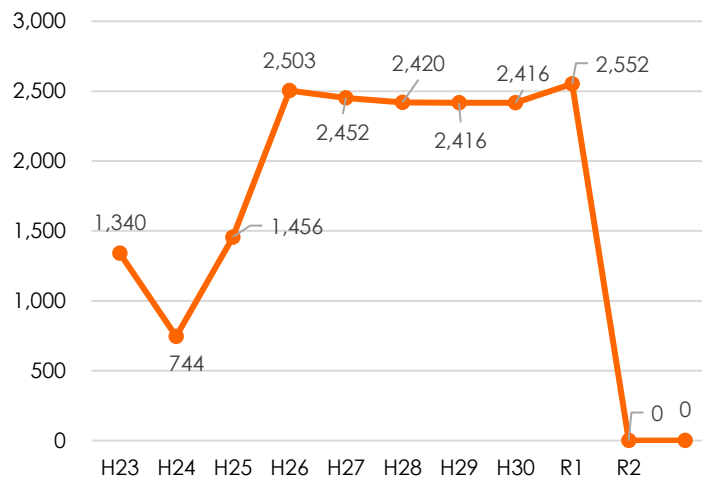
【現状】

- 令和3年度現在、民泊受入可能な村内民家として17軒が登録されており、多くが定年退職を機に受入民家となっています。金武町等との連携により宜野座村だけではできない数の受入が実現できています。

【課題】

- 受入民家の数がまだ少なく、今後さらに、民家の高齢化により、受入民家数の減少が予想されます。
- 現状としてはコロナ禍において、受入を拒む民家が多くなっており、今後の状況の変化や、民泊旅行の考え方の変化、また、受け入れ再開の際は、コロナ禍での対策等、検討が求められます。

民泊体験数の推移



※データ 宜野座村観光協会より



入町式



家庭での体験の様子



見送りの様子

【対象】受入民家宅/村全域

3. 宜野座村観光について県外・村外客および村民が求める姿

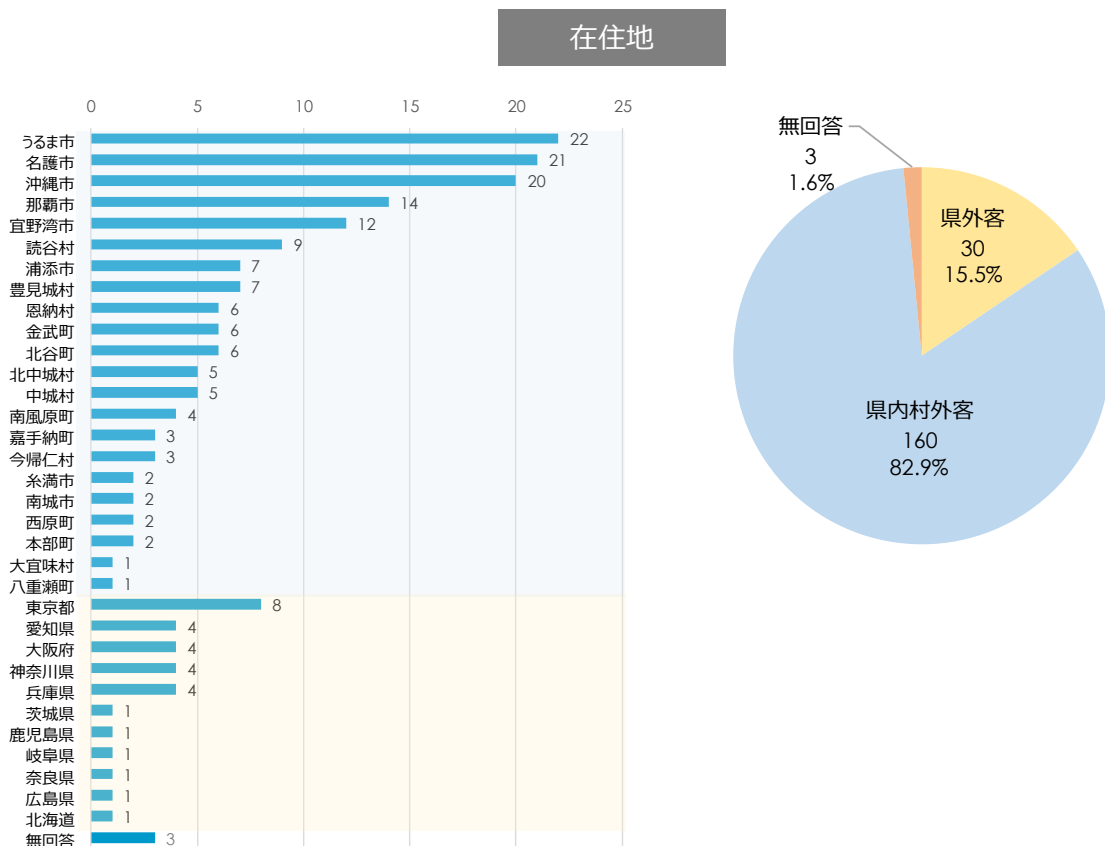
(1) 県外・村外の方が求める宜野座村観光の姿

新型コロナウイルス感染症の状況がまだ完全な収束とはなっていない状況ですが、宜野座村に来られた県内、県外の方にアンケート調査を行いました。結果は以下のとおりです。

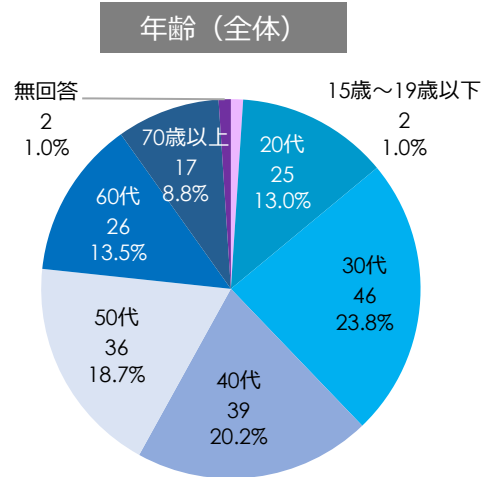
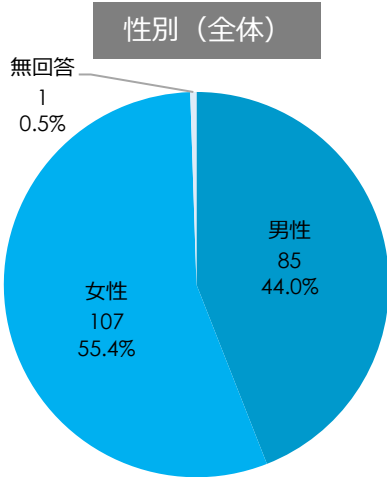
調査対象	15歳以上の「宜野座村外の県内客、県外観光客」
調査期間	令和3年10月1日(金)～10月31日(日)
実施場所	宿泊施設 3施設（・THE HIRAMATSU HOTELS & RESORTS GINOZA、リブマックス アムス・カンナリゾートヴィラ、B&B タンデム） 施設 4施設（道の駅ぎのざ、カンナタラソラグーナ、宜野座カントリークラブ）
回収数	193件
特記事項	「県内村外客」の間 6～問 8 の回答に「無回答」が多くなっている点について ⇒ 問 6～問 8 については、用紙の裏面となっており、質問の続きに気づかなかった方がいたことによるものと思われます。

【回答者の属性】

回答された方の属性は以下のとおりです。

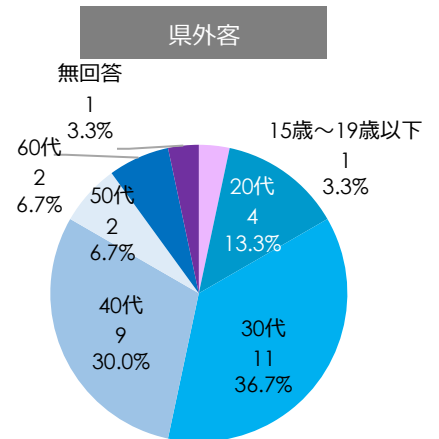
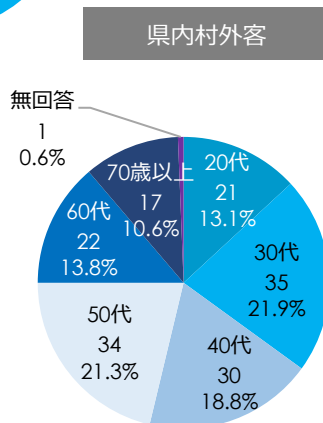
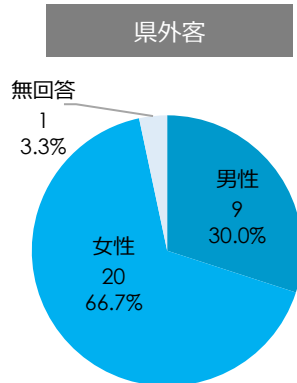
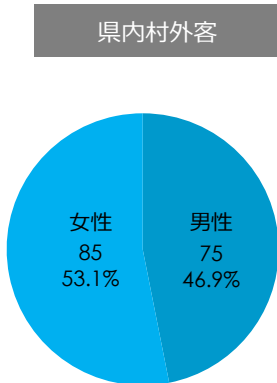


回答された方の属性は以下のとおりです。



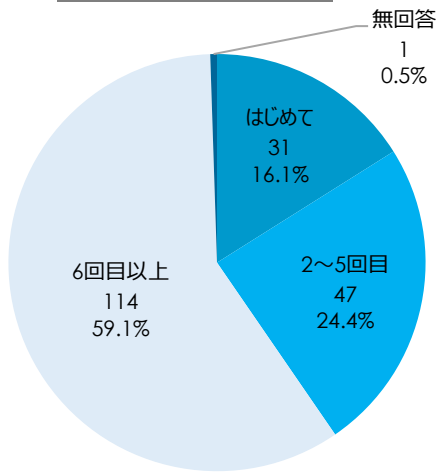
		全体	県内村外	県外
男性	回答数	85	75	9
	割合	44.0	46.9	30.0
女性	回答数	107	85	20
	割合	55.4	53.1	66.7
無回答	回答数	1	0	1
	割合	0.5	0	3.3
合計		193	160	30

		全体	県内村外	県外
15歳～19歳以下	回答数	2	0	1
	割合	1.0	0.0	3.3
20代	回答数	25	21	4
	割合	13.0	13.1	13.3
30代	回答数	46	35	11
	割合	23.8	21.9	36.7
40代	回答数	39	30	9
	割合	20.2	18.8	30.0
50代	回答数	36	34	2
	割合	18.7	20.3	6.7
60代	回答数	26	22	2
	割合	13.5	13.8	6.7
70歳以上	回答数	17	17	0
	割合	8.8	10.6	0.0
無回答	回答数	0	1	1
	割合	0.0	0.6	3.3
合計		191	160	30



【質問 1】宜野座村への来訪回数

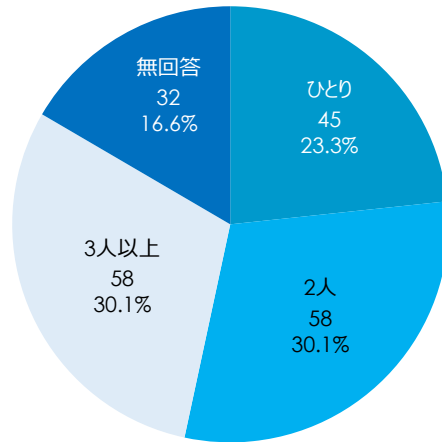
来訪回数（全体）



		全体	県内村外	県外
はじめて	回答数	31	11	18
	割合	16.1	6.9	60.0
2~5回目	回答数	47	40	7
	割合	24.4	25.0	23.3
6回目以上	回答数	114	109	4
	割合	59.1	68.1	13.3
無回答	回答数	1	0	1
	割合	0.5	0.0	3.3
合計		193	160	30

【質問 2】来訪人数

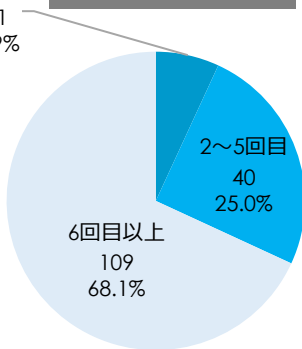
来訪人数（全体）



		全体	県内村外	県外
ひとり	回答数	45	40	4
	割合	23.3	25.0	13.3
2人	回答数	58	40	18
	割合	30.1	25.0	60.0
3人以上	回答数	58	52	5
	割合	30.1	32.5	16.7
無回答	回答数	32	28	3
	割合	16.6	17.5	10.0
合計		193	160	30

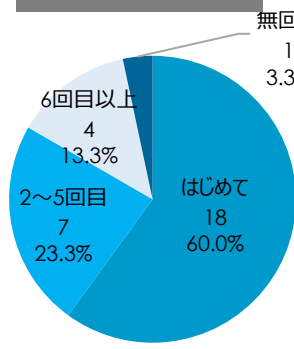
はじめて 11 6.9%

県内村外客

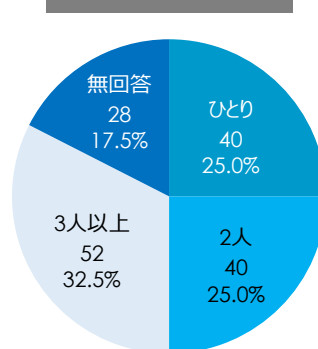


県外客

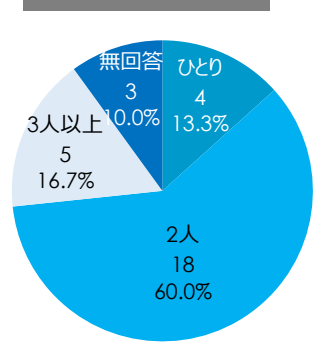
無回答 1 3.3%



県内村外客

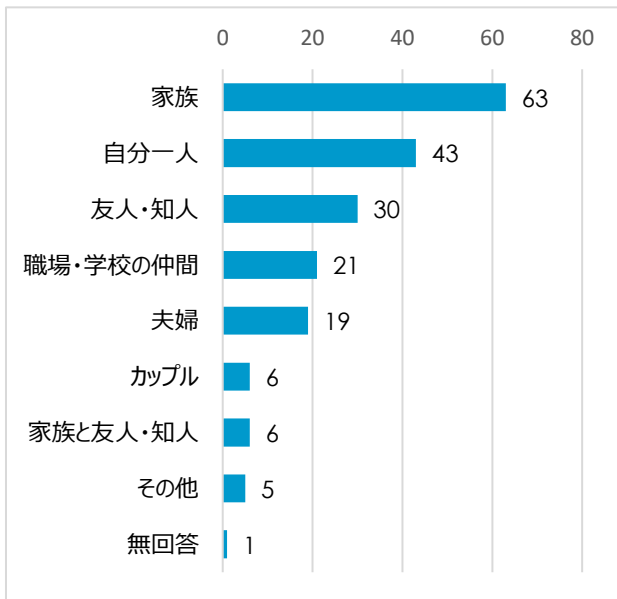


県外客



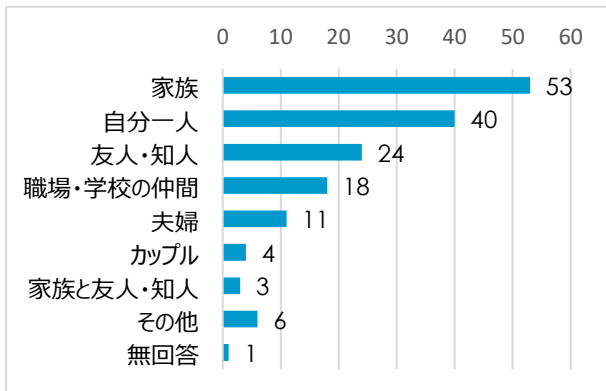
【質問3】今回の同行者

同行者（全体）

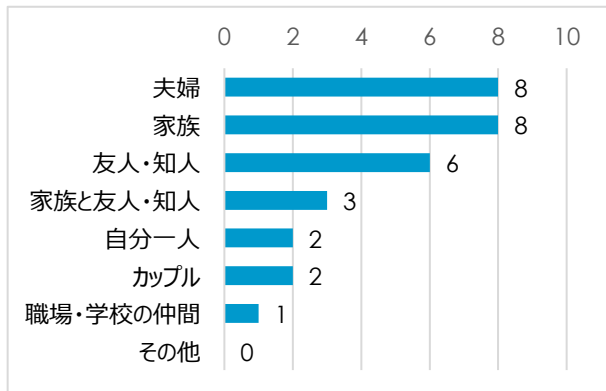


		全体	県内村外	県外
家族	回答数	63	53	8
	割合	32.6	33.1	26.7
自分一人	回答数	43	40	2
	割合	22.3	25.0	26.7
友人・知人	回答数	30	24	6
	割合	15.5	15.0	20.0
職場・学校の仲間	回答数	21	18	1
	割合	10.9	11.3	3.3
夫婦	回答数	19	11	8
	割合	9.8	6.9	26.7
カップル	回答数	6	4	2
	割合	3.1	2.5	6.7
家族と友人・知人	回答数	6	3	3
	割合	3.1	1.9	10.0
その他	回答数	5	6	0
	割合	2.6	3.8	0.0
無回答	回答数	1	1	0
	割合	0.5	0.6	0.0
		194	160	30

県内村外客

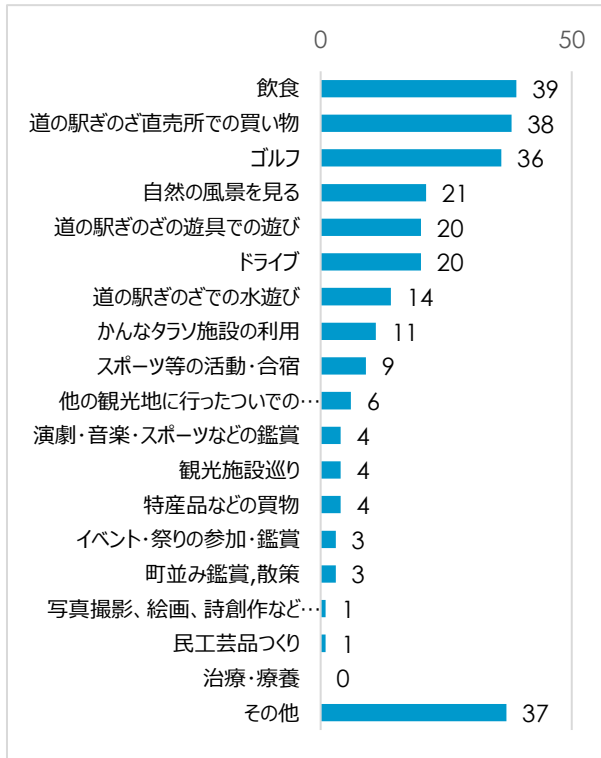


県外客



【質問 4】今回の宜野座村来訪の目的 (該当するもの全てに○印をつけてください) い

来訪目的 (全体)

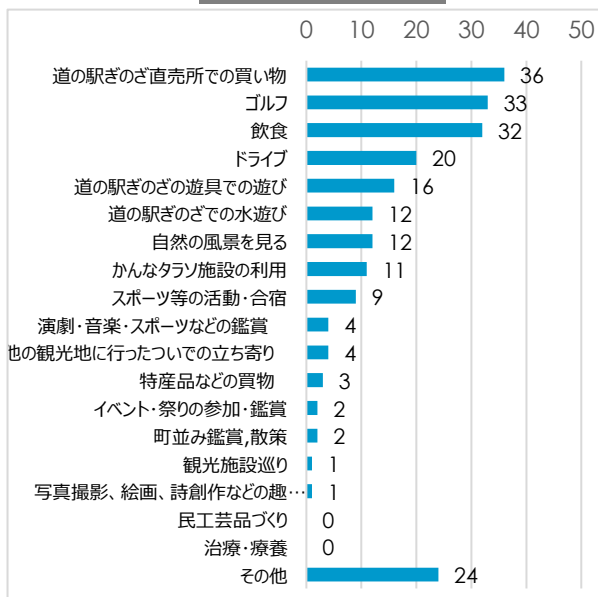


【その他】

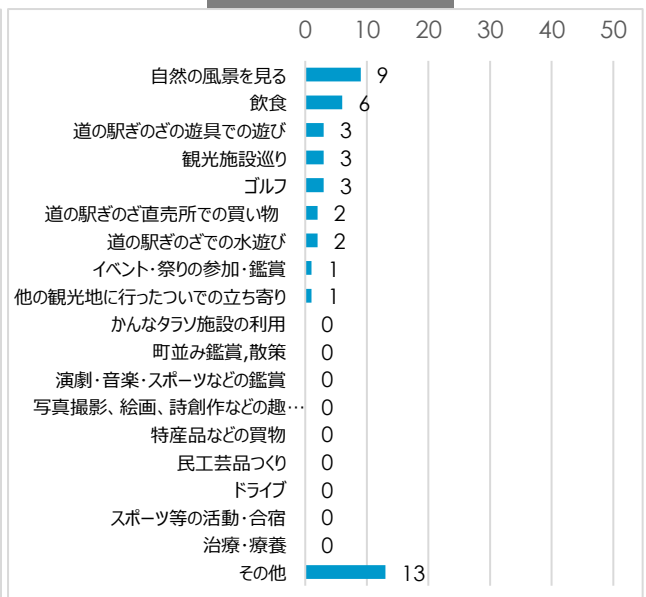
- ・宿泊と食事 14人
- ・仕事 10人
- ・ホテルと食事 1人
- ・家族団らん 1人
- ・リラックス 1名
- ・フリーマーケット 1名
- ・松田メーガ-の土中環境改善 2名
- ・紹介 1名

	全体	県内村外	県外	
飲食	回答数	39	32	6
	割合	20.2	19.6	20.0
道の駅ぎのぞ直売所での買い物	回答数	38	36	2
	割合	19.7	22.1	6.7
ゴルフ	回答数	36	20	3
	割合	18.7	12.3	10.0
自然の風景を見る	回答数	21	12	9
	割合	10.9	7.4	30.0
道の駅ぎのぞの遊具遊び	回答数	20	16	3
	割合	10.4	9.8	10.0
ドライブ	回答数	20	20	0
	割合	10.4	12.3	0.0
道の駅ぎのぞでの水遊び	回答数	14	12	2
	割合	7.3	7.4	6.7
かなたラソ施設の利用	回答数	11	11	0
	割合	5.7	6.7	0.0
スポーツ等の活動・合宿	回答数	9	9	0
	割合	4.7	5.5	0.0
他の観光地に行ったついでの立ち寄り	回答数	6	4	1
	割合	3.1	2.5	3.3
演劇・音楽・スポーツなどの鑑賞	回答数	4	4	0
	割合	2.1	2.5	0.0
観光施設巡り	回答数	4	1	3
	割合	2.1	0.6	10.0
特産品などの買物	回答数	4	3	0
	割合	2.1	1.8	0.0
イベント・祭りの参加・鑑賞	回答数	3	2	1
	割合	1.6	1.2	3.3
町並み鑑賞、散策	回答数	3	2	0
	割合	1.6	1.2	0.0
写真撮影、絵画、詩創作などの趣味活動	回答数	1	1	0
	割合	0.5	0.6	0.0
民芸品づくり	回答数	1	1	0
	割合	0.5	0.6	0.0
治療・療養	回答数	0	0	0
	割合	0.0	0.0	0.0
その他	回答数	37	24	13
	割合	19.2	14.7	43.3
合計		271	228	43

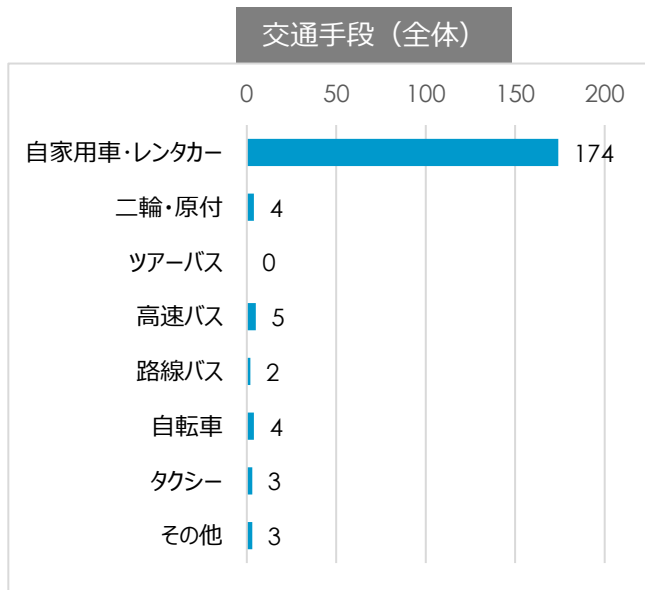
県内村外客



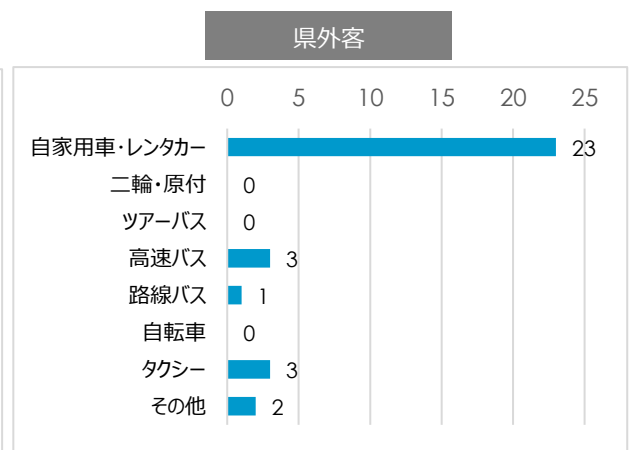
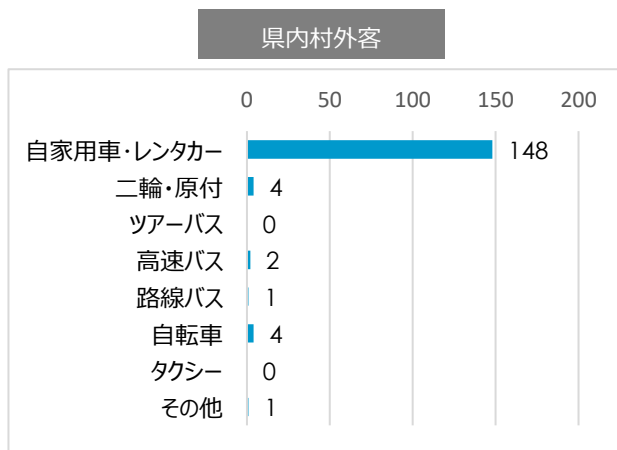
県外客



【質問 5】来訪する際に利用した交通手段 (該当するもの全てに○印をつけてください)



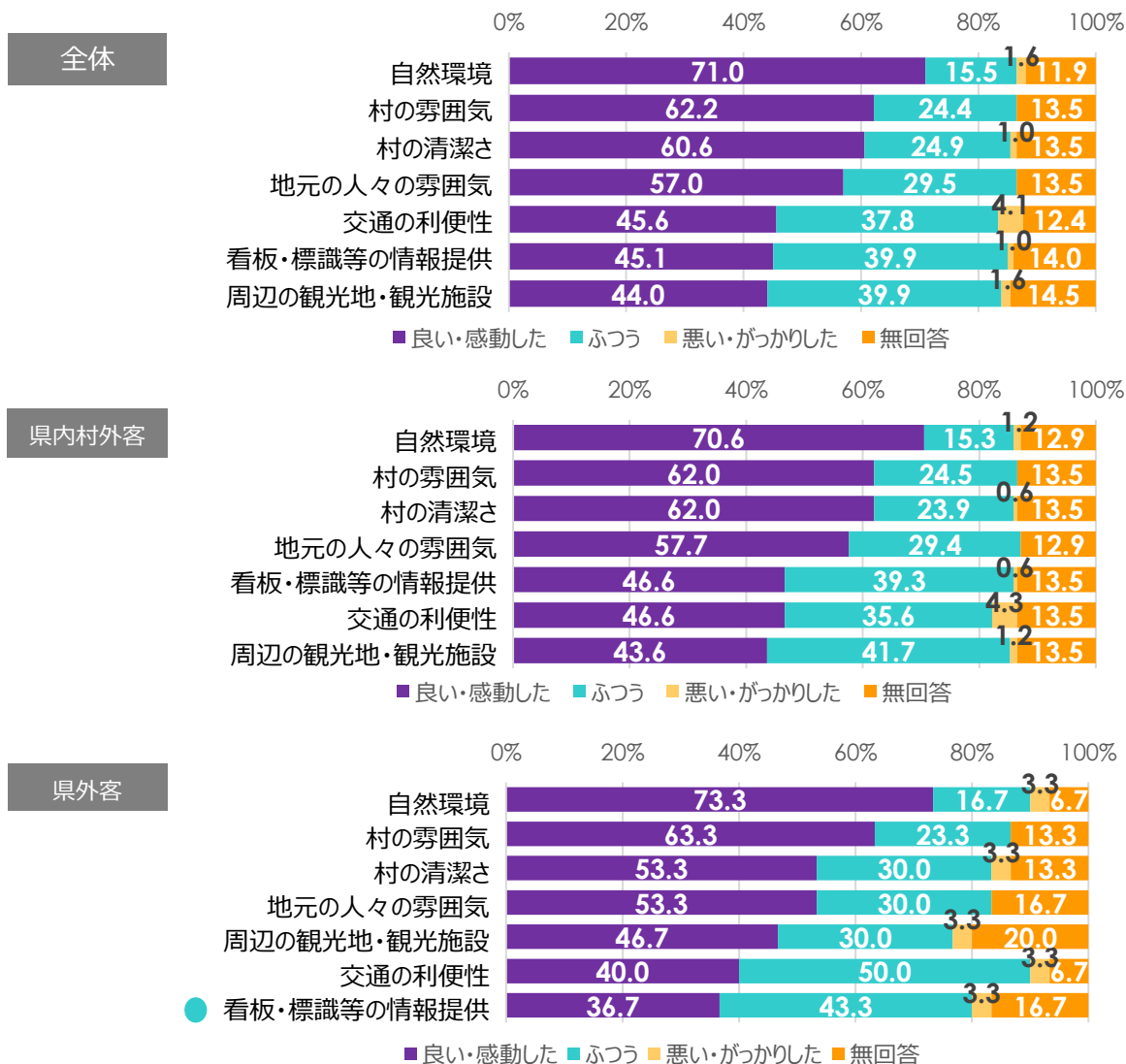
		全体	県内村外	県外
自家用車・レンタカー	回答数	174	148	23
	割合	90.2	90.8	11.9
二輪・原付	回答数	4	4	0
	割合	2.1	2.5	0.0
ツアーバス	回答数	0	0	0
	割合	0	0.0	0.0
高速バス	回答数	5	2	3
	割合	2.6	1.2	1.6
路線バス	回答数	2	1	1
	割合	1.0	0.6	0.5
自転車	回答数	4	4	0
	割合	2.1	2.5	0.0
タクシー	回答数	3	0	3
	割合	1.6	0.0	1.6
その他	回答数	3	1	2
	割合	1.6	0.6	1.0
		195	160	32



【質問 6】今回の来訪で感じたこと・印象

今回の宜野座村へ来訪されて、感じたことを聞いたところ、「良い・感動した」との回答で最も多かったのは、「自然環境」71.0%、ついで「村の雰囲気」62.2%でした。

全体の項目の中で「良い・感動した」の割合がもっとも少なかったのは「周辺の観光地・観光施設」。なお、県外客は、「看板・標識等の情報提供」がもっとも少なくなっており、また、全項目ついて一定量の「悪い・がっかりした」との評価もあることから、県外から来村される方の視点にも注力した整備が必要といえます。



	全体					県内村外客					県外				
	良い・感動した	ふつう	悪い・がっかりした	無回答	合計	良い・感動した	ふつう	悪い・がっかりした	無回答	合計	良い・感動した	ふつう	悪い・がっかりした	無回答	合計
自然環境	137	30	3	23	193	115	25	2	21	163	22	5	1	2	30
	71.0	15.5	1.6	11.9	100.0	70.6	15.3	1.2	12.9	100.0	73.3	16.7	3.3	6.7	100.0
村の雰囲気	120	47	0	26	193	101	40	0	22	163	19	7	0	4	30
	62.2	24.4	0.0	13.5	100.0	62.0	24.5	0.0	13.5	100.0	63.3	23.3	0.0	13.3	100.0
村の清潔さ	117	48	2	26	193	101	39	1	22	163	16	9	1	4	30
	60.6	24.9	1.0	13.5	100.0	62.0	23.9	0.6	13.5	100.0	53.3	30.0	3.3	13.3	100.0
地元の人々の雰囲気	110	57	0	26	193	94	48	0	21	163	16	9	0	5	30
	57.0	29.5	0.0	13.5	100.0	57.7	29.4	0.0	12.9	100.0	53.3	30.0	0.0	16.7	100.0
看板・標識等の情報提供	87	77	2	27	193	76	64	1	22	163	11	13	1	5	30
	45.1	39.9	1.0	14.0	100.0	46.6	39.3	0.6	13.5	100.0	36.7	43.3	3.3	16.7	100.0
周辺の観光地・観光施設	85	77	3	28	193	71	68	2	22	163	14	9	1	6	30
	44.0	39.9	1.6	14.5	100.0	43.6	41.7	1.2	13.5	100.0	46.7	30.0	3.3	20.0	100.0
交通の利便性	88	73	8	24	193	76	58	7	22	163	12	15	1	2	30
	45.6	37.8	4.1	12.4	100.0	46.6	35.6	4.3	13.5	100.0	40.0	50.0	3.3	6.7	100.0

【質問 8】「宜野座村」を友人に薦めたいと思いますか？（推奨度）

「宜野座村をお薦めしたいかどうか」という問いに対して、肯定的な回答者の割合から否定的な回答者の割合を差し引いた値 NPS 数値は、回答者全体の回答としては「24.9pt」、県内村外客のみを集計した数値は「18.1pt」、「県外客」のみの集計数値は「36.7pt」と概ね高い数値となっています。しかし、「批判者」とされる割合が 17.1%と、特に県内の村外からの来村者からの回答が県外客の割合よりも多くなっており、前述の「質問 6」の回答で得られた課題改善が必要といえます。

全体

	推奨者		中立者		批判者						無回答	計	
	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0		
回答数	35	35	36	18	12	17	1	1	4	4	0	30	193
割合	18.1	18.1	18.7	9.3	6.2	8.8	0.5	0.5	2.1	2.1	0.0	15.5	100
	70		54		39								
	42.0		25.9		17.1								

NPS[®]

推奨者の割合-批判者の割合
42.0-17.1=24.9pt

県内村外客

	推奨者		中立者		批判者						無回答	計	
	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0		
回答数	44	16	27	14	10	12	1	4	0	4	0	28	160
割合	27.5	10.0	16.9	8.8	6.3	7.5	0.6	2.5	0.0	2.5	0.0	17.5	100.0
	60		41		31								
	37.5		25.6		19.4								

NPS[®]

推奨者の割合-批判者の割合
37.5-19.4=18.1pt

県外客

	推奨者		中立者		批判者						無回答	計	
	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0		
回答数	9	6	7	2	0	4	0	0	0	0	0	2	30
割合	30.0	20.0	23.3	6.7	0.0	13.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	100.0
	15		9		4								
	50.0		30.0		13.3								

NPS[®]

推奨者の割合-批判者の割合
50.0-13.3=36.7pt

注) 無回答者 3 名は「県内村外客」、「県外客」の集計に加えていません。

NPS[®](ネットプロモータースコア)とは？

NPS[®]とは「Net Promoter Score (ネットプロモータースコア)」の略。2003 年にアメリカで考案された概念で「顧客ロイヤルティを数値化した指標」=「顧客推奨度」とも言われます。欧米の公開企業では 3 分の 1 以上が活用しているとも言われ、日本でも従来の顧客満足度に並ぶ新たな指標として注目されています。

※(京都市観光協会 HP より)顧客(観光客)の満足度の高さを測定するにあたって、個人の 1 回の旅行における満足度だけでなく、その後の再訪可能性や知人への推薦行動を含めた LTV(生涯貢献度:ライフタイムバリュー)を反映することから、満足度の平均値等よりも網羅性の高い指標といえます。「宜野座村を友人に勧めたいと思いますか」との質問に「非常にそう思う」を 10 として、「どちらでもない」5、「まったく思わない」0 の中から選択した回答のうち、9~10 点(推奨者)の割合から、0~6 点(批判者)の割合を引いた値が NPS スコアとなります。(「推奨者の割合」-「批判者の割合」=NPS[®]) 京都市の例:日本人 NPS 2017:21.1、2018:18.0、2019:18.3、2022 目標値:20.0 外国人 NPS 2017:53.0、2018:54.9、2019:54.2、2022 目標値:55.0

(2) 村民が求める宜野座村観光の姿

総評：「自然・文化」に対する評価（誇り）と重要意識が高い

調査対象 村内在住の16歳以上の世帯員がいる全世帯

調査期間 令和2年8月14日（金）～31日（月）

件数 回収数：674件（回収率29.0%）※配布数2,324件 H28:N=229

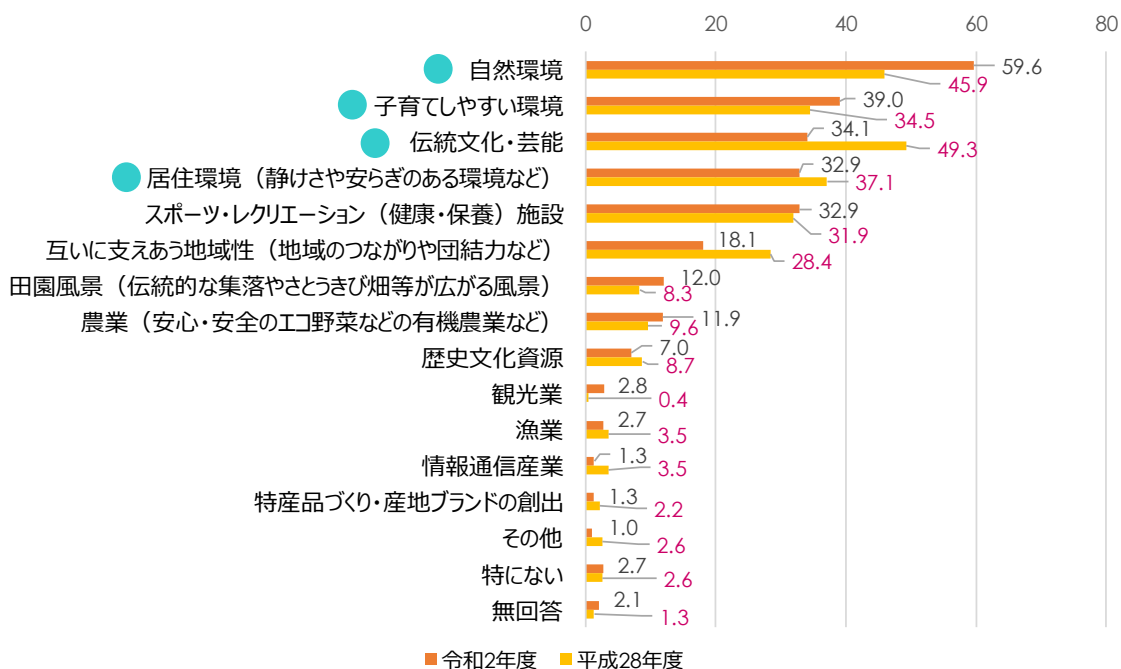
構成比 男女比 女性：53.3% 男性：46.4%

年齢比

年齢比

16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答
0.6%	3.4%	13.2%	23.3%	13.9%	20.3%	23.9%	1.3%

宜野座村の魅力・特徴と感ずるところ



1位 自然環境 59.6% (H28:45.9%)

2位 子育てしやすい環境 39.0% (H28:34.5%)

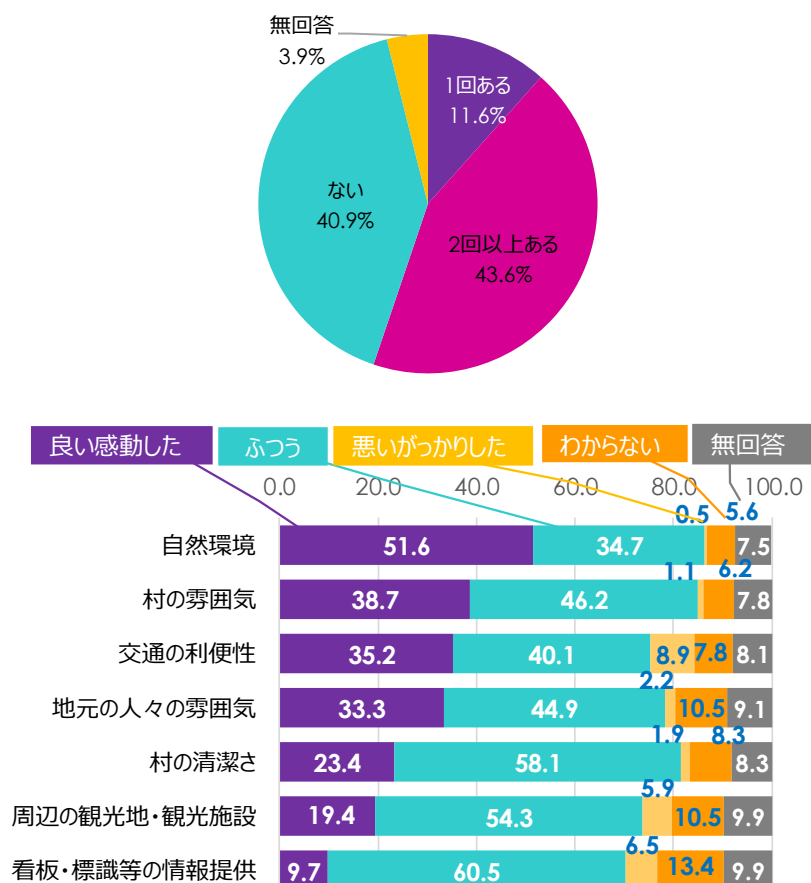
3位 伝統文化・芸能 34.1% (H28:49.3%)

4位 居住環境（静けさや安らぎのある環境） 32.9% (H28:37.1%)

過去3年間における友人・知人招待の有無およびその来村された方の感想

過去3年間で、友人・知人を宜野座村にお招きしたことがあるか否かについて、「2回以上ある」との回答は43.6%、「1回ある」が11.6%と、55.2%が招いたことがあると回答しています。「ない」とする回答が40.9%となっています。

なお、来村された友人、知人の感想として、「良い・感動した」との回答が最も多かったのは、「**自然環境**」51.6%、「**村の雰囲気**」38.7%となっています。反面、「**看板・標識等の情報提供**」について6.5%、「**周辺の観光地・観光施設**」について5.9%が、「悪い・がっかりした」と回答しています。



		良い・感動した	ふつう	悪い・がっかりした	わからない	無回答
宜野座村の自然環境	回答数	192	129	2	21	28
	割合	51.6	34.7	0.5	5.6	7.5
村の雰囲気	回答数	144	172	4	23	29
	割合	38.7	46.2	1.1	6.2	7.8
交通の利便性	回答数	131	149	33	29	30
	割合	35.2	40.1	8.9	7.8	8.1
地元の人々の雰囲気	回答数	124	167	8	39	34
	割合	33.3	44.9	2.2	10.5	9.1
村の清潔さ	回答数	87	216	7	31	31
	割合	23.4	58.1	1.9	8.3	8.3
周辺の観光地・観光施設	回答数	72	202	22	39	37
	割合	19.4	54.3	5.9	10.5	9.9
看板・標識等の情報提供	回答数	36	225	24	50	37
	割合	9.7	60.5	6.5	13.4	9.9

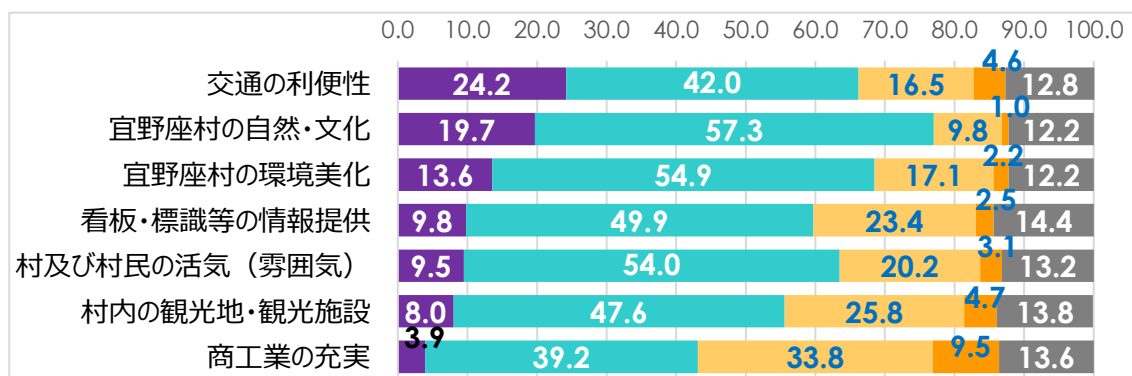
宜野座村の観光について

宜野座村の観光について、現在の満足度としては、「交通の利便性」が最も多く66.2%（満足24.2%、やや満足42.0）。なお、満足、まあ満足を加えた満足とする回答は「自然・文化」が最も多く77%となっています。

なお、今後の観光振興において非常に重要なこととしては、「自然・文化」40.4%、次いで「環境美化」38.4%、「交通の利便性」36.1%、「商工業の充実」35.2%となっています。やや重要との回答としては、「看板・標識等の情報提供」43.2%、「村及び村民の活気（雰囲気）」42.3%となっています。

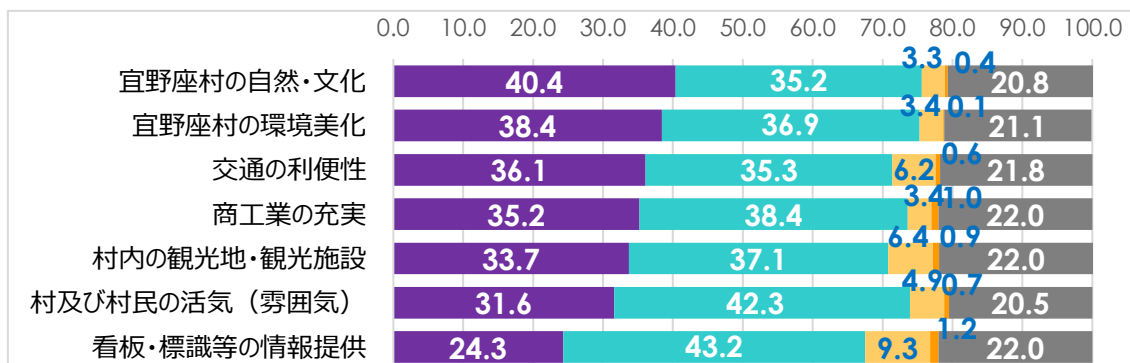
現在の満足度

満足・まあ満足・やや不満・不満・無回答



今後の観光振興における重要度

非常に重要・やや重要・あまり重要でない・重要でない・無回答

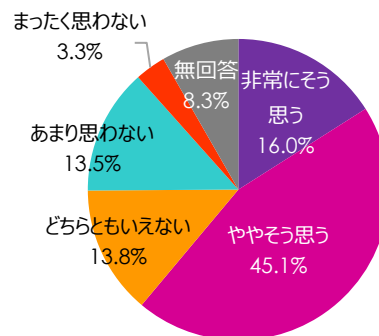


友人・知人を宜野座村に招待したいかについて

「現在の宜野座村に友人・知人を招待したいと思うか」との問いについて、「非常にそう思う」16.0%「ややそう思う」が45.1%となっており、「そう思う」との回答が61.1%となっています。

これらの回答を、村外客アンケートでも行った（P.27）、肯定的な回答者の割合から否定的な回答者の割合を差し引いた値 NPS 数値は、（※質問の仕方として「友人・知人を宜野座村に招待したいか」と、「宜野座村をお薦めしたいかどうか」とで若干のニュアンスは異なるが）、「-14.6pt」となっており、県外客の「36.7pt」、村外県内客「18.1pt」に対し、村民の評価が辛口となっていることがわかります。

	回答数	割合
非常にそう思う	108	16.0
ややそう思う	304	45.1
どちらともいえない	93	13.8
あまり思わない	91	13.5
まったく思わない	22	3.3
無回答	56	8.3
N	674	100.0



	推奨者		中立者		批判者						無回答	計		
	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1			0	
回答数	108		304		93		91				22		56	674
割合	16.0		45.1		13.8		13.5				3.3		8.3	100.0
	108		304		206									
	16.0		45.1		30.6									

NPS[®]

推奨者の割合-批判者の割合
16.0-30.6 = **-14.6pt**

4. 宜野座村の観光の特徴と課題

本計画を考えるにあたり、行ったアンケート調査、ワーキング・ヒアリング・座談会で、得られた要点は以下のとおりです。

アンケート調査/データ整理・分析		
①入域者・観光客数データ集計	②村外、県外来訪者アンケート調査	③村民アンケート調査
<p>コロナ禍以前 年間入域客数は、令和元年度、1,254,855 人</p> <p>もっとも集客数が多いのは、タイガースキャンプ 年度平均 80,800 人</p> <p>いちご狩り 令和2年度 30,888 人 うち9割の 19,495 人が村外客</p> <p>がらまんホール H28年度 15,591 人 村外客を集客できているジャンルといえます (約7割)</p> <p>スポーツ合宿 H30年度 313 人、R2年度 26 人 しかし、延べ宿泊数は、 H30年度 459 人、R2年度 2,924 人</p>	<p>「良い・感動した」事項 「自然環境」71.0%、「村の雰囲気」62.2%</p> <p>今回の宜野座村来訪で感じたこと 良い・感動の割合が低い事項 「周辺の観光地・観光施設」</p> <p>県外客で「良い・感動した」が最も低かった事項 「看板・標識等の情報提供」</p> <p>全項目について一定量の「悪い・がっかりした」との評価もあることから、県外から来村される方の視点にも注力した整備が必要といえます。</p> <p>宜野座村をお薦めしたいか (推奨度) NPS 数値</p> <p>全体 推奨者の割合-批判者の割合 42.0-17.1 = 24.9pt</p> <p>県内 推奨者の割合-批判者の割合 37.5-19.4 = 18.1pt</p> <p>村外客 推奨者の割合-批判者の割合 50.0-13.3 = 36.7pt</p> <p>県外客 推奨者の割合-批判者の割合 50.0-13.3 = 36.7pt</p>	<p>「自然・文化」に対する評価 (誇り) と重要意識が高い</p> <p>宜野座村の魅力・特徴と感じるところ</p> <p>1位 自然環境 59.6% 2位 子育てしやすい環境 39.0% 3位 伝統文化・芸能 34.1% 4位 居住環境 (静けさや安らぎのある環境) 32.9%</p> <p>「良い・感動した」事項 「自然環境」51.6%、「村の雰囲気」38.7% 「悪い・がっかりした」事項 「看板・標識等の情報提供」6.5% 「周辺の観光地・観光施設」5.9%</p> <p>宜野座村の観光における満足度 低い事項 「商工業の充実」 「村内の観光地・観光施設」 「村・村民の活気 (雰囲気)」</p> <p>宜野座村をお薦めしたいか (推奨度) NPS 数値</p> <p>NPS[®] 推奨者の割合-批判者の割合 16.0-30.6 = -14.6pt</p>

ワーキング・ヒアリング・座談会		
④観光施設ヒアリング	⑤本土出身者座談会	⑥各区座談会
<ul style="list-style-type: none"> ・県外からの進出企業 2 社。 ・現時点では、宜野座村のことをあまり知らない。 ・村・観光協会、村内企業と「知りたい!」「連携したい!」という希望あり ・ともに連携する形をどうつくるか 	<p>あなたにとっての宜野座とは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・居心地が良い。水・緑・太陽のキャッチフレーズに要約されている。 ・水、大地、食。自然な場所。 ・日が昇る。明るいイメージ ・子どもについての行政の配慮。 ・農業を重視。 ・地域のみみんなで継承していく仕組みが残っている。 <p>「5年後の宜野座村観光の将来像」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆっくりとした時間を過ごしてもらおう ・ローカルな方々との交流。 ・「キラリ☆ぎの座」の人バージョン ・地域の良さや歴史、モノの本質を考えるような方に来てほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・海外観光客も自然が好きなので喜んでくれる。 ・総論:ぜひ来て頂ける取組を考えたい。 ・区ではあまり議論しておらず、観光客は通り過ぎている印象がある。 ・道の駅を拠点に来村者は増えているが地域への波及効果となっていない。 ・連携した面での取り組みができない ⇒集まったメンバーでいくつかの連携した取り組みや具体的なコラボ案ができました。 ・宜野座にあるホテルと地域との交流がはじまっている。 ・自然を保ち守りながら観光に繋げていく。有効活用する。 ・宜野座の文化、行事をイベントにしすぎず、知ってもらう。

宜野座村観光の特徴と課題

- 「道の駅ぎのぞ」を拠点に来村者が増えており、村民の感触としても増えているとの声もあり。
- 村民意識として「**自然・文化**」に対する誇りや重要意識が高く、それらを守りつつ、宜野座村を楽しんでもらえる方々に来て頂きたいと考える意見が多い。

①通過地点で目的地となっていない（認知度）

- 残念ながら名護へ向かう、また南下する際の通り過ぎる地域となっていることがまだ多い。
- 道の駅「ぎのぞ」のリニューアル後、訪れる方も増えていますが、まだまだ宜野座村の認知度は低いと言えます。

②点としての取り組みで線の連携となっていない（地域への波及効果を生む、点と点を結ぶ面的な広がりとなる仕組み）

- 「道の駅ぎのぞ」や、「タイガースキャンプ」、「がらまんホール」などを目的に来られた方への地域への波及の仕組みが足りないとの指摘があります。
- 各区での座談会にて、今後、地域や複数が連携し、点と点が面で広がるイベント、プランなど取り組みを行ってほしいという、複数の施設、店舗で連携した、面で広がる取り組みを求める声が多くありました。

③地域の自然、環境を守ることを優先にした観光振興

- 宜野座村の祖先から引き継いできた豊かで美しい環境を守っていくという意識が高いことが、村民アンケートや座談会からも得られました。地域の自然、環境を守ることを優先にした上での観光振興を目指します。
- SDGs等、「持続可能な観光地づくり」のための取り組み視点のもと実施していきます。カーボンニュートラル、カーボンフリー²等への対応も意識していくことが求められています。

④宿泊施設が少ない

- 宿泊施設が少ないということが長年の課題です。施設誘致他、キャンプ等新たな宿泊の仕組みが求められます。

⑤宜野座といえば！という独自の観光メニュー、土産品等が少ない

- 宜野座村といえば、という地域独自の土産品など商品が少ない。
- 「**キラリ☆ぎのぞ**」土産品、**グルメ**の取り組みの地域を巻き込んださらなる活性化
- 『**有機の里宜野座村**』、『**イチゴの里**』のさらなる促進と観光への活用。6次産業化等、農家の収益増となる仕組みづくり。
- 村民アンケートの結果、地域の魅力・特徴として村民から評価の高かった、「**自然環境**」、「**子育てしやすい環境**」、「**伝統文化・芸能**」を地域の魅力として、観光振興に活かしていく方法を検討していきます。

1 カーボンニュートラル

カーボンニュートラルとは、CO₂などの温室効果ガス(※)の排出量と吸収量を均衡させる(差し引きゼロにする)ことです。※温室効果ガス: 二酸化炭素(CO₂)・メタン・一酸化二窒素・フロンガスなど温室効果ガス排出量の削減に取り組み、排出してしまう分は吸収・除去し、全体としてゼロとする考え方です。2015年のパリ協定により「今世紀後半に温室効果ガスの人為的な発生源による排出量と吸収源による除去量との間の均衡を達成すること」という合意がなされ、日本を含め、世界120以上の国と地域が具体的な目標を掲げ、カーボンニュートラルに関する取り組みを進めています。また、2020年以降の「温室効果ガス削減・抑制目標」を定め、長期的な「低排出発展戦略」を作成・提出するよう規定されています。世界中が「2050年までのカーボンニュートラルの実現」に向けて歩みを進めています。

2 カーボンフリー

カーボンフリーとは、温室効果ガスを「排出しない」こと。カーボンオフセットやカーボンニュートラルは、温室効果ガスを削減し、排出してしまった分は吸収・除去することで「排出した量を実質的に減らす」という考え方です。

- 宜野座村のキャラクターなどの『ふるさと大使』の活用
- **リーガルウェディング**として村で婚姻届を出される方も多いがこれまで特に何も行ってない。県外から進出しているウェディング施設がありますが、現時点ではあまり交流がなく、宜野座村のを知りたい、連携したいとの声もあり、連携した取り組みが求められます。
- 2024年に「**県立農業大学校**」が名護から宜野座村松田に移設されることが決定しています。県立農業大学校の移設を宜野座村の農業振興や地域振興への好機として、観光振興にも繋げていくことが求められます。

⑥アフターコロナ、ウィズコロナに対しての準備・対応

- まだ新型コロナウイルスの沈静化には至っておらず、経済の動きがとりにくい状況にあり、観光産業としては難しい状況が続いていますが、アフターコロナ、ウィズコロナを視点においた、「新しい観光」の動きへの対応への準備が求められるところであり、新たな動きをつくるチャンスでもあります。
- コロナ禍により観光を取り巻く環境が大きく変化するなか、観光再生を期待されるものとして観光DX³化が求められています。宜野座村としても、今後の活用・推進について検討を進めていきます。

⑦道の駅ぎのざの駐車場が少ない

- 道の駅ぎのざを訪れる客は増えていますが、駐車場が少ないことが慢性的な課題となっています。
- リバーパーク構想において引き続き「道の駅ぎのざ」周辺の活性化について議論し、改善・改革に向け取り組んでいきます。

⑧観光事業に参加する事業者や村民を増やしたい

- ぜひ宜野座村に来てほしい、知ってほしい、楽しんでほしいという意識はありつつ、「観光業」を意識した営業を行っている店舗、事業者や村民はまだ少ない。
- 観光協会および各区の観光事業への取り組みへのさらなる支援
- 観光協会を中心とした観光関連の勉強会および研究会の実施
- 村民の積極的な参加と、毎年好評を頂いている「オープンガーデン」の継続実施、推進
- 学校や商工会、観光協会と連携した子どもたちへの観光学習

⑨広域連携

- 宜野座村西海岸に比べ、観光振興が遅れている東海岸の魅力づくりや仕組みづくりは長年の課題です。近隣の金武町やうるま市、名護市とも連携した、団結した議論や戦略が今後も求められます。（※沖縄県東海岸サンライズベルト構想等、広域連携による取り組みを継続していきます）

⑩日本版 DMO・広域 DMO

- 観光庁が推進する、地域多様な関係者を巻き込みつつ、科学的アプローチを取り入れた観光地づくりを行う舵取り役となる法人（DMO）により、地域資源を最大限に活用し、効果的・効率的な集客を図る「稼げる」観光地域づくりについて、宜野座村も観光協会を中心とした「稼げる」観光地域づくりとしての視点での取り組みが求められます。
- 北部 12 市町村からなる「やんばる版 DMO 等」の準備会が設立され、検討が進められています。宜野座村としてどのような地域魅力で連携するのか検討を進めているところです。

⑪観光客の視点に立った（外国人の方も含め）看板や標識、施設づくり

- 県外客や村外客のアンケートから、標識等について「がっかりした」との回答もあることから、今一度、観光客の行動や視線を考慮に入れた看板・標識や、施設づくりなどの再考が求められます。
- 継続してきた南米、ハワイとの相互交流で育ってきた人材と交流のネットワークを観光にも活用
- 観光施設や地域の安全保持とさらなる快適で安心できる環境づくり

³ DX（デジタルトランスフォーメーション）

DX とは「デジタル技術の導入によって、既存のビジネスのやり方を根本的に変革し、よりよい価値を顧客にもたらすこと」。政府が 2021 年秋に「デジタル庁」創設を目指していることでも注目されています。

第 3 章 宜野座村の観光振興の基本方針

1. 基本理念と目標

第5次宜野座村総合計画後期基本計画における観光分野の施策目標「観光産業の振興」における施策の方向性に対し、宜野座村の観光の現状調査や村民アンケート、そして、宜野座村が目指す5年後の将来についての座談会等から村民意見を踏まえ、宜野座村の観光振興の基本理念を次のとおりとします。

宜野座村は、ガラマン岳をはじめとする緑の山並みと、土地を潤し大海へと渡る豊かな水と、宜野座村民の心にもなぞらえる、水平線に昇る朝日の輝きとあたたかさ。このかけがえのない豊かで美しい環境を守り、活かし、「水と緑と太陽の里・宜野座村」を目指す。

宜野座村総合計画

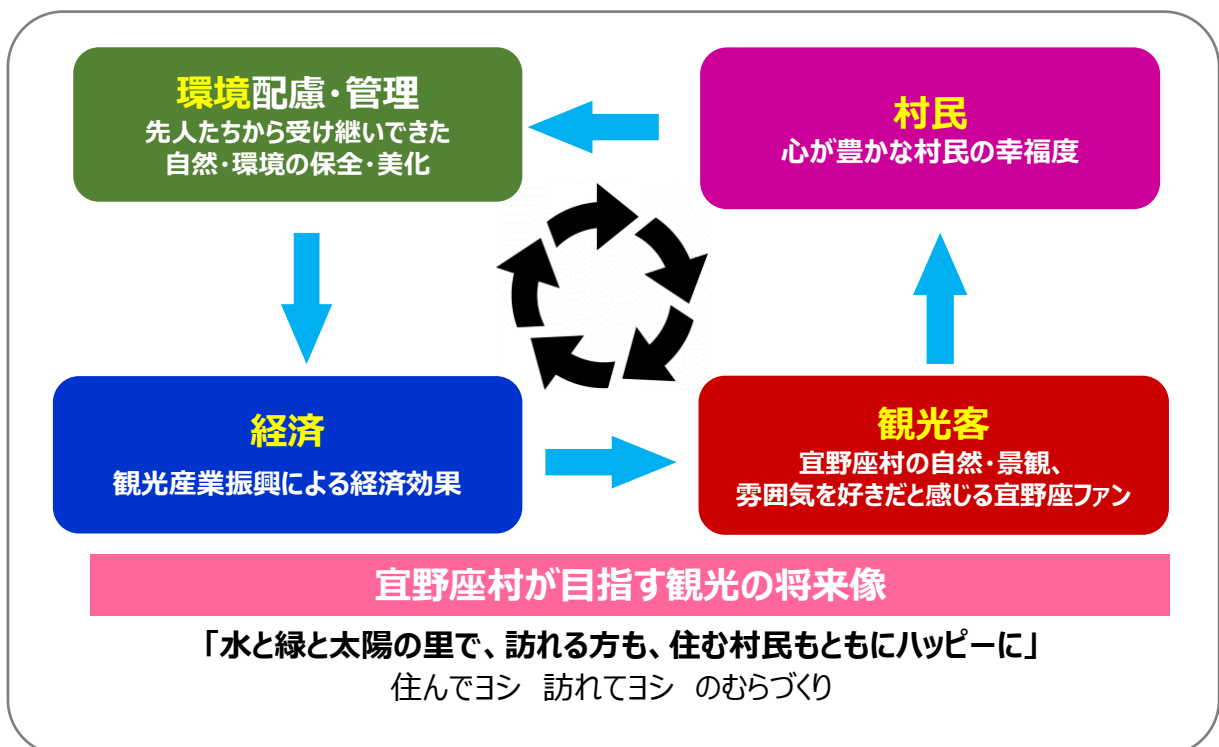
水と緑と太陽の里・宜野座村

総合的かつ計画的な
むらづくりの指針として
の将来像

「水と緑と太陽の里・宜野座村」をキーワードとした
来てヨシ、住んでヨシの持続可能な観光地づくり

ガラマン岳をはじめとする緑の山並みと、
土地を潤し大海へと渡る豊かな水

宜野座村民の心にもなぞらえる、
水平線に昇る朝日の輝きとあたたかさ



2. 基本方針（施策の方向性）

宜野座村の現状や課題を踏まえ、目指す将来像を実現するための基本方針として、以下の7つを分類・設定します。



3. 施策体系（全体構成）

観光の施策の7つの方針における施策等の全体一覧は以下のとおりです。

基本方針 1. 宜野座村の魅力掘り起しと推進 ※体験観光、特産品等

施策 1 地域の魅力づくり	①道の駅ぎのざの魅力づくり	⑦リバーパーク構想を踏襲したプロジェクトの推進
	②阪神タイガース春季キャンプの受入	⑧『有機の里』、『イチゴの里』宜野座村の推進
	③スポーツキャンプ合宿の受入	⑨教育・子育て充実な地域ならではの取り組み
	④宜野座の魅力発掘	⑩アニバーサリーイベントの推進
	⑤新たな観光プログラムの開発	
	⑥魅力ある特産品の開発・推進	

基本方針 2. 魅力を伝えるプロモーション

施策 2 広報活動	⑪県内外プロモーション活動	施策 3 情報発信の強化	⑬多様な媒体による継続した情報発信
	⑫県内外販売促進活動		⑭ふるさと大使の活用

基本方針 3. 村民が積極的に参加できる観光地づくり ※村民も楽しい観光振興

施策 4 表現の場や来村者の交流の場づくり	⑮既存まつりの活用	施策 5 村民が主役となる取組	⑮花のむらづくり推進
	⑯道の駅ぎのざを拠点とするイベントの開催		⑰地域交流体験の推進
	⑰地域周遊型となるイベントの開催	施策 6 商工業の活性化サポートおよび観光事業への運動化	⑳宜野座村商工会連携による観光事業推進

基本方針 4. 推進体制の強化

施策 7 観光推進体制の強化	⑲観光協会組織の強化	施策 8 広域連携	⑳広域連携での取り組み推進
	⑳各区の観光事業活動推進のためのサポート		

基本方針 5. 人材育成

施策 9 観光人材の育成強化	㉑質の高い観光受入体制の推進	施策 10 学校教育との連携	㉒学校教育と連携した取り組みの推進
	㉒グローバル対応人材の育成		

基本方針 6. 昔ながらの自然・文化を守りながらの観光振興

施策 11 地域文化の継承	㉓文化・芸術イベントの開催と各区文化継承の支援	施策 12 自然環境保全	㉓自然環境を保全するための整備・取り組み
	㉔文化・芸術の記録保全、明文化の推進		㉔景観を守りながらの村づくり推進

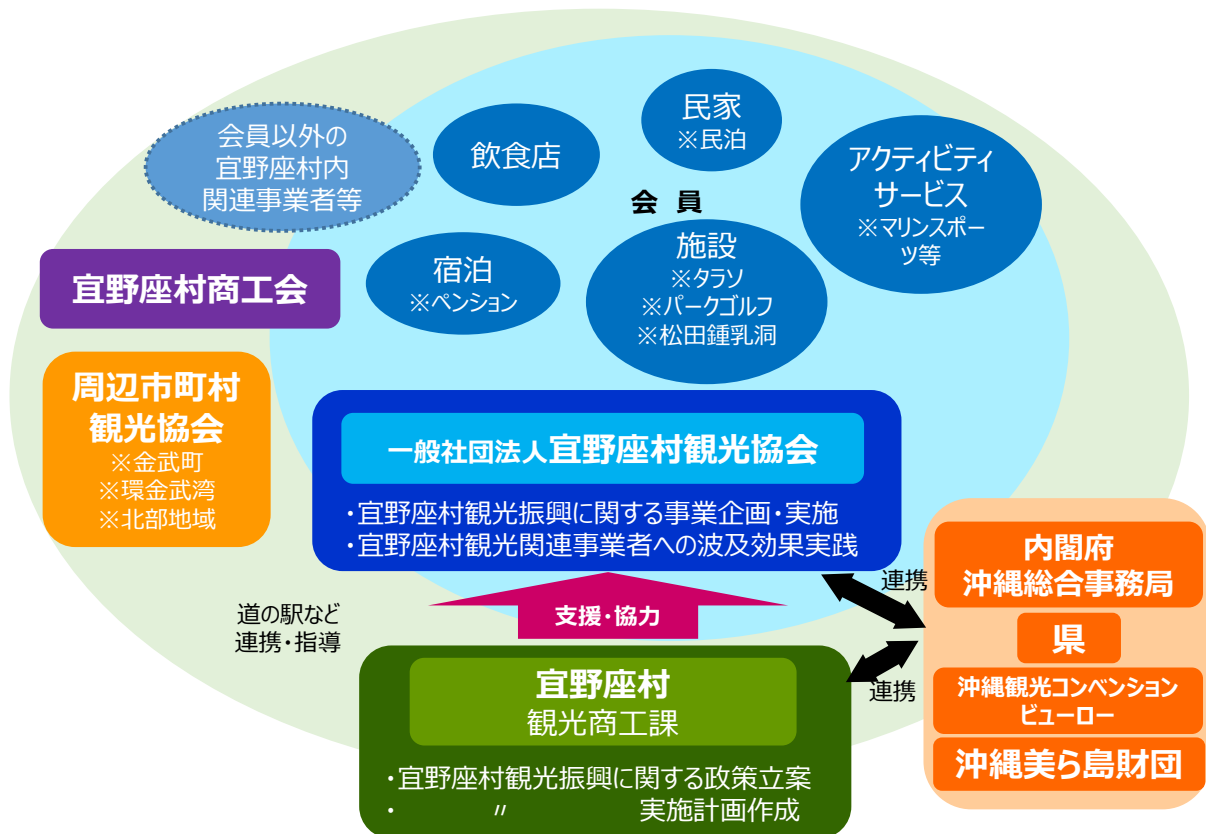
基本方針 7. 安心して関われる、安全な観光地づくり

※村民、観光客ともに安心できるルールとおもてなしづくり

施策 13 安全で清潔な観光地づくり	㉕観光施設を管理し、安全・清潔な施設を維持、保全する	施策 14 安全で安心な制度づくり	㉕観光危機管理計画、マニュアルなどの整備
	㉖安全保持のための取り組み		施策 15 外国人観光客の受入対応

4. 推進体制および各主体の役割

宜野座村の観光振興にあたっては、観光協会が持つ情報発信・プロモーション経験と、村内事業者が持つ実績がうまく連動するように自治体がバックアップしていくことが、これからの宜野座村観光の振興活性化につながると考えています。よって、宜野座村観光商工課が政策立案を行うとともに、宜野座村観光協会を中心に、各機関、団体、村民とが相互連携し、互いの知見と行動力を結集し、本計画を推進します。



【宜野座村の主な役割】 ※観光商工課、関連各課、教育委員会 など

- 役場内各課、各区、関連団体、観光関連事業者、村民と連携し、村の観光振興に取り組みます。
- 国や県、他市町村、関係機関と積極的に連携し、情報の共有や発信を行います。
- 観光インフラの整備や、民間事業者が事業推進するための取り組みを行います。
- 教育委員会においては、文化財等の保全と活用、学校教育との関連での事業推進を支援します。

【関連団体（観光協会・商工会等）の主な役割】

- 観光プログラムの運営や情報発信など事業推進を行うとともに、行政と民間をつなぐ、各分野の産業間をつなぐ調整機能を果たします。
- 観光マーケティングやプロモーションについて、行政との連携の下、推進します。（商工会、漁協など）
- 民間事業者等が行う事業に対しての支援や、団体自らが事業の担い手となる事業を主体的に推進します。
- 民間と行政とをつなぐ、円滑な事業推進が実現するための役割を担います。

【事業者の主な役割】

- 観光の主体的な担い手として、事業推進の役割を果たします。
- 関連事業者や行政、村民等との連携・協働のもとで、事業を推進し、観光振興を図るとともに、地域の魅力向上、地域経済の活性化や人材育成に努めます。

【村民の主な役割】

- 宜野座村が目指す観光振興に積極的に参加し、ともに連携して地域振興に取り組みます。
- 宜野座村の歴史や文化、自然等に誇りを持ち、その保全や継承に積極的に取り組むとともに、来村される方々に宜野座村を楽しんでもらい、ファンになってもらう姿勢で自らが参加します。
- 地域の美化緑化活動など、宜野座村の魅力づくりに取り組みます。
- 自身の経験や知識を活かした体験受け入れや民泊の受け入れなど、観光まちづくりの担い手として活躍します。

それぞれが役割を果たしていくとともに、相互に連携・協力する体制をより強固にしていくことで、観光振興の基本理念を実現可能なものにしていきます。

第 4 章 具体的な取り組みと目標

1. 具体的な取り組み内容

宜野座村が目指す将来像を実現するための基本方針についての、具体的な取り組み内容は以下のとおりです。

基本方針 1. 宜野座村の魅力掘り起しと推進 ※体験観光、特産品等

施策 1. 地域の魅力づくり

取り組み①道の駅「ぎのざ」の魅力づくり

- 道の駅「ぎのざ」は宜野座村のシンボリック施設となっており、引き続き、道の駅「ぎのざ」を拠点とした取り組みを実施していきます。
- 宜野座村の農作物や工芸、食などを販売する直売所を含め、観光を発信する拠点施設を中心に地域全体が活性化できる取り組みを行っていきます。

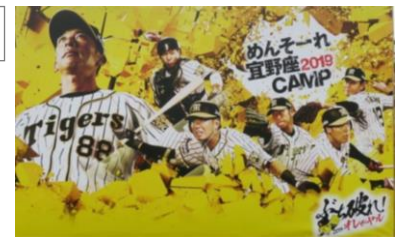


道の駅「ぎのざ」内宜野座村観光拠点施設

	実施	内容
行政	◎	活性化となる施策、事業計画を作成
関係団体	◎	観光協会、商工会等が実施部隊の中心となって実施
事業者	○	イベントへの出展、商品の販売等の参加
村民	○	各種イベント等に参加

取り組み②阪神タイガース春季キャンプの受入

- 2003年からタイガースキャンプの春季キャンプ地として宜野座村を使って頂いており、キャンプ時には多くのタイガースファンが来村します。来られた方に宜野座村を楽しんで頂けるような取り組みを行っていきます。
- 利用者ニーズに対応すべく、年間を通して安心安全な施設を維持するとともに、各種スポーツイベントにも反映していきます。



阪神タイガース春季キャンプ

	実施	内容
行政	◎	村をあげて球団担当者と調整し、効果的なキャンプ実現に尽力します
関係団体	◎	観光協会が実施部隊の中心となって実施
事業者	○	キャンプ時の連携出展、タイガース関連の新規商品開発等
村民	○	町並みの清掃や来村者への歓迎の雰囲気づくり（笑顔でのあいさつなど）。

取り組み③スポーツキャンプ合宿の受入

- カヌーや自転車、空手、野球など、プロからアマチュアまで多くのスポーツ選手、チームがスポーツ合宿として来村されています。今後も、多くのスポーツ選手が宜野座村でスポーツ合宿を頂けるよう、推進していきます。
- スポーツキャンプを受入にあたって、利用者が快適に合宿できるような仕組み等、村内事業者、関係者連携によるサポート体制を構築します。



カヌーナショナルチーム合宿

	実施	内容
行政	◎	スポーツ施設の整備等、受入における協力・支援
関係団体	◎	観光協会が実施部隊の中心となって実施
事業者	○	できるサービス提供による連携
村民	○	受け入れ地域としての歓迎ムード。日々の笑顔

取り組み④宜野座の魅力発掘

- 地域にある潜在的な宜野座村の魅力を積極的に発掘していきます。
- 宜野座村の魅力ある『キラリ☆ぎの座グルメ』として、推薦したい村内店舗のメニューを投票する制度を実施しています。今後も継続し、食としての魅力発掘と発信を推進していきます。

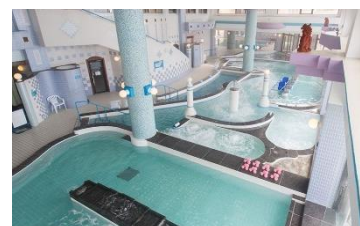


「キラリ☆ぎの座」認定グルメ エビのサクサク揚げ（炭焼家てんぷす）

	実施	内容
行政	◎	企画、実施
関係団体	○	投票実施の際には商工会・観光協会が情報発信および、投票シート配布等協力
事業者	○	選定店舗による本制度の積極的な活用
村民	○	積極的な投票参加。家族、知人への呼びかけ。

取り組み⑤新たな観光プログラムの開発

- 地域にある体験メニュー、施設メニュー、文化・歴史等も含め、来村する方が宜野座村を体験し、楽しんでもらえる観光プログラムを開発していきます。
- 施設単位個々で行うことが多く、連携したプログラムづくりが少ないという課題があります。既存のメニューも含め、観光に向けた新たな連携した観光プログラムづくりを推進していきます。
- ホテル、民宿以外のキャンプ、グランピング等、幅広い宿泊手段の発掘も含め、スポーツ以外の多様な合宿プログラムについても検討・推進していきます。



カナ タラソ ラグーナ

	実施	内容
行政	○	観光協会、事業者への支援および協力
関係団体	◎	観光協会が中心となって事業者と連携してプログラム開発および実施
事業者	◎	プログラムの開発、販売
村民		歓迎する雰囲気

取り組み⑥魅力ある特産品の開発・推進

- 宜野座村独自の土産物などが少ないという課題があり、『キラリ☆ぎの座土産品』制度を実施してきました。今後も継続して宜野座村独自の土産品、特産品を増やしていきます。
- 広く村民からの「特産品アイデア」を募るなど、村民を巻き込んだ取り組みも推進していきます。

・マスコットキャラクター活用した商品開発
 ・ふるさと納税活用による魅力発信
 ・6次産業化の推進（農業と観光を連動した取り組みの実施。付加価値化等：ハウス施工等高度化）なども検討していきます。



「キラリ☆ぎの座」認定土産品
 黒糖とクルミのスコーン（B&B タンデム）

	実施	内容
行政	◎	企画、実施
関係団体	○	商工会・観光協会による連携した特産品づくり。企業サポート等。
事業者	◎	積極的な特産品づくり・事業申請。マスコットキャラクター等制度の活用。
村民	◎	特産品アイデア事業など個々での参加と積極的な購入と情報発信

取り組み⑦リバーパーク構想を踏襲したプロジェクトの推進

- 「宜野座村の『自然』を活かした、見て、触れて、体験できる公園整備」を図る目的で、平成 23 年度に基本計画を策定、平成 24 年度にはパークゴルフ場、平成 28 年度から平成 29 年度にかけて観光拠点施設等が建設されるなど整備を進めてきました。
- 今後の取り組みとしては、道の駅「ぎのぞ」の魅力づくりにおける展開や、駐車場不足等の課題解決、民間連携の取り組み等、福地川一帯の更なる活性化にむけて計画を見直しつつ推進していきます。



漢那リバーパーク整備構想図

	実施	内容
行政	◎	計画の見直しおよび事業化の検討、実施等
関係団体	◎	各区、各種関係団体で構成する委員会にて意見、助言等実施
事業者	○	当該地域での民間としての開発・連携等
村民	○	計画の進捗、見直しに関する意見等（アンケート回答参加）

取り組み⑧『有機の里』、『イチゴの里』宜野座村の推進

- 本村では、平成 16 年から議論を進め、平成 22 年に『有機の里宜野座村』を宣言し、化学肥料等を減らすなどのエコ農作物づくりを推進してきました。今後も「安心・安全な農作物」づくりと、環境に優しい持続性ある農業を推進するとともに、来村する方にも「有機の里宜野座村」を本村の魅力として観光にもつなげていきます。
- 毎年、多くの方がイチゴ狩りで来村されており、評価を頂いているイチゴについても、「イチゴの里」宜野座村として引き続き推進していきます。



宜野座村ブランド野菜：エコファーマーが育てた野菜

	実施	内容
行政	◎	継続的な取り組みとして実施。農家支援・協力等。
関係団体	◎	農協、農家部会における積極的な普及と実施
事業者	◎	未来ぎのぞでの積極的な販売とエコシールの積極的な活用
村民	◎	有機の里の取り組みを認知し、積極的に活用。広く伝える。

取り組み⑨教育・子育て充実な地域ならではの取り組み

- 本村では地域ぐるみで子育てを応援する環境づくりに力を入れており、教育・子育て支援体制が充実しているとの評価で、本村に転入する世帯の増加がみられるなど、子育てに安心な地域であることは本村の魅力の一つといえます。その魅力を活かした、観光の取り組みやメニュー造成なども行っていきます。

・宜野座村の特殊出生率は全国で6番目に高い。
 ・子どもが遊べる○○などのマップや、村内、村外の方がともに参加できるイベントなど、地域の子どもと観光客との交流の場にもなるような仕組みのイベントやメニューづくりを推進していきます。



「宜野座らしさ」ポスター2013年
 「ぎのぎを見てから生きる」がキャッチフレーズ

	実施	内容
行政	◎	住みよい村づくりのための制度整備。対策を実施
関係団体	◎	観光協会が中心となって、「子育てに安心な村」を活かした観光メニューの開発やイベントを実施
事業者		
村民	○	観光客との交流の場への積極的な参加。交流ができる雰囲気。

取り組み⑩アニバーサリーイベントの推進

- チャペルもあることから、本村でリーガルウェディングによる婚姻届をされる方が増えています。結婚式のみならず、広く幸せな記念日をともに祝う地域としての取り組みを推進していきます。

・村独自の結婚記念証発行や、村内での記念日にもともにお祝いする取り組みなどの仕組みを取り入れていきます。

	実施	内容
行政	◎	窓口での歓迎ムードづくり。結婚記念証発行、記念品の検討
関係団体	◎	観光協会が事業者と連携した取り組み、プランづくりなど検討
事業者	○	プログラム開発。行政と連携しお客様のためのプラン、仕組みを造成。実施。
村民	○	ともに祝福する歓喜ムード、雰囲気づくり

基本方針 2. 魅力を伝えるプロモーション

施策 2. 広報活動

取り組み⑪県内外プロモーション活動

- 宜野座村の認知度向上を目的に、県外のイベント等への積極的な参加や、媒体を活用した情報発信等、本村への誘客につながる効果的な取り組みを積極的に検討し、実施していきます。



甲子園（兵庫県）での関西圏プロモーション

	実施	内容
行政	○	県内外プロモーションの情報収集・企画。参加への事業者支援、協力
関係団体	◎	観光協会が中心となって出展
事業者		
村民		

取り組み⑫県内外販売促進活動

- 村内外の効果的と判断される大型商業施設、イベント等には積極的に出展し、宜野座村の魅力紹介や、特産品販売など、宜野座村のプロモーションを行い、宜野座村のファンの造成や未来の観光客に増加につなげます。



あしびなー（豊見城市）での『ぎのざ観光と物産フェア』

	実施	内容
行政	◎	販売促進に関する情報収集・企画。実施における事業者支援、協力
関係団体	◎	未来ぎのざおよび観光協会による事業者呼びかけおよび物産出展。イベント実施。
事業者	◎	イベントへの積極的参加。商品プロモーション・特産品販売。
村民		

施策 3. 情報発信の強化

取り組み⑬多様な媒体による継続した情報発信

- 宜野座村独自の SNS、ラジオ、ネット動画コンテンツを設け、宜野座村の生の情報を積極的に発信していきます。

- ・紙媒体などのガイドブック作成
- ・宜野座村のキラ☆ぎの座土産品、グルメなどの情報とりまとめ・発信。
- ・宜野座村の歴史、文化に関する情報、アーカイブ化した情報を発信。
- ・宜野座村の食、土産品など、店舗や施設、遊べる場所などを紹介するガイドブック等、情報をまとめ、配布資料を作成します。



宜野座村観光協会公式チャンネル

	実施	内容
行政	◎	宜野座村の魅力づくりとなる「キラ☆ぎの座（土産品、グルメ）などの取り組み実施
関係団体	◎	観光協会を中心に情報発信
事業者	○	各事業者の情報発信、観光協会は発信する情報への連携・協力
村民	○	積極的な媒体の視聴、参加。村内外の知人への情報伝達・紹介等

取り組み⑭ふるさと大使の活用

- 宜野座村にゆかりのある、ふるさと大使（マスコットキャラクター、出身者等）の協力を頂き、積極的に宜野座村の魅力を発信していきます。

- 【宜野座村のふるさと大使】
- ・ぎ〜のくん
 - ・ストロベリー



宜野座村ふるさと大使「ストロベリー」

	実施	内容
行政	◎	ふるさと大使を活用した取り組み企画。ゆかりある方の大使への委嘱。情報発信。
関係団体	○	イベント等でのふるさと大使の積極的な活用
事業者	○	個々の事業における積極的な活用。マスコットキャラクターを活用した商品開発。
村民	○	ふるさと大使のファンとなり、村内外の知人へ情報伝達・紹介

基本方針 3. 村民が積極的に参加できる観光地づくり ※村民も楽しい観光振興

施策 4. 表現の場や来村者の交流の場づくり

取り組み⑮既存まつりの活用

- 村民相互の融和と地場産業育成・発展を目的に毎年行っている「宜野座まつり」や「ダムまつり」などを、広く来村者をお招きする場としても設定し、村民が芸能や技術を発表、表現できる場とするとともに、村外の方が宜野座村を体験し、交流できる場としても活用します。
- 既存の祭りの開催において、観光客や村外の方が関わりやすい雰囲気づくりと仕組みを積極的につくっていきます。



宜野座村まつりステージ

	実施	内容
行政	◎	イベントの開催
関係団体	◎	村内各種団体が連携し開催。出展、出店、参加
事業者	◎	イベントに出店、参加等。
村民	◎	イベントへの積極的な参加。来村者の歓迎ムード。イベントの情報拡散・招待等。

取り組み⑯道の駅ぎのざを拠点とするイベントの開催

- 宜野座村の観光拠点となる「道の駅ぎのざ」を主会場としたイベントを開催し、集客の機会、きっかけを積極的に設けていきます。
- 幅広い年齢層にあわせたイベントから、ニッチな層を対象とした目的型、または産業開発型のイベントも念頭に企画していきます。



道の駅フェスティバル

	実施	内容
行政	○	イベント開催の支援・協力
関係団体	◎	観光協会および商工会等、各種団体による道の駅を会場としたイベント企画・実施
事業者	◎	道の駅を会場としたイベント企画・実施。実施イベントへの積極的な出店・参加。
村民	○	イベントへの参加。村内外の知人への呼びかけ。情報拡散等。

取り組み⑰地域周遊型となるイベントの開催

- リニューアルオープン後、「道の駅ぎのざ」を目的に来村する方の数は増えていますが、その後、地域の店舗や施設へも足を運ぶという波及効果につながっていないことが課題となっています。「道の駅ぎのざ」に来られた方が地域の店舗等に足を運ぶ流れを作るような仕組みづくりとなるイベントや取り組みを積極的に実施します。



ぎのざワンダフル DAY

	実施	内容
行政	○	地域への広がりある取り組みの検討・企画。実施における協力・支援。
関係団体	◎	観光協会および商工会等による地域経済に繋げるための取り組みの企画・実施
事業者	◎	実施する取り組みへの積極的な参加。関係団体への企画提案等。
村民	○	イベントへの参加。村内外の知人への呼びかけ。情報拡散等。

施策 5. 村民が主役となる取組

取組み⑩花のむらづくり推進

- 村内の「個性あふれる庭園」をオープンガーデンとして解放し、広く村内村外の来客者をお招きするという取組みを行っています。
- 村内民家のきれいな庭園が増えるとともに、花木、ガーデニング等に興味のある村外の方々ともふれあう、交流の機会になっています。今後ともこのような取組みを継続していきます。



オープンガーデン

	実施	内容
行政	◎	企画、開催
関係団体	◎	観光協会が広報。飲食事業者調整、イベントパスポートの販売。当日運営等。
事業者	○	イベントへの積極的参加（出店。店舗としてオープンガーデンを実施等）
村民	○	日頃から地域の美化となる習慣の実施。オープンガーデンとして参加。

取組み⑪地域交流体験の推進

- 自然・文化・食等の体験交流メニューの開発など、観光客や村外の方と村民が交流できる、宜野座村の時間を体験できるメニューや、機会の造成を行っています。
- 民泊等、地域の生活や体験ができる仕組み、プロジェクトの実施・推進



修学旅行生民泊の受入

	実施	内容
行政	○	事業計画を作成
関係団体	◎	観光協会を中心となりメニュー開発、事業を実施
事業者	◎	メニュー開発・実施
村民	◎	村外の方が関わりやすい雰囲気づくり。積極的な参加

施策 6. 商工業の活性化サポートおよび観光事業への連動化

取組み⑫宜野座村商工会連携による観光事業推進

- 観光振興は村内の経済振興に直結します。宜野座村商工会と連携した取組みにより、さらなる観光振興への相乗効果を図ります。



宜野座村商工会フェスティバル

	実施	内容
行政	◎	地域事業者の観光事業参加への協力・支援等。商工会と連携した取組み実施。
関係団体	◎	商工会を中心に事業者の観光事業推進をサポート
事業者	○	観光事業としての事業検討・実施。
村民		

基本方針 4. 推進体制の強化

施策 7. 観光推進体制の強化

取り組み①観光協会組織の強化

- 宜野座村の観光振興を行う組織として、「宜野座村観光協会」が実行部隊として、引き続き、活動支援を行っていきます。



宜野座村観光協会

	実施	内容
行政	○	取り組み支援・協力
関係団体	◎	さらなる提案力向上および財政基盤整備をめざし、内外専門家の協力なども得て、ま地域の声を集める会議を設置。地域を巻き込んだ体制づくりと企画開発を実施。
事業者		
村民		

取り組み②各区の観光事業活動推進のためのサポート

- 各区が希望するそれぞれの独自性や差別化となる観光メニューや地域の魅力づくり等、積極的な観光事業、地域づくりに関する取り組みについてもサポートを行って行きます。



松田鍾乳洞観光協会の勉強会

	実施	内容
行政	○	取り組み支援・協力
関係団体	◎	各区で考える観光事業実施の検討・実施。各地の魅力づくり
事業者	○	地域の独自性を活かした観光事業・商品開発
村民		

施策 8. 広域連携

取り組み③広域連携での取り組み推進

- 北部地域や環金武湾地域等の近隣市町村の連携により、災害時協力等共通課題への取り組みや、互いの魅力発信等で相乗効果を測っていきます。
- 県外、海外の姉妹町村等との広域連携、交流についても引き続き積極的に行い、互いの地域振興や情報発信拡大に繋げていきます。
- 大学、企業等との連携による専門的な知見を得るとともに、地域振興に向けた連携についても推進していきます。



環金武湾振興協議会（うるま市金武町宜野座村）による県外観光物産 PR 活動

	実施	内容
行政	◎	近隣市町村、姉妹町村、大学との情報共有。積極的な連携、取り組み実施。
関係団体	◎	近隣市町村の観光協会、商工会との情報共有、連携
事業者		
村民		

基本方針 5. 人材育成

施策 9. 観光人材の育成強化

取り組み⑳質の高い観光受入体制の推進

- 観光産業の振興のためには、観光につながる地域の事業者の観光産業への理解と、知識習得が求められます。日々変化する業界の情報や知識を得られる機会を設け、地域で連携した質の高い体制整備のための取り組みを行っていきます。



観光人材育成講座

	実施	内容
行政	◎	質の高い観光受入体制に関する専門家招聘等による情報収集や学びの機会創出
関係団体	◎	観光協会による勉強会の企画および開催。
事業者	◎	積極的な情報の収集および勉強会への参加
村民		

取り組み㉑グローバル対応人材の育成

- 移民の歴史を背景に南米（アルゼンチン・ブラジル・ペルー）、ハワイとの研修生の相互交流が行われています。研修生と村内学生との交流、村内からは毎年2名が派遣され、各国村人会との交流を行っています。帰国後、派遣された研修生は、村の国際交流に携わっています。
- これらの活動も活かし、来村する海外観光客に対しても壁をつくらず、対応できる人材育成を行うとともに、来村した研修生の協力を得て、外国の方の目線に立った環境づくりを推進するとともに、観光振興にもつなげていきます。



世界のギノザンチュの集い

	実施	内容
行政	◎	継続した取り組みの実施。関係する国、地域の村人会、県人会との調整、連携
関係団体	◎	芸能団体、学校等が中心となって交流。観光協会による観光につながる取り組みづくり
事業者		
村民	◎	世界のギノザンチュとの積極的な交流、来村する海外観光客への壁をつくらない対応

施策 10. 学校教育との連携

取り組み㉒学校教育と連携した取り組みの推進

- 学校との連携により、子どもたちが宜野座村に誇りを持ち、来村される方や村外の方に積極的に宜野座村を紹介することができる、紹介したいと考える地域づくりとともに、人材の育成にもつながる取り組み、活動を推進していきます。



小中高キャリア教育支援

	実施	内容
行政	◎	学校と連携した取り組み調整。支援・協力
関係団体	◎	商工会、観光協会連携による実施
事業者	○	子どもたちの教育に関わる積極的な連携・協力
村民	◎	子どもたちが観光としての取り組みを知り、来村者へ伝えられるようになる。ウェルカムな笑顔

基本方針 6. 昔ながらの自然・文化を守りながらの観光振興

施策 11. 地域文化の継承

取り組み①文化・芸術イベントの開催と各区文化継承の支援

- 各区の恒例行事・文化継承の支援を行うとともに、文化芸能継承者の発表の場を積極的に設けるなど、村民含め、村外からの観光客にも広く触れてもらえる場をつくっていきます。
- 文化のまちづくり事業実行委員会と連携し、文化芸能継承者育成の支援や、文化推進を図っていきます。
- 昔ながらの文化の発信をするとともに、新たな芸術、芸能を発掘、発信する地域となるべく、積極的な文化づくりを推進していきます。



伝創芸欄「結」公演

	実施	内容
行政	○	各区の恒例行事・文化継承に関わることや、文化芸能団体、芸能伝承者への支援
関係団体	◎	各区、まちづくり事業実行委員会が中心となり保存および観光商品化を目指します
事業者		
村民	○	イベントへの参加。地域豊年祭（芸能祭）への積極的参加

取り組み②文化・芸術の記録保全、明文化の推進

- 博物館や各部落地域等の宜野座村の歴史、文化の資源を映像化（見える化）し、配信する等、動画記録として保存・発信を行っています。あわせて、島くとうば継承に関する取り組みも行っています。



宜野座の名誉村民の生涯を舞台化『伊芸銀勇物語』

	実施	内容
行政	◎	博物館を中心に宜野座村の歴史、文化に関する資料の保存、アーカイブ化を実施
関係団体	◎	まちづくり事業実行委員会が連携し、アーカイブ化。観光協会が情報を発信。
事業者		
村民	○	積極的に関わり伝承

施策 12. 自然環境保全

取り組み①自然環境を保全するための整備・取り組み

- 宜野座村では、「水と緑と太陽の里・宜野座村」を将来像として、祖先から引き継いできた村の自然環境を保持していくことを使命としてきました。村民や来村者のアンケート調査の結果においても、「自然環境」は宜野座村の魅力の上位を占めます。引き続き、自然環境を保持、改善を図りつつ、観光振興を図っていきます。
- 課題となっている海上への赤土流出や不法投棄などへの対策
- 地域の方や子どもたちを巻き込んだ定期的な清掃活動の実施により、ともに地域をつくる認識、誇りの造成につなげます。

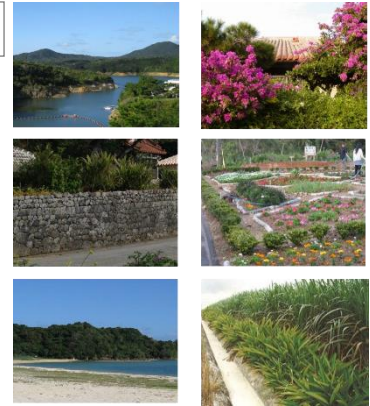


各区クリーングリーン作業

	実施	内容
行政	◎	赤土流出や不法投棄などを含め、環境保全に関する事項への積極的対策・対応
関係団体	◎	各区で連携し、環境保全に関わる取り組みを定期的実施
事業者	◎	各事業者でも独自に積極的な活動を実施
村民	◎	各地域の活動を含め、個々においても積極的に実施。活動への参加。

取り組み⑩ 景観を守りながらの村づくり推進

- 村では、昔ながらの伝統環境を守りつつ、美しい景観形成を目指すことを目的に、「自然（水・緑・光・風）と文化を感じて暮らし、心がかよふ風景づくり～人が主役となって地域の価値を高める協働の景観むらづくり～」を推進してきました。
- 景観保持のための制度整備を行うとともに、村民と連携した景観整備を行っています。
- 宜野座村独自の景観の魅力を掘り起こし・見える化し、発信していきます。



宜野座の景観保全・形成

	実施	内容
行政	◎	昔ながらの伝統環境、目指す景観の指針発信。景観形成団体への支援
関係団体	○	景観むらづくり団体による活動。観光協会等による宜野座村独自の景観の観光資源化
事業者		
村民		

基本方針 7. 安心して関われる、安全な観光地づくり ※村民、観光客ともに安心できるルールとおもてなしづくり

施策 13. 安全で清潔な観光地づくり

取り組み⑪ 観光施設を管理し、安全・清潔な施設を維持、保全する

- 道の駅「ぎのざ」、漢那ビーチ、漢那ダム、漢那パークゴルフ場、松田鍾乳洞等の観光施設を管理し、安全性と、衛生管理等を行っています。
- 自然保護、環境保持に配慮した上で観光振興を行っています。



道の駅ぎのざ「観光拠点施設（水遊び場）」

	実施	内容
行政	◎	施設管理へ仕組みづくり。指定事業者選定・指導。積極的な支援、協力
関係団体	○	各区が指定管理者と協力して実施
事業者	◎	指定管理者が中心となって実施
村民	○	村民個々においても日々の中で環境保全を意識して協力

取り組み⑫ 安全保持のための取り組み

- 危険生物駆除および野犬捕獲等、観光施設や地域の安全保持に関わる対策や、危険表示等、関連する取り組みを積極的に行っています。



危険生物についての注意看板設置

	実施	内容
行政	◎	情報のとりまとめ。即時に対策。情報通達
関係団体	◎	各区が連携して対策
事業者	○	情報喚起。観光客へ通達等
村民		

施策 14. 安全で安心な制度づくり

取り組み③観光危機管理計画、マニュアルなどの整備

- 観光危機管理（観光客や観光産業に甚大な影響をもたらす危機を想定し、被害を最小限にするため、減災対策や危機発生時の対応策等をあらかじめ計画・訓練して組織としての備えをしておくことで、観光地のレジリエンスを向上させるもの）について、地域で学びつつ、地域防災計画と連動した観光についての危機管理計画、マニュアルなどの内容を検討するとともに整備に向けて取り組んでいきます。



観光危機管理事業者勉強会

	実施	内容
行政	◎	計画内容の検討・作成
関係団体	◎	内容作成において、各区、各種団体が連携・協力
事業者	◎	内容作成において、事業者として連携・協力
村民		

施策 15. 外国人観光客の受入対応整備

取り組み④多言語化表記、資料等外国人の目線に立った整備

- 外国人の目線にたった地域の魅力、利便性等を検証し、外国人も安心して来られる村づくりを目指します。
- 外国人の目線に立った看板や多言語表記等、情報、資料等の整備を行っていきます。
- その際、継続実施している南米、ハワイとの相互交流の機会を活かし、各国から来村する研修生の協力を得て外国人の視点からみた安心して訪問することができる宜野座村の配慮ある地域づくりを目指します。



多言語案内板の設置

	実施	内容
行政	◎	外国人来訪者が困惑しない最低限度の必要な表記/資料整備
関係団体	◎	観光協会による外国人観光客への対応整備。
事業者	○	外国人来村者への対応で必要なことの確認・整備
村民		

2. 実施のロードマップ

		令和3年度 (2021年)	令和4年度 (2022年)	令和5年度 (2023年)	令和6年度 (2024年)	令和7年度 (2025年)
社会情勢（想定含む）		経済活動 自粛	経済緩和	withコロナ afterコロナ	→	
目指すイメージ		「儲かる」観 光振興に向 けた検討	県内客、国内 客向けのメ ニュー開発・ 発信	インバウンド向け 戦略とメニ ュー開発・ 発信	→	
		国内旅行が徐々に回復		外国人の入国が徐々に回復		
基本方針1. 宜野座村の魅力掘り起しと推進 ※体験観光、特産品等						
施策1 地域の魅力づくり	①道の駅ぎのざの魅力づくり					継続実施
	②阪神タイガース春季キャンプの受入					継続実施
	③スポーツキャンプ合宿の受入					継続実施
	④宜野座の魅力発掘			実施内容 検討・準備		継続実施
	⑤新たな観光プログラムの開発					継続実施
	⑥魅力ある特産品の開発・推進					継続実施
	⑦リバーパーク構想を踏襲したプロジェクトの推進				検討委員会 実施事項再議論	継続実施
	⑧『有機の里』、『イチゴの里』宜野座村の推進					継続実施
	⑨教育・子育て充実な地域ならではの取り組み				実施内容 検討・調整	着手・実施
	⑩アニバーサリーイベントの推進				実施内容 検討・関係者調整	着手・実施
基本方針2. 魅力を伝えるプロモーション						
施策2 広報活動	⑪県内外プロモーション活動			再開		継続実施
	⑫県内外販売促進活動			再開		継続実施
施策3 情報発信の強化	⑬多様な媒体による継続した情報発信					継続実施
	⑭ふるさと大使の活用				実施内容 検討・調整	継続実施
基本方針3. 村民が積極的に参加できる観光地づくり ※村民も楽しい観光振興						
施策4 表現の場や来村者の交流の場づくり	⑮既存まつりの活用	自粛		再開		継続実施
	⑯道の駅ぎのざを拠点とするイベントの開催					継続実施
	⑰地域周遊型となるイベントの開催					継続実施
施策5 村民が主役となる取組	⑱花のむらづくり推進					継続実施
	⑲地域交流体験の推進					継続実施
施策6 商工業の活性化サポートおよび観光事 業への運動化	⑳宜野座村商工会連携による観光事業推進	自粛		再開		継続実施
基本方針4. 推進体制の強化						
施策7 観光推進体制の強化	㉑観光協会組織の強化			戦略検討委員会 立上げ・計画作成		継続実施
	㉒各区の観光事業活動推進のためのサポート					継続実施
施策8 広域連携	㉓広域連携での取り組み推進				実施内容 検討・関係者調整	継続実施
基本方針5. 人材育成						
施策9 観光人材の育成強化	㉔質の高い観光受入体制の推進					継続実施
	㉕グローバル対応人材の育成	自粛		実施内容 検討・調整	実施	継続実施
施策10 学校教育との連携	㉖学校教育と連携した取り組みの推進				プログラム検討 作成・関係者調整	実施
基本方針6. 昔ながらの自然・文化を守りながらの観光振興						
施策11 地域文化の継承	㉗文化・芸術イベントの開催と各区文化継承の支援					継続実施
	㉘文化・芸術の記録保全、明文化の推進					継続実施
施策12 自然環境保全	㉙自然環境を保全するための整備・取り組み					継続実施
	㉚景観を守りながらの村づくり推進					継続実施
基本方針7. 安心して関われる、安全な観光地づくり ※村民、観光客ともに安心できるルールとおもてなしづくり						
施策13 安全で清潔な観光地づくり	㉛観光施設を管理し、安全・清潔な施設を維持、保全する					継続実施
	㉜安全保持のための取り組み					継続実施
施策14 安全で安心な制度づくり	㉝観光危機管理計画、マニュアルなどの整備			観光危機管理 計画作成	実施	継続実施
施策15 外国人観光客の受入対応	㉞多言語化表記、資料等外国人の目線に立った整備			実施内容 調査/準備	着手・実施	継続整備

3. 効果を検証するための指標 KPI・目標値

宜野座村の観光振興においては、前述してきたとおり、「村民」、「観光客」、「経済効果」、「環境配慮・管理」のそれぞれの満足度・保持のバランスが重要であり、本計画に基づく宜野座村の観光振興の取り組みを行うことによる成果を測る指標 KPI 基準として、以下の指標、目標値を設定し、進捗状況を確認していきます。

【全体一覧】

	指標	基準値	目標値	手法等
村民	住みやすさ	H28:86.9%⇒R2:85.9% (住みよい+まあ住みよい)	88% (住みよい+まあ住みよい)	村民アンケート調査
	観光の観点からの満足度 村および村民の活気	63.5% (満足+まあ満足)	70% (満足+まあ満足)	村民アンケート調査
	推薦度 (NPS)	-14.6pt (推奨者-批判者の割合:16.0-30.6)	0pt (推奨者-批判者の割合)	村民アンケート調査
観光客	満足度 ※来客者、宿泊者	-% (今後設定)	70% (「非常に満足+満足)	観光客アンケート調査 ※道の駅ぎのぞ、宿泊施設等
	地元の人々の雰囲気 に対する評価	57.0% (良い・感動した)	70% (良い・感動した)	観光客アンケート調査 ※道の駅ぎのぞ、宿泊施設等
	推薦度 (NPS)	24.9pt (推奨者-批判者の割合:42.0-17.1)	30pt (推奨者-批判者の割合)	観光客アンケート調査 ※道の駅ぎのぞ、宿泊施設等
経済効果	事業者の経済効果 実感度	-	40% (とても思う+そう思う)	事業者アンケート調査
	入込者数	890,262人	1,000,000人	統計調査 (道の駅ぎのぞ等、施設、宿泊施設)
	一人あたり観光 消費額	-円 (今後設定)	(日帰り) 2,000 円 (観光消費額12億円) (宿泊者) 30,000円 円 (観光消費額12億円)	観光客アンケート調査 (単価) 統計調査
環境 配慮 ・ 管理	村民一人あたりの 1日のごみ排出量	921g	845g	「金武地区消防衛生組合」より
	海域における赤土堆積量 ランク 環境保全目標類型【サンゴ場】	サンゴ場C SPSS (301.3 kg/mi)	サンゴ場A	県環境部環境保全課 赤土等堆積状況調査

村民

観光振興のための取り組みを行うことによる村民の評価・満足度

①村民の住みやすさの評価

指標	基準値 2021	目標値	手法等
住みやすさ	H28 86.9%⇒R2 85.9% (住みよい+まあ住みよい)	88%	村民アンケート調査

②観光の観点からの満足度 (村および村民の活気)

指標	基準値 2021	目標値	手法等
村および村民 の活気	63.5% (満足+まあ満足)	70% (満足+まあ満足)	村民アンケート調査

③村民の推薦度

指標	基準値 2021	目標値	手法等
村民の推薦度 NPS	-14.6pt (推奨者-批判者の割合:16.0-30.6)	0pt (推奨者-批判者の割合)	村民アンケート調査

観光客

観光客の評価・満足に関すること

④満足度（来客者、宿泊者）※**宜野座村での快適さ**

指標	-	目標値	手法等
満足度	-% (今後設定)	70% (満足+まあ満足)	観光客アンケート調査

⑤地元の人々の雰囲気に対する評価

指標	基準値 2021	目標値	手法等
地元の人々の の雰囲気	57.0% (良い・感動した)	70% (良い・感動した)	観光客アンケート調査

⑥観光客の推薦度

指標	基準値 2021	目標値	手法等
観光客の推薦度 NPS	24.9pt (推奨者-批判者の割合:16.0-30.6)	30pt (推奨者-批判者の割合)	観光客アンケート調査

経済効果

観光振興のための取り組みを行うことによる経済効果

⑦事業者の経済効果の実感

指標	-	目標値	手法等
村内事業者の 経済効果実感度	-	40% (とてもそう思う+そう思う)	事業者アンケート調査

⑧入込者数

指標	基準値 2021	目標値	手法等
入込者数	890,262 人	1,000,000 人	統計調査（各施設）

⑨一人あたり観光消費額

指標	-	目標値	手法等
一人あたり観光 消費額（日帰り）	—	2,000 円 (観光消費額 12 億円)	観光客アンケート調査
一人あたり観光 消費額（宿泊者）	—	30,000 円	観光客アンケート調査

環境配慮・保全

環境保全および管理状況

⑩村民一人あたりの1日のごみ排出量

指標	基準値 2021	目標値	手法等
村民一人あたりの 1日のごみ排出量	921g	845g	「金武地区消防衛生 組合」より

⑪海域における赤土堆積量（赤流出度）SPSS（海域底質中の懸濁物質含有量） ランク

指標	基準値 H31 年度 SPSS 年間最大値(kg/m ³)	目標値	手法等
環境保全目標類型 【サンゴ場】	サンゴ場 C SPSS (301.3 kg/m ³)	サンゴ場 A	県環境部環境保全課 赤土等堆積状況調査

※県が定める「宜野座南東海域 漢那中港川河口」の目標値

※H30 年度:SPSS⇒30.1 kg/m³、H29 年度:SPSS⇒50.3 kg/m³、H28 年度:SPSS⇒141.1kg/m³

【参考】平成 31 年度(2019 年度) 赤土等流出防止 海域モニタリング調査より
沖縄県赤土等流出防止対策基本計画 環境保全目標類型（サンゴ場）表

表 4.2-9 環境保全目標類型【サンゴ場】(基本計画より抜粋)

類型	堆積指標	海域の概観	主に見られる生物
	SPSS(kg/m ³)		
サンゴ場AA	1~10未満 (ランク3~4)	底質は、砂をかき混ぜると懸濁物質の舞い上がりが確認できる程度。生き生きとしたサンゴ礁生態系が見られ、樹枝状のミドリイシ属やコモンサンゴ属の群落等がサンゴ場内に発達し、大規模群落を形成することもある。サンゴ群落内の岩盤には清浄域を好むヒメジャコ、サボテングサ等が局所的に生息し、群落横の砂地にはサツマビナ等の貝類が埋在する。また、周辺ではサンゴ類を利用するスズメダイ類やベラ類等の魚類が多く見られる他、色とりどりの魚類が遊泳する。	サンゴ類:ミドリイシ属(コビミドリイシ、サンカクミドリイシ等)、コモンサンゴ属(エダコモンサンゴ、ノリコモンサンゴ等) ベントス類:サツマビナ、スナギンチャク科、ホンナガウニ、ヒメジャコ、ツマジロナガウニ 海藻類:サボテングサ、ハイオオギ、ピロウドガラガラ属、アミジグサ属 魚類:スズメダイ科の内、デバスズメダイ、アオバスズメダイ、ミツボシクロスズメダイ、ロクセンズズメダイ等 サンゴ上に生息する種群、ノドゴロベラ、アカオビベラ、スジベラ、トカラベラ、カノコベラ
サンゴ場A	10~30未満 (ランク5a)	底質は注意して見ると懸濁物質の存在がわかる。生き生きとしたサンゴ礁生態系が見られ、サンゴ類を中心とした良好な生態系が維持されている。樹枝状サンゴから塊状サンゴまで多様なサンゴ類が生息し、周辺には清浄域を好むベントス類・海藻類、およびサンゴ類を利用するスズメダイ類を中心とした魚類が遊泳する。	
サンゴ場B	30~50未満 (ランク5b)	底質の表面にホコリ状の懸濁物質がかぶさる。透明度が悪くなり、サンゴ被度に影響が開始する。また、樹枝状サンゴの出現割合が減少し、塊状サンゴの出現割合が増加し始める。サンゴ類を利用する魚類が減少し始め、カザリハゼ等の砂、砂泥に住む魚類の出現が増加し始める。	
サンゴ場C	50以上 (ランク6~8)	一見して赤土等の堆積がわかる。底質攪拌で赤土等が色濃く懸濁。明らかに人為的な赤土等の流出による汚染があると判断。樹枝状サンゴ類の群落はほとんど見られず、塊状のサンゴが大半を占める。岩盤上にはキクメイシモドキ、ニフトリガキ、ヒメテングサ等、砂泥上にはカニノテムシロ等が出現し、泥底にはタカノハハゼ等の泥質依存のハゼ類が出現する。	サンゴ類:キクメイシモドキ※ ベントス類:ニフトリガキ、カニノテムシロ、ケヤリムシ科、ウニシヤコ科 海藻類:ヒメテングサ、コノハノリ科、アオノリ属、アオサ属 魚類:ハナナガモチノウオ、カザリハゼ、ホシハゼ、タカノハハゼ、シノビハゼ属

注)表中の数字は年間の最大値である。

※ キクメイシモドキは、主にSPSSランク7、8に出現する。

表 4.2-13 環境保全目標の達成状況(1/2)

海域番号	海域名	H23年度モナール種取海域	類型算出方法	環境保全目標(堆積指標)による評価																		
				H21-23年度類型	H24年度類型 SPSS値(kg/m ³)	H25年度類型 SPSS値(kg/m ³)	H26年度類型 SPSS値(kg/m ³)	H27年度類型 SPSS値(kg/m ³)	H28年度類型 SPSS値(kg/m ³)	H29年度類型 SPSS値(kg/m ³)	H30年度類型 SPSS値(kg/m ³)	H31年度類型 SPSS値(kg/m ³)	目標類型	H31年度評価								
043	漢那中港川河口	○	代表評価地点の年間最大値	サンゴ場C	129.6	サンゴ場C	68.0	サンゴ場C	96.9	サンゴ場C	84.3	サンゴ場C	141.1	サンゴ場C	50.3	サンゴ場C	30.1	サンゴ場B	301.3	サンゴ場C	サンゴ場A	△

資料編

1. 宜野座村の観光の歴史

平成 26 年度に、観光産業推進を担当する担当課である「観光商工課」が新設されました。同年度に、道の駅「ぎのざ」が登録され、この年度が契機となり、「宜野座村観光振興計画（平成 27 年度）」には策定するなど、観光の取組を再起動してきました。同年度に「宜野座村観光推進協議会」が「一般社団法人宜野座村観光協会」となり、観光商工課と連携した観光産業振興のためのプログラムを実施してきました。

年度		事項
昭和 21 年	1946 年	宜野座村 ※旧金武村から分村
昭和 62 年	1987 年	観光振興基本計画策定
平成 20 年	2008 年	宜野座村観光推進協議会設立 ※平成 22 年から本格的に指導
平成 26 年	2014 年	観光商工課 設置（それまでの観光振興は産業振興課が所管）
平成 26 年	2014 年	道の駅「ぎのざ」登録 ※10 月
平成 27 年	2015 年	一般社団法人宜野座村観光協会へ
平成 27 年	2015 年	県内ではじめて重点道の駅として認定
平成 27 年	2015 年	観光振興計画改定（前計画）
平成 30 年	2018 年	観光拠点施設完成 道の駅ぎのざ リニューアルオープン



特産品加工直売センター「未来ぎのざ」が
道の駅ぎのざ登録
※直売所、飲食店のみでスタート



宜野座村観光拠点施設完成
道の駅ぎのざリニューアルオープン

2. 宜野座村観光協会のこれまでの取り組み

①プロモーション

年度	項目	備考
平成 26 年	甲子園プロモーション ※Trip to Ginoza～宜野座への旅～	継続中 令和元年より名称を変更し開催
	沖縄リゾート EXPO in TOKYO	平成 27 年まで 2 回出展
	ツーリズム EXPO ジャパン ・日本観光ポスターコンクール総務大臣賞	平成 29 年まで 4 回出展
	阪神タイガース春季キャンプ観光案内所	継続中
平成 27 年	やんばる広域プロモーション（東京）	
	全国バーガーフェスタ観光 PR・物産販売（鳥取）	平成 28 年まで 2 回開催
平成 28 年	内子フレッシュパークからり観光 PR	平成 29 年まで 2 回開催
	サイクルモードインターナショナル 2016（千葉）	
	月刊タイガース 2 月号での掲載	継続中
平成 29 年	沖縄やんばる観光プロモーション（神戸）	継続中
	宜野座フェア ぎのぞ観光と物産フェア（沖縄）	令和元年より名称を変更し開催 継続中
平成 30 年	ありのまんまぎのぞラジオ	継続中
	地域振興・機体活用プロジェクト 「Rio Park Ginoza」号就航	ソラシドエア連携
令和元年	ソラシドエア包括協定締結	継続中
	航空機ピーチ機内誌掲載	
	県内広告掲載（ほーむぶらざ、レキオ）	継続中
	阪神百貨店プロモーション	
	グリーンスカイフェスタ（東京）	継続中
	環金武湾特産品・観光 PR 促進（栃木）	継続中



26 年度沖縄リゾート EXPO in TOKYO



27 年度全国バーガーフェスタ観光 PR・物産販売（鳥取）



30 年度地域振興・機体活用プロジェクト
「Rio Park Ginoza」号就航

②商談会・セールス

年度	項目	備考
平成 26 年	沖縄修学旅行フェアへの参加 (仙台、東京、埼玉、神奈川、茨城、栃木、愛知、岐阜、大阪、広島) 旅行社ハセールス (1 社)	継続中
平成 27 年	旅行社ハセールス (14 社)	
平成 28 年	旅行社ハセールス (3 社)	
平成 29 年	旅行社ハセールス (1 社)	
平成 30 年	スポーツ合宿誘致プロモーション (大阪、東北、東京、千葉) 旅行社ハセールス (29 社)	継続中
令和元年	日本カヌー連盟・オリンピックパラリンピック組織委員会 スポーツ合宿招聘ツアー	継続中



26 年度沖縄修学旅行フェア参加
(仙台、東京、埼玉、神奈川、茨城、栃木、愛知、岐阜、大阪、広島)



30 年度スポーツ合宿誘致
プロモーション(関東)



30 年度日本カヌー連盟・オリンピック
パラリンピック組織委員会

③イベント

年度	項目	備考
平成 22 年	Ginoza★らいふスタイル開催 ぎのざマルシェ	平成 26 年より名称を変更し開催 継続中
平成 25 年	ぎのざバーガーフェスタ	平成 26 年より名称を変更し開催
	沖縄バーガーフェスタ in ぎのざ	平成 28 年まで 4 回開催
	ぎのざ満喫体験まつり	平成 29 年まで 5 回開催
平成 28 年	道の駅「ぎのざ」フェスティバル	平成 30 年より名称を変更し開催
	フラワーフェスティバル	
	阪神タイガースキャンプフラワーガーデン 宜野座村フラワーガーデン	平成 29 年より名称を変更し開催 継続中
平成 28 年	サマーフェスティバル	平成 29 年まで 2 回開催
平成 29 年	リバーサイドフェスタ GINOZA ぎのざワンドラ Friday 2018	平成 30 年より名称を変更し開催 継続中
平成 30 年	月刊タイガースカバーフォトコレクション	継続中



22 年度 Ginoza★らいふスタイル開催



25 年度ぎのざ満喫体験まつり



30 年度月刊タイガースカバー
フォトコレクション

④観光媒体・販促物作成

年度	項目	備考
平成 22 年	ぎのぞ体験パンフレット作成	現在は、道の駅「ぎのぞ」HPとして運用
	観光協会 Web サイト立上げ	
	宜野座村観光ポスター作成	
平成 24 年	沖縄モルレル中吊りポスター作成	継続中
	宜野座ナビ助作成	
平成 25 年	観光ノベルティグッズ作成	継続中
	ぎのぞ散策マップ作成	
	観光雑誌じゃらん掲載	
平成 26 年	観光ブース装飾物作成	これまで Vol.4 号発行
	宜野座村修学旅行パンフレット作成	
	観光雑誌たびカタログ掲載	
	キラリ☆ぎの座発行	
平成 27 年	スイーツマップ作成	これまで Vol.4 発行
	宜野座手帖作成	
平成 28 年	一般向け体験パンフレット作成	
	ぎのぞま～さむんガイド作成	
平成 29 年	宜野座観光おもてなしブック作成	
平成 30 年	道の駅「ぎのぞ」作成	これまで Vol.6
令和元年	宜野座村観光パンフレット作成	



25年度ぎのぞ散策マップ作成



26年度宜野座村修学旅行
パンフレット作成



27年度宜野座手帖作成

⑤商品造成

年度	項目	備考
平成 23 年	宜野座バーガーの企画立案	
	ツアー企画立案・実施 (集落散策、朝日ツアー、ナイトツアー)	
平成 24 年	阪神タイガースキャンプご当地グッズ開発	継続中
平成 25 年	ぎのぞ村デジタルフォトコンテスト (観光カレンダー作成)	平成 29 年まで 5 回開催
平成 26 年	キャンプ地宜野座を巡る満喫ツアー	実証実験
令和元年	ぎのチャリ (レンタル)	令和 2 年まで 2 回開催／実証実験
令和 2 年	県内高校生タイアップフォトコンテスト (観光カレンダー作成、県内雑誌掲載)	
	SDG's Ginoza Quest	
	テーマ別探求型プログラム	
	海の運動会 in Ginoza	



25年度ぎのぞ村デジタルフォトコンテスト
(観光カレンダー作成)



令和 2 年度県内高校生タイアップ
フォトコンテスト



令和 2 年度 SDG's Ginoza Quest

⑥人材育成

年度	項目	備考
平成 22 年	会員向け人材育成講座「地域に誇りをもてる観光地づくり」	講師：宮城良勝
	会員向け人材育成講座「地域活性に求められる人材」	講師：柳瀬正大 (JTB 沖縄)
平成 23 年	会員向け人材育成講座「民泊事業をととしての村おこし」	講師：山城克己
	観光ガイド育成講座	職員育成
平成 26 年	民泊体験及び街歩きを学ぶ (長崎県)	職員 2 名派遣
	とっとりバーガーフェスタ視察 (鳥取県)	職員 2 名派遣
平成 27 年	地域ガイド育成講座	平成 29 年までの 3 回開催
	スポーツ合宿受入強化に向けた視察 (宮崎県)	
平成 28 年	まいまい京都街歩きを学ぶ (京都府)	職員 4 名派遣
	民泊研修 (大分県)	職員 2 名派遣
平成 29 年	道の駅視察研修 (千葉、栃木、群馬)	職員 3 名派遣
	広域連携 (DMO) について学ぶ (山梨、群馬、栃木、新潟)	職員 3 名派遣
平成 30 年	村民向け人材育成講座「ラジオを通して沖縄の情報を学ぶ」	講師：狩俣倫太郎
	村民向け人材育成講座「食と写真を通して地域活性化を学ぶ」	講師：柄木孝志
平成 30 年	24 時間プログラム研修 (三重)	職員 3 名派遣
令和元年	村民向け人材育成講座「ラジオを通して沖縄の情報を学ぶ」	講師：玉城美香
	村民向け人材育成講座「わざわざ行きたくなる、買いたくなる仕掛けの秘訣大公開」	講師：金山宏樹



26 年度民泊体験及び街歩きを学ぶ
(長崎県)



24 時間プログラム研修 (三重)



令和元年村民向け人材育成講座

⑦受入

年度	項目	備考
平成 22 年	全九州高等学校体育大会カヌー競技宿泊受入	継続中
	金武町・宜野座村感動民泊体験受入	
平成 23 年	カヌー合宿受入 (福島、秋田、岩手、宮城、山形、石川、千葉、東京、福井)	継続中
平成 24 年	野球合宿受入 (北海道、愛知、大阪、奈良、茨城)	
平成 26 年	沖縄柔道クラブ	
平成 27 年	韓国カヌーチーム受入	
	自転車プロチーム受入 (栃木)	
平成 29 年	サッカー合宿受入 (沖縄)	平成 30 年まで 2 回



22 年度全九州高等学校体育大会
カヌー競技宿泊受入



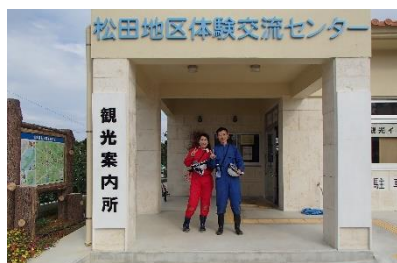
26 年度沖縄柔道クラブ



29 年度サッカー合宿受入 (沖縄)

⑧管理運営

年度	項目	備考
平成 25 年	松田地区体験交流センター管理運営	平成 28 年度迄の 4 年間
平成 29 年	漢那ビーチ管理運営	平成 30 年度迄の 2 年間
平成 30 年	観光拠点施設指定管理者	継続中
令和元年	阪神タイガース POP UP SHOP 運営	継続中
令和 2 年	ぎのぞのお菓子屋 SUN 運営	継続中



25 年度松田地区体験交流センター
管理運営



29 年度漢那ビーチ管理運営



30 年度観光拠点施設指定管理者

3. 宜野座村観光振興委員会の概要

本観光振興計画策定に当たっては、『観光振興委員会』にて骨子、方向性、内容等、意見交換および、助言を頂き、作成しました。

第 1 回

日時 令和 3 年 2 月 2 日 (火) 14:00~16:00
場所 道の駅「ぎのざ」内観光拠点施設 2F 研修室



会次第

- 1.委嘱状交付式
- 2.村長あいさつ
- 3.開会の挨拶 委員長 宜野座村副村長 山城 智
- 4.議事
 - ①宜野座村観光振興計画改正の概要説明
 - ・平成 28 年度から令和 2 年度までの振り返り
 - ・村内事業者との意見交換会の状況
 - ・次期観光振興計画のイメージについて
 - ②意見交換
- 議題 1.宜野座村が観光振興で目指す将来像について
- 5.閉会の挨拶 委員長 宜野座村副村長 山城 智

【資料】

- 資料 1 宜野座村観光戦略検討資料
- 資料 2 宜野座村観光振興計画骨子 (案)
- 別紙 1 宜野座村の観光戦略検討資料【参考資料】
- 別紙 2 沖縄観光の未来～新たな産業の形を創る～

第 2 回

日時 令和 3 年 3 月 26 日 (金) 15:00~17:00
場所 道の駅「ぎのざ」内観光拠点施設 2F 研修室



会次第

- 1.開会の挨拶 宜野座村副村長 山城 智
- 2.議事
 - ①本日の議題説明
 - ②意見交換
- 議題 1.宜野座村が目指す 5 年後の宜野座村観光の将来像
- 議題 2.宜野座村が 5 年後目指す目標 (項目・数値)
- 3.閉会の挨拶 委員長 宜野座村副村長 山城 智

【資料】

- 資料 1 宜野座村観光戦略検討資料

第3回

日時 令和3年2月24日(金) 14:00~16:00
場所 道の駅「ぎのぞ」内観光拠点施設 2F 研修室



会次第

- 1.委嘱状・辞令書交付式
- 2.村長あいさつ
- 3.開会の挨拶 委員長 宜野座村副村長 下里哲之
- 4.議事
・宜野座村観光振興計画(案)について
- 5.閉会の挨拶 委員長 宜野座村副村長 下里哲之

【資料】

資料1 宜野座村観光振興計画(案)

4. 地域ワーキングの概要

本観光振興計画策定に当たって、村民が考える「宜野座村が目指す5年後の宜野座村観光の将来像」をテーマに、いくつかの座談会を設け、意見交換を行いました。

第1回 宜野座村の観光事業に関わる県外出身者

開催日時	2021年2月23日(火) 11:00~13:10
場 所	道の駅「ぎのざ」内 観光拠点施設 2F 研修室
参加者	※参加者についてはP.74に記載



【トークテーマ・得られたキーワード】

1.あなたにとっての宜野座とは。※なぜ今、宜野座村に関わっているのか

- 居心地が良い。水・緑・太陽のキャッチフレーズに要約されている。
- 水、大地、食。自然な場所。
- 日が昇る。明るいイメージ
- 子どもについての行政の配慮。
- 農業を重視。行政と連携した面白いことができるのでは。

2.「5年後の宜野座村観光の将来像」

- 宜野座村では「ゆっくりとした時間を過ごしてもらおう」。宜野座村では携帯を持たずにゆっくり過ごすことを提案するなどいいのではないかと。
- ローカルな方々との交流。宿泊までいかない、民家で2時間茶菓子とお話などでも。
- 「キラリ☆ぎの座」の人バージョン
- 地域の良さや歴史、モノの本質を考えるような方に来てほしい。
- 宜野座村は地域のみみんなで継承していく仕組みが残っている。それはすごいこと。

第2回 松田区 観光関連等村民

開催日時	2021年3月11日(木) 17:00~21:00
場 所	松田区公民館 会議室
参加者	※参加者についてはP.74に記載



【トークテーマ・得られたキーワード】

1.松田区の取り組み【得られたキーワード】

- 地域起しとして観光に着手。地域の方が関わる動きになっている。
- 鍾乳洞、海、宿、マリンスポーツと観光に関わるリーダーが連携。
- 宜野座にあるホテルに宿泊されているお客さまが地域へ流れる動きが出てきている。ホテルと地域との交流がはじまっている。
- コロナ禍以前は、米国、韓国、中国からの観光客もあり。自然が好きなようで喜んでくれる。
- 高齢者にも声をかけて、観光に繋げている。地域の声を聞きながら、ムリのないような形で取り組んでいる。
- 自然を保ちながらできる範囲の方を受け入れていく。守りながら観光に繋げていく。
- 毎年来られていて、9回目というリピーターもいらっしゃる。
- これまでは毎年海外に行かれていたという方が、コロナ禍で沖縄に来てみたけど「沖縄もいいね！」という方が出てきている。

2.「5年後の宜野座村観光の将来像」【得られたキーワード】

- 今後、地域のコミュニティ維持のため、地域内の人材を活かした循環型のコミュニティづくりを行いたいという提案・意見もあり。
- 退職者の方や、短時間なら働きたい人材の活用等も検討していく。

第3回 漢那区 観光関連等村民

開催日時	2021年5月29日(木) 19:00~20:20
場 所	漢那多目的交流施設
参 加 者	※参加者については P.74 に記載



【トークテーマ・得られたキーワード】

1. 漢那区の取り組み【得られたキーワード】

- 宜野座村の中でも主要の観光地である「道の駅ぎのぞ」や「漢那ビーチ」、「カンナタラソ」などが所在する。
- 観光客誘致として区であまり議論してきておらず、観光客は通り過ぎて行っている印象がある。
- 道の駅を拠点に、来村の方が増えているが、その方々を地域に波及効果としてできていないと感じる。

2. 「5年後の宜野座村観光の将来像」※提案

- それぞれが単発で集客しているが、何か連携できないか。それぞれが繋がる仕組み。
- 例えば、「辛いもの」というテーマで辛い物を提供する店舗を増やし、連携するなど。また、互いに施設をつないで紹介するなどの仕組み。
- 「体験型」が求められていると思う。(カンナダムからロープウェイでつなぐ/アスレチック/魚釣り体験など)
- 郷土芸能や漁業広場、漢那ビーチなど、もっとアピールする。
- リピーターを増やすべき。
- 観光のおかげで宜野座村の店が儲かるなど。観光の結果が商業に

第4回 宜野座区

開催日時	2021年6月16日(木) 19:00~20:20
場 所	宜野座区公民館ホール
参 加 者	※参加者については P.74 に記載



【トークテーマ・得られたキーワード】

1. 宜野座区の取り組み【得られたキーワード】

- 日頃意識はしていなかったが、観光客にはぜひ来てほしい。
- いちご狩りの客は増加している。コロナ禍で外国客は減ったが県内客でも十分に来客者があり。大型バスの30~40名の方をそのあと受け入れられる飲食店がないことがもったいない。地域の他店舗につなげられたらと感じている。

2. 「5年後の宜野座村観光の将来像」【得られたキーワード】

以下、提案としてありました。

- パン屋 (いろんな店舗をコラボしたい：パン×宜野座○○唐揚げ、パン×宜野座野菜・・・)
- 地域の海×朝ヨガ
- 革細工での土産品開発
- 純黒糖。宜野座のフルーツ×ビール
- がらまんホールイベント×食
- イチゴ狩り×宜野座の飲食店フードの販売
- かくれたスポット、人の発掘
- それぞれの施設から次へつなげる仕組みの整備。看板の整備。周遊ルート確立。周遊するルートを案内するガイドの育成。

第5回 惣慶区

開催日時	2021年6月24日(木) 19:00~20:20
場 所	惣慶区公民館
参 加 者	※参加者については、P.75 に記載



【トークテーマ・得られたキーワード】

1.惣慶区の取り組み【得られたキーワード】

- 村外の方、外国人の方など、来られてはいる。多くはない。
- 仲間商店（馬刺しを始め、村外の方からも人気）
- クリームクリーム（子どもたちに人気。「キラリ☆ぎの座 グルメ」にも選ばれ、すでに店舗を目当てに来られる観光客がいる）
- アイシングクッキー（現在ネット販売のみ）宜野座村に足を運んでもらうイベントなど連携できる方々とできればと考えている。
- 地域の情報発信が足りない。必要。

2.「5年後の宜野座村観光の将来像」【得られたキーワード】

以下、提案としてありました。

- 植物から育ててアロマ液を抽出作成している。宜野座村は農作物が豊か。連携してハーブの里となる、収穫体験など協力して宜野座村を盛り上げたい。
- 農家のハーブ×アイシングクッキー
- クリームクリーム（牛乳×みらい宜野座コーヒー×……）
- 観光客が増えた場合の路上駐車については対策が必要
- 周遊バス、自動決済、
- ユーチューバー、インフルエンサーの活用による情報発信

第6回 城原区

開催日時	2021年7月8日(木) 19:00~20:00
場 所	城原区公民館
参 加 者	※参加者については P.75 に記載



【トークテーマ・得られたキーワード】

1.城原区の取り組み【得られたキーワード】

- 観光スポットがない。観光客が来ているイメージはない。
- 発信できる情報がほしい。
- 道の駅に来られるのも許田や恩納に比べ、地元客が多い。
- 来村した友人からは「なんて静か・・・」との評価
- 手つかずの自然

2.「5年後の宜野座村観光の将来像」【得られたキーワード】

以下、提案としてありました。

- 自然を守り有効活用する。
- 宜野座の文化、行事などをイベントにしすぎず、知ってもらう。年1回の納涼祭に人数限定などで。地域の方と観光客が仲良く溶け込むルールなどをつくりつつ。
- ジップライン（吊り橋）
- 自然を楽しめるもの・整備
- イチゴ狩り⇒キャンプ場：ビール
- 本物のパワースポット
- 自然を残しつつ、釣りのスポットに
- ドッグラン（動物に優しい地域づくり）意識の高い方が来られる。

第7回 福山区

開催日時	2021年7月29日(木) 19:00~20:00
場所	福山区公民館
参加者	※参加者についてはP.75に記載



【トークテーマ・得られたキーワード】

1.福山区の取り組み【得られたキーワード】

- 現在は、観光客は来ていない。観光客が来るようなものがない。
- 新しい公園ができて、地域以外の子どもたち、ファミリーの姿が来られるようになっている。
- 観光客は来てほしい。
- 近くにドームもあり、高速道路インターが近い。立ち寄ってほしい。

2.「5年後の宜野座村観光の将来像」【得られたキーワード】

以下、提案としてありました。

- あはれん牧場（乳搾り、牛乳+いちご）
- 公園の活用（飲食があれば来やすいと思う）
- 駐車場としての活用（球場、ドームが近く、イベントの際は駐車場の確保が難しいため、地域の空いている場所を活用してもらうなど）
- スポーツ合宿地
- 農家の朝市を開催するなど。名護のホテルなどは農家直送の朝市で購入するなどしている。
- 写真撮影スポットをつくる（「映える」スポットを発信・みせる）
- サバゲーの誘致

【参加者】

第1回 宜野座村の観光事業に関わる県外出身者

- ① 函師里佳（カンナタラソラグーナ 支配人）
- ② 石井雄一郎（Coffee & Break GINOZA Farm Lab 経営）
- ③ 山内文子（観光協会職員）

ファシリテーター 友利直子（観光商工課）

第2回 松田区 観光関連等村民

- ① 新里清次（B&B タンデム（宿泊施設）経営 / 観光協会会長）
- ② 森田智代（松田区鍾乳洞観光協会職員）
- ③ 島袋直人（松田区鍾乳洞観光協会職員）
- ④ 石川建太（ハピネスマリクラブ）
- ⑤ 島袋 慎（ハピネスマリクラブ）
- ⑥ 仲間 勉（松田区観光案内スタッフ）
- ⑦ 小渡克利（松田区観光案内スタッフ）
- ⑧ 武富 功（松田区観光案内スタッフ）

ファシリテーター

観光商工課 島袋光樹（参事）
友利直子（観光商工アドバイザー）

第3回 漢那区

- ① 宜野座達哉（村農業後継者等育成センター所長）
- ② 岸本幹雄（MIX（カットハウス経営）
- ③ 桜沢和也（パーラーカズ（そば屋）経営）
- ④ 宜野座盛克（映像工房 MORI 経営）
- ⑤ 当間正吉（社会福祉協議会デサービス職員）
- ⑥ 比嘉あい（カンナタラソラグーナ勤務）
- ⑦ 島袋弘美（カンナタラソラグーナ勤務）
- ⑧ 國吉政作（漢那共同売店経営）
- ⑨ 伊差川健作（漢那共同売店経営）
- ⑩ 石川秀友（村観光協会職員）

ファシリテーター

観光商工課 金武哲也（課長）
仲間 出（参事）
友利直子（観光商工アドバイザー）

第4回 宜野座区

- ①山城清貴 (RIKARA (パン屋))
- ②山城奈美 (RIKARA (パン屋経営))
- ③諸見里めぐみ (ヨガ教室代表)
- ④志良堂 治 (いちご生産部会長)
- ⑤仲間赴人 (宜野座村観光協会事務局長)
- ⑥亀山祐司 (手作り革製品店経営)
- ⑦仲間勇太 (ポンチョデザイン GON 経営)
- ⑧仲地 靖 (ヘリオス酒造勤務)
- ⑨山城 智 (前副村長) ※事前回答参加

ファシリテーター

観光商工課 金武哲也 (課長)
仲間 出 (参事)
友利直子 (観光商工アドバイザー)

第5回 惣慶区

- ①仲間哲也 (仲間商店経営)
- ②新里 樹 (Zucchero (アイシングクッキー店経))
- ③園田優子 (香りと場研究所 (アロマオイル製造販売) 代表)
- ④幸喜達也 (観光協会職員)
- ⑤仲田哲善 (株式会社スタイル経営 (そば店等))
- ⑥仲栄真大輔 (スポーツショップギノザ経営)
- ⑦田里一寿 (村教育課)
- ⑧新里浩司 (観光協会アドバイザー)
- ⑨高江洲義成 (Cream Cream (アイスクリーム店) 経営)
- ⑩仲間 篤 (いちご農家観)
- ⑪島袋拓也 (創作エイサーLUCK)
- ⑫浜比嘉 圭 (観光協会職員)

ファシリテーター

観光商工課 金武哲也 (課長)
仲間 出 (参事)
友利直子 (観光商工アドバイザー)

第6回 城原区

- ①新垣正松 (村販売戦略マネージャー:未来ぎのぞ)
- ②山内梨音 (地域若者)
- ③新川秀人 (地域有識者)
- ④狩俣和昭 (ホテルサンセットヒル 調理師)
- ⑤伊覇哲治 (いちご農家)
- ⑥仲村優一郎 (地域有識者:前観光協会職員)
- ⑦伊覇浩二 (伊覇電工)

ファシリテーター

観光商工課 金武哲也 (課長)
仲間 出 (参事)
友利直子 (観光商工アドバイザー)

第7回 福山区

- ①上原孝芳 (ザ・ブセナテラスホテル コック長)
- ②比嘉仁志 (OKINAWA DIVING SUN'S (マリンスポーツ店) 勤務)
- ③松田 健 (刺繍店 Rich 経営)
- ④漢那憲李 (村役場企画課職員)

ファシリテーター

観光商工課 金武哲也 (課長)
仲間 出 (参事)
友利直子 (観光商工アドバイザー)

5. 来村者アンケート調査結果 自由意見・要望等

P.21 掲載の『来村者へのアンケート調査』において、「宜野座村に記載すること、あったらいいなと思うこと。これがあると来たいな！と思うこと。その他、自由意見」の項目で頂いた回答を以下に掲載します。

【県外客】

・ビーチの海藻がなかったらもっと良かったです。
・自然、のんびりした環境が何よりと思います。
・ネット通信環境が整っていると助かります。
・タクシーがない？少ないので増えると良いと思いました。
・村内の定期バスがあればいいかなど。カンナタラソなどに行きやすいかなー、飲んだ後、車は運転できないから(昼から飲みたくなる、自然豊かなところでステキですね)
・こやし？フン？においがひどい
・人との温かみのある交流。公私でも更に深めて行きたいです。
・良くある箱モノを作るよりも、自然を活かした場所づくりを期待
・お土産と訪れるものが無いので、加工品や農産物など開発が必要では
・ゴルフ場のボイラー室(乾燥室)
・スママセン...ゴルフしかしてないのでわかりません

【県内村外客】

・食べ物屋さん
・タラソスタッフがすごく親切で対応良い
・地元食材を使ったレストラン
・タラソの料金がもう少し安いともっと多く利用すると思う
・ラーメンが好きなのでラーメン屋さんがあると嬉しいです。
・馬刺しおいしい。
・観光施設を増やしてほしい。
・温泉があると満足度は上がるかも！
・村内をまわる観光バス？中城村とか沖縄市にあるやつがほしい
・料理がおいしかったです
・沖縄全体に言えることですが、水場・ウタキなど本来自然が豊かだった場所がものすごいスピードで崩壊が始まっています。このままだと土砂崩れ・洪水などの災害がどんどん加速していきます。どうすれば自然を守るのか大切なものは何かを今一度しっかり考えてほしいです。見えない土中の水脈の遮断をしてしまう。土木造作意識のなさが今の現状をつくってしまっています。知ることからはじめましょう。そうすれば、素晴らしい観光の名所になると思います。景観十年、風景百年、風土千年。
・スーパー、遊ぶところをもっとあった方がいい。
・展望台が有るといい。
・いちご狩りを経験してみたい！
・村内の国道の草(県にたよらず村で頑張してほしいです)
・今回は松田メーカーの環境改善をしている仲間たちと一緒に改善作業する目的できました。宜野座村はとても大好きですし、観光地としてのポテンシャルもとても高いと思いますが、農地からの赤土流出をはじめ、水源地や自然環境・伝統・文化・暮らし・生活があつての観光だと強く感じます(沖縄全体に言えること)表面的な観光整備も大切ですが、やはり『基』となるものが人の心を動かさずと思っています。自然環境を守るというよりも、今よりもっともっと良くしながら観光に力を入れて欲しいと願っています。応援しています！(土中環境という本、オススメですよ！)
・国道を走って通りすぎてしまうことが多いです。国道沿い以外の飲食店などマップがあるとそこを目的に遊びにこられると思います。
・タンデムのランチがおいしかった。国道沿いにのぼりがあつて場所がわかりやすかった。
・マルシェや手づくり市などのイベントがあれば楽しそうだと思います

<ul style="list-style-type: none"> ・治安もいいと思うので、夜、星空がきれいに見える所があればいいな一と思いました(子どもと来たいです)
<ul style="list-style-type: none"> ・観光名所などは横断幕などを使ってアピールしてもいいと思います。例)金武町「ようこそタコライスの町へ」東村「パイナップル日本一の村へようこそ」
<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅周辺にカフェ・飲食店を作る
<ul style="list-style-type: none"> ・ローソン・ファミマが増えたらいいな
<ul style="list-style-type: none"> ・おもしろい体験活動があれば嬉しいです
<ul style="list-style-type: none"> ・ファミマがあつたらいい ・信号が短い距離で多すぎる、減らしてほしい ・329号線で寄り道ができるようなカフェ?などあつたらいいな...
<ul style="list-style-type: none"> ・野菜が新鮮じゃないものもある ・遊具周りに保護者用のベンチを増やしてほしい
<ul style="list-style-type: none"> ・バスの便がもっと便利だといいです
<ul style="list-style-type: none"> ・今の施設を維持して頂きたいです。
<ul style="list-style-type: none"> ・朝日の展望台
<ul style="list-style-type: none"> ・こまないからよい
<ul style="list-style-type: none"> ・ウェルカムな雰囲気
<ul style="list-style-type: none"> ・トイレが綺麗で広くてとても使いやすい!許田の道の駅はとても不便です
<ul style="list-style-type: none"> ・祭り
<ul style="list-style-type: none"> ・県南部からの交通の便の改善
<ul style="list-style-type: none"> ・自然をそのまま残して欲しい
<ul style="list-style-type: none"> ・県民割引、誕生日割引、リピート割引
<ul style="list-style-type: none"> ・アナウンスもよく現状がとてもよいので今のクオリティを維持してほしい。県外の友人にも宜野座を勧めている
<ul style="list-style-type: none"> ・鳥がたくさんいるので、自然を見られる施設があるといいな一と思いました。

6. 国内・県内における観光の状況

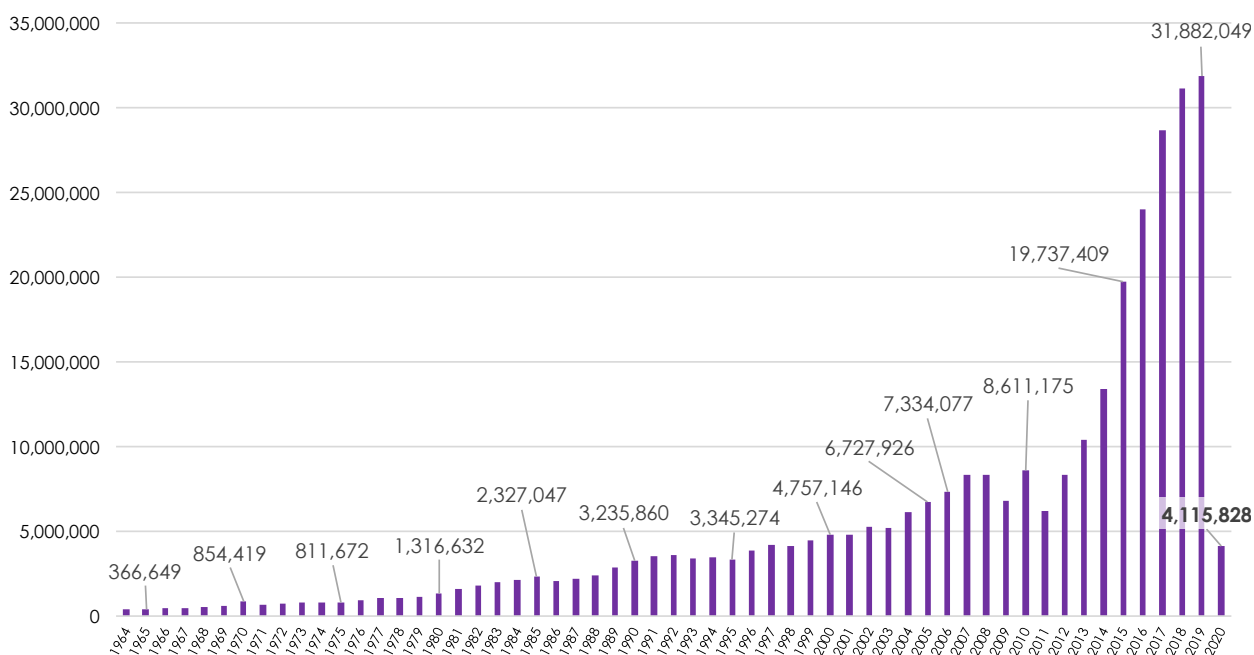
(1) 国内の動き

日本国は2003年、訪日外国人観光客の誘致を目的として、「ビジットジャパンキャンペーン」事業を実施。長年、「出国日本人数」よりも「訪日外国客数」が大幅に上回っているという課題が、2014年以降は「訪日外客人」が「出国日本人数」を上回り、それ以降、「訪日外客人」は年々増加傾向にありました。2019年の訪日外客数は31,882,049人（前年同月比2.2%増）と、オリンピックを目前にさらなる増加が想定されました。

特に「中国」からの入客数の増加率は高く、2019年の「中国」からの入客数は9,594,394人で、2014年から2019年にかけて298.2%増と、大幅な増加が続いていました。

しかし、COVID-19（新型コロナウイルス感染症）の拡大による世界的な移動規制等旅行需要が停滞により、2020年の訪日外客数は4,115,828人と、大幅な減少となり、2021年の現時点においても、新型コロナウイルスの鎮圧はまだ見られず、今後の旅行の動向について不安な状況は未だに続いています。これまでにない、観光の視点と取り組み、戦略が求められています。

訪日外客数の推移



※出典：日本政府観光局（JNTO）より宜野座村観光商工課作成

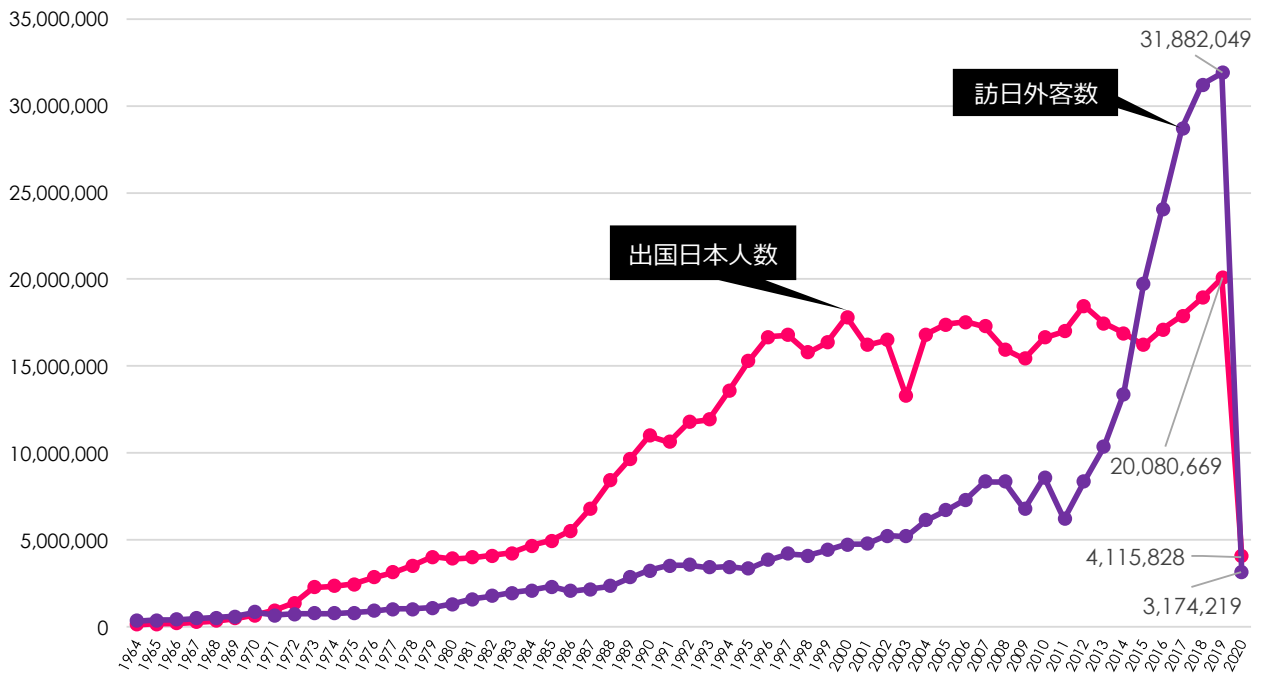
注1.（訪日外客数）法務省資料に基づき、外国人正規入国者のうちから日本に永続的に居住する外国人を除き、さらに一時上陸客等を加えて集計。

2.（出国日本人数）法務省出入国管理統計 出入（帰）国者数より。

3. 値はすべて確定値である。

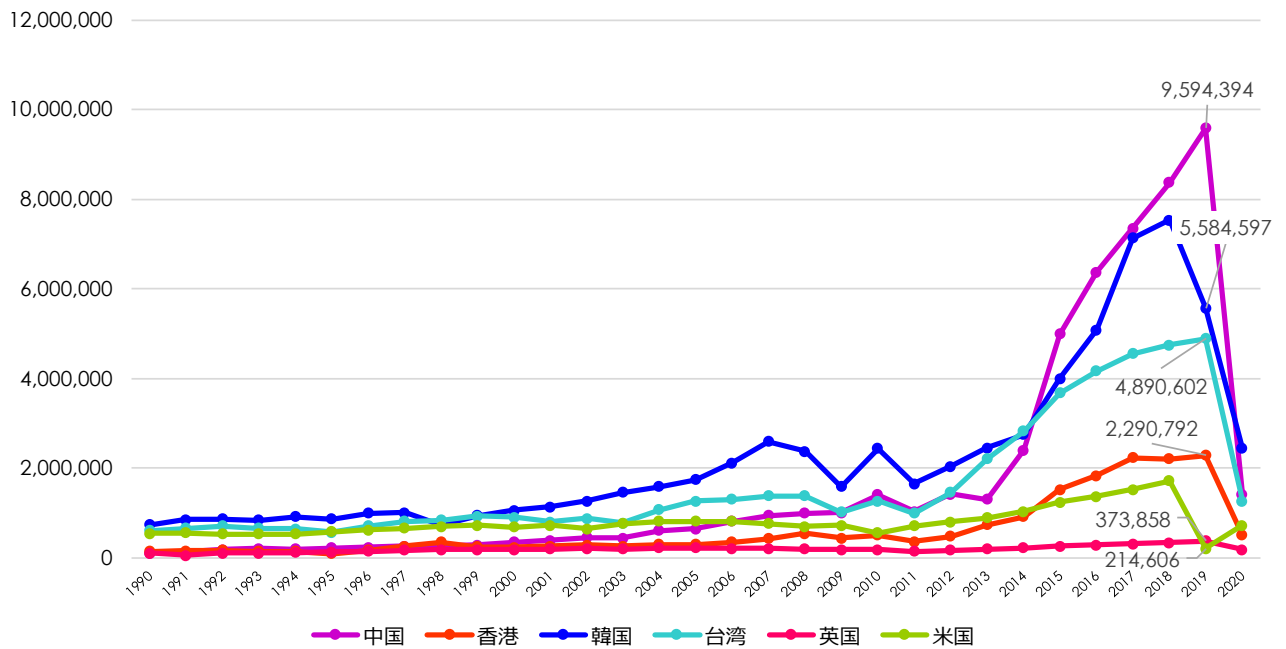
出典：日本政府観光局（JNTO）

出国日本人数および訪日外客数の推移



※出典：日本政府観光局（JNTO）より宜野座村観光商工課作成

国・地域ごとの訪日外客数の推移の推移



※出典：日本政府観光局（JNTO）データより宜野座村観光商工課作成

注 1. (訪日外客数) 法務省資料に基づき、外国人正規入国者のうちから日本に永続的に居住する外国人を除き、さらに一時上陸客等を加えて集計。
 2. (出国日本人数) 法務省出入国管理統計 出入(帰)国者数より。
 3. 値はすべて確定値である。
 出典：日本政府観光局（JNTO）

(2) 沖縄県全体の動き

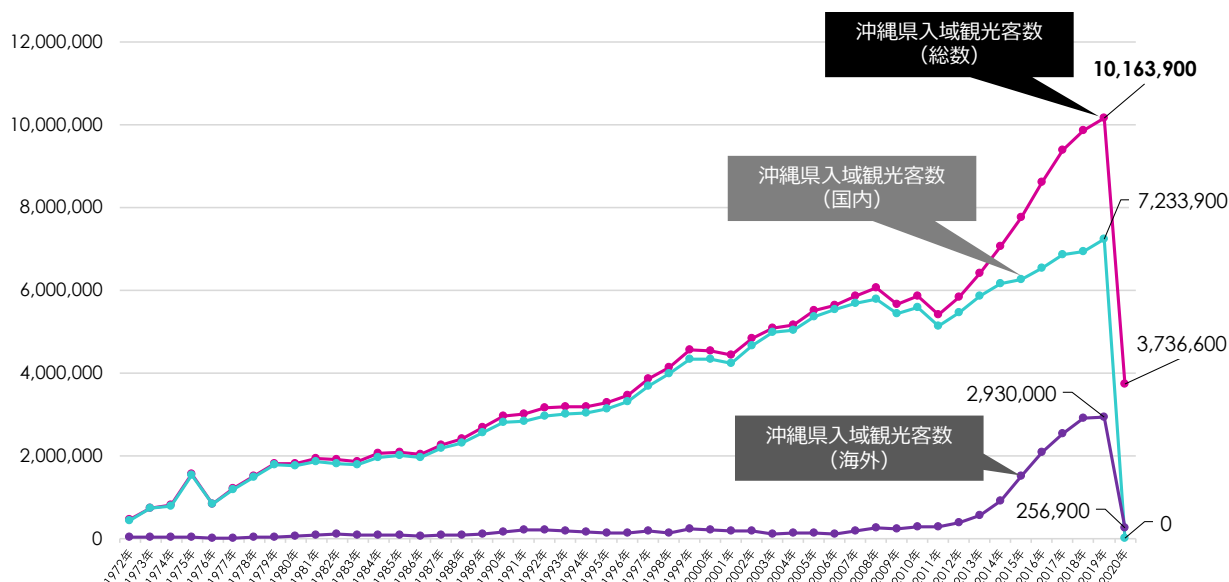
沖縄県における観光客は年々増加傾向にあり、特に2012年（平成24年）から、大きな倍率で増加傾向が続き、2019年（令和元年）には、10,163,900人と、7年連続で過去最高を更新しました。

しかし、2020年（令和2年）には、COVID-19（新型コロナウイルス感染症）の拡大により、入域観光客数は373万6,600人と、前年比△63.2%の大幅減となりました。暦年の観光客数としては、東日本大震災の影響を受けた平成23年以来9年ぶりに対前年比で減少に転じました。

沖縄県文化観光スポーツ部観光政策課は、「令和3年の見通しとして、国内客については、新型コロナウイルス感染症の感染状況やGo Toトラベル事業の実施状況によること、また、外国客については、春頃までは観光目的での海外から日本への入国制限措置が講じられる見込であることから、少なくとも年当初においては厳しい状況が予想される」としています。

沖縄県の観光入域数はまだまだ厳しく、沖縄観光はこれまでにない厳しい状況におかれています。アフターコロナを見越した新たな転換や仕組みづくりが、政府また業界、企業で進められているところです。宜野座村も同様にこの機会を新たな展開への備え、体制整備の時期として、積極的に取り組みを進めていきます。

入域観光客数の推移（総数）



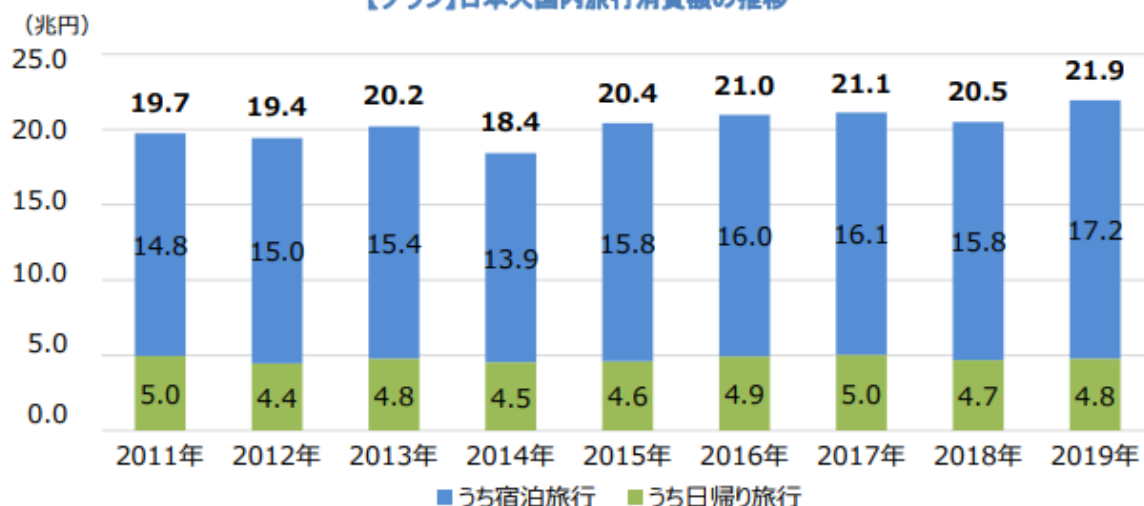
※出典 文化観光スポーツ部 観光政策課データより宜野座村観光商工課作成

旅行・観光消費動向調査 2019年調査結果の概要

2019年 日本人国内旅行消費額 21兆9,312億円

- 2019年の日本人国内旅行消費額を推計すると、21兆9,312億円(前年比7.1%増)となった。
- うち宿泊旅行が17兆1,560億円(前年比8.6%増)、日帰り旅行が4兆7,752億円(前年比2.0%増)となった。

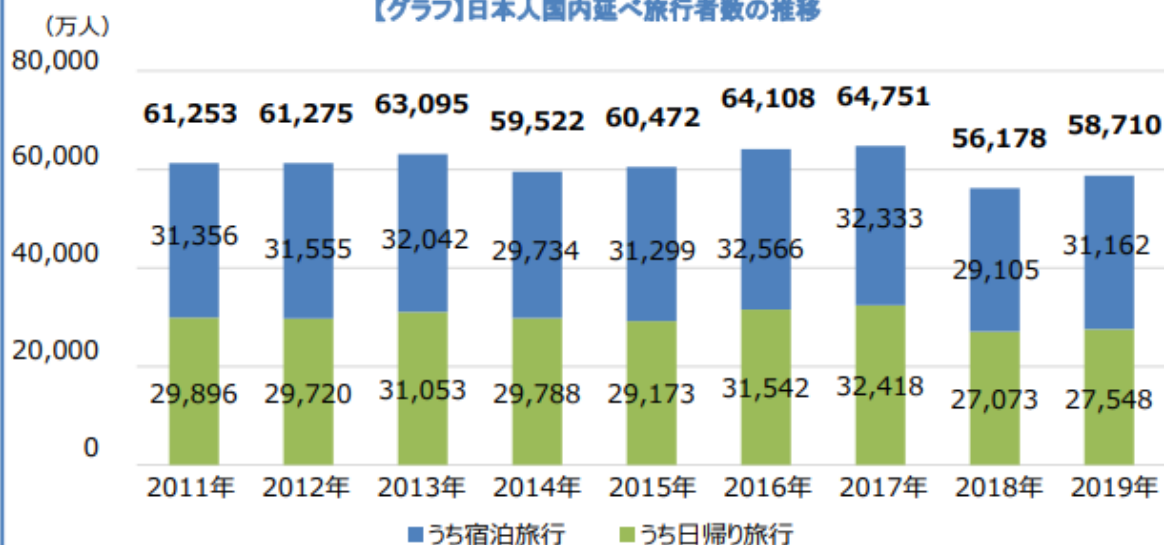
【グラフ】日本人国内旅行消費額の推移



2019年 日本人国内延べ旅行者数 5億8,710万人

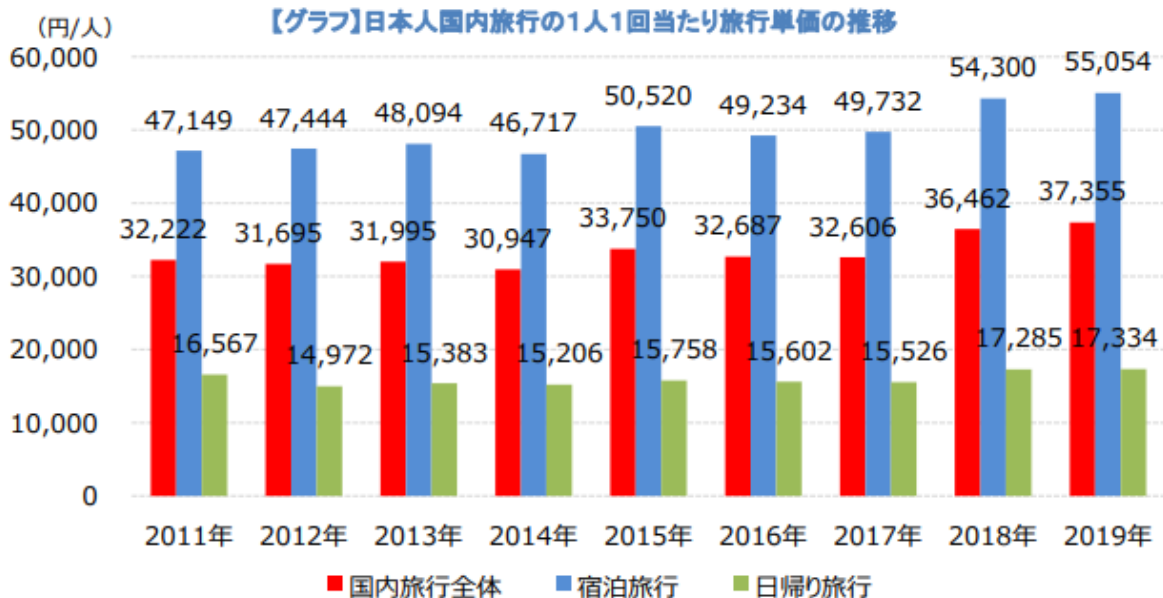
- 2019年の日本人国内延べ旅行者数を推計すると、5億8,710万人(前年比4.5%増)となった。
- うち宿泊旅行が3億1,162万人(前年7.1%増)、日帰り旅行が2億7,548万人(前年比1.8%増)となった。

【グラフ】日本人国内延べ旅行者数の推移



■ 2019年 日本人国内旅行の1人1回当たり旅行単価**37,355円**／人

- 2019年における日本人国内旅行の1人1回当たり旅行単価は平均37,355円(前年比2.4%増)となった。
- 宿泊の有無でみると、宿泊旅行が55,054円/人(前年比1.4%増)、日帰り旅行が17,334円/人(前年比0.3%増)となった。

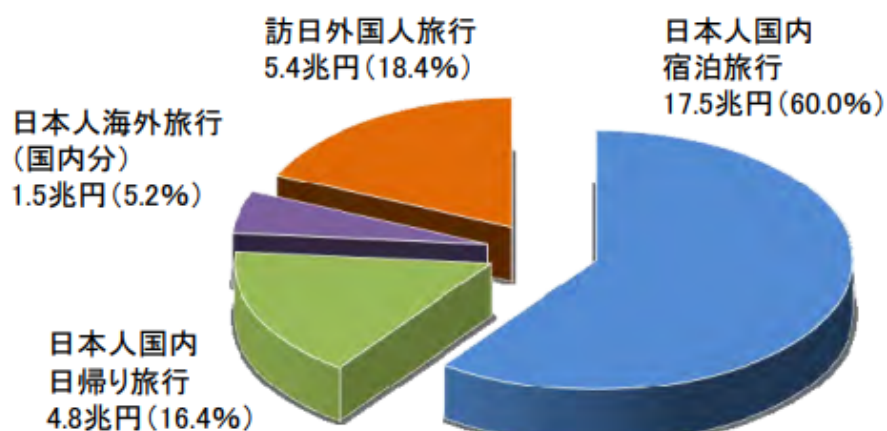


■ 2019年 日本国内における内部観光消費**29.2兆円**(国際基準)

- 2019年における日本人海外旅行(国内分)や訪日外国人旅行者による消費額を含めた日本国内での内部観光消費(国際基準)は29.2兆円と推計される。

【グラフ】日本国内における内部観光消費(国際基準)

29.2兆円



【参考資料】【年度】 令和元年度の観光収入について 沖縄県文化観光スポーツ部

※上記、国の報告を比較するため、同年 2019 年の数値での報告資料を掲載します。



令和 2 年 8 月 4 日 (火)
 沖縄県文化観光スポーツ部
 観光政策課

【年度】 令和元年度の観光収入について

◎【観光収入について】

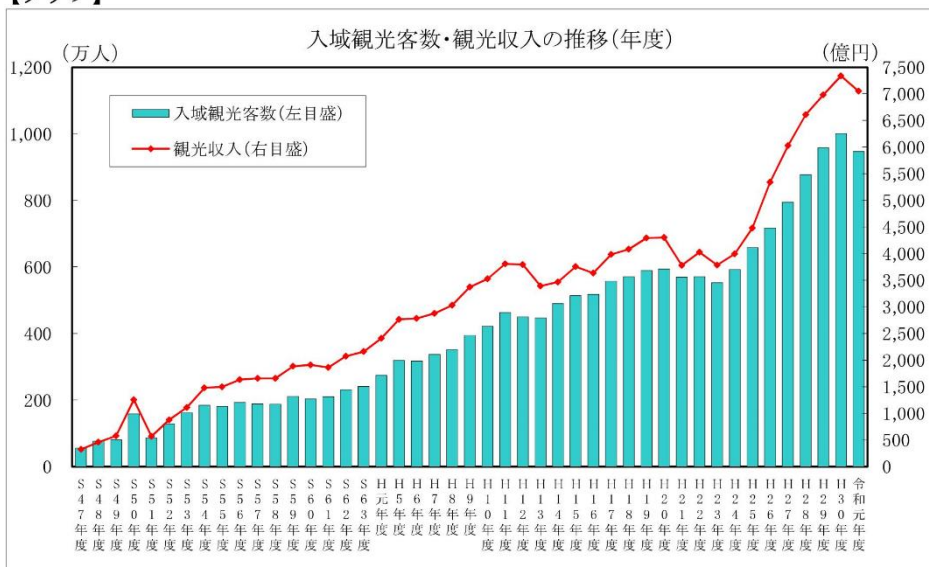
沖縄県における観光収入とは、アンケート調査により推計した観光客一人当たりの消費額×入域観光客数で算出される観光消費（支出）額全体のことを表しています。

○観光収入	7,047億4,500万円
	(前年度比 -4.0%、-293億1,100万円)
・国内客一人当たり消費額	76,987円
	(前年度比 +0.3%、+228円)
・外国客（空路）一人当たり消費額	102,528円
	(前年度比 +13.8%、+12,409円)
・外国客（海路）一人当たり消費額	19,886円
	(前年度比 -29.8%、-8,457円)
(全体) 観光客一人当たり県内消費額	74,425円
	(前年度比 +1.4%、+1,051円)
・入域観光客数	946万9,200人
	(前年度比 -5.3%、-53万5,100人)

■ 観光収入は、年度後半における新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響などに伴う入域観光客数の減少により、前年度と比較して4%減少した。
 観光収入が、前年度比でマイナスとなるのは、東日本大震災の影響を受けた平成23年度以来8年度ぶりとなる。

■ 一人当たり消費額については1.4%の増加となっている。内訳を見ると、国内客が0.3%の増加、外国人空路客が13.8%の増加、外国人海路客が29.8%の減少となっている。

【グラフ】



※観光収入は、平成17年までは暦年の数値、平成18年度以降から年度の数値となっている。

1. 平成30年度実績との比較

	観光収入 (百万円)	一人当たり消費額 (円)	入城観光客数 (人)
令和元年度	704,745	74,425	9,469,200
平成30年度	734,056	73,374	10,004,300
前年度差	▲29,311	1,051	▲535,100
前年度比 (%)	▲4.0%	1.4%	▲5.3%

【参考】国内客及び外国客（空路・海路）別一人当たりの観光消費額・観光収入内訳

	国内客 一人当たり 消費額 (円)	外国客 (空路) 一人当たり 消費額 (円)	外国客 (海路) 一人当たり 消費額 (円)	国内客 観光収入 (百万円)	外国客 (空路) 観光収入 (百万円)	外国客 (海路) 観光収入 (百万円)
令和元年度	76,987	102,528	19,886	537,277	146,328	21,143
平成30年度	76,759	90,119	28,343	537,582	162,548	33,929
前年度差	228	12,409	▲8,457	▲305	▲16,220	▲12,787
前年度比 (%)	0.3%	13.8%	▲29.8%	▲0.1%	▲10.0%	▲37.7%

※ 四捨五入のため総額が一致しない場合がある

【参考】入城観光客数の内訳

	国内客 (人)	外国客 (空路) (人)	外国客 (海路) (人)	国内客 構成割合 (%)	外国客 (空路) 構成割合 (%)	外国客 (海路) 構成割合 (%)
令和元年度	6,978,800	1,427,200	1,063,200	73.7%	15.1%	11.2%
平成30年度	7,003,500	1,803,700	1,197,100	70.0%	18.0%	12.0%
前年度差	▲24,700	▲376,500	▲133,900	3.7pt	▲3.0pt	▲0.7pt

2. 令和元年度観光客一人当たり費目別の県内消費額の内訳

	国内客 (円)	外国客 (空路) (円)	外国客 (海路) (円)	R元年度 全体 (A) (円)	H30年度 全体 (B) (円)	前年度差 (C)=(A)-(B) (円)	前年度比 (C) / (B) (%)
宿泊費	26,195	27,153	-	23,398	23,241	157	0.7%
県内交通費	9,960	10,907	2,503	9,265	9,841	▲576	▲5.8%
土産・買物費	14,283	37,206	13,965	17,702	16,056	1,646	10.3%
飲食費	17,723	19,856	2,962	16,387	16,129	258	1.6%
娯楽・入場費	7,440	7,392	444	6,647	7,178	▲531	▲7.4%
その他	1,388	14	12	1,026	929	97	10.5%
総額	76,987	102,528	19,886	74,425	73,374	1,051	1.4%

※ 四捨五入のため総額が一致しない場合がある

※ 「県内交通費」とは、交通費（バス・タクシー・モノレール・船舶・航空機・レンタカー等）

※ 「娯楽・入場費」とは、観光施設入場料、ダイビングやスパ・エステ等の体験料

※ 「その他」とは、宿泊費、県内交通費、土産・買物費、飲食費、娯楽・入場費に含まれないもの

3. 平均滞在日数

	平均滞在日数 (日)	国内客	外国客 (空路)	外国客 (海路)
令和元年度	3.70	3.77	5.35	1.00
平成30年度	3.59	3.73	4.77	1.00
前年度比 (日、ポイント)	0.10	0.04	0.58	0.00

【参考】観光入込客統計に関する共通基準 観光庁

<平成 21 年 12 月策定、平成 25 年 3 月改定>

<https://www.mlit.go.jp/kankocho/siryou/toukei/irikomi.html>

2. 総則

2-1 用語の定義

(1) 観光

本基準では余暇、ビジネス、その他の目的のため、日常生活圏を離れ、継続して 1 年を超えない期間の旅行をし、また滞在する人々の諸活動とします。

(2) 観光地点

観光・ビジネスの目的を問わず、観光客を集客する力のある施設又はツーリズム等の観光活動の拠点となる地点を意味し、日常的な利用、通過型の利用がほとんどを占めると考えられる地点は対象としないこととします。

本基準では、3.3-2 (2) において定める要件の全てを満たすものを集計の対象とします。

(3) 行祭事・イベント

行祭事とは、地域住民の生活において伝統と慣行により継承されてきた、恒例として日を定め執り行う歴史的催し・祭り、郷土芸能等の集合を意味し、イベントとは、常設又は特設の会場施設において行われる博覧会、見本市、コンベンション等を意味します。

(4) 観光入込客

日常生活圏以外の場所へ旅行し、そこでの滞在が報酬を得ることを目的としない者とします。本基準では、観光地点及び行祭事・イベントを訪れた者を観光入込客とします。

(5) 訪日外国人客

本基準では、観光入込客のうち、日本以外の国に居住し、観光地点及び行祭事・イベントを訪れた者を訪日外国人客とします。

(6) 観光地点等入込客数

観光地点及び行祭事・イベント（以下「観光地点等」という。）ごとの観光入込客の総数です

(7) 観光入込客数

都道府県の観光地点を訪れた観光入込客をカウントした値で、例えば、1 人の観光入込客が当該都道府県内の複数の観光地点を訪れたとしても、1 人回と数えることとなります。

(8) 訪問地点数

観光入込客 1 人の 1 回の旅行において、当該都道府県内で訪問した観光地点の数です。

(9) 観光消費額単価

観光入込客 1 人の 1 回の旅行における当該都道府県内での観光消費額です。

(10) 観光消費額

当該都道府県を訪れた観光入込客の消費の総額です。観光入込客数と観光消費額単価を掛け合わせることで算出されます。

2-2 統計の対象とする項目

観光入込客統計は、都道府県単位での観光入込客数、観光消費額単価及び観光消費額を統計量とします。

(1) 観光入込客数（人回）

四半期ごとの当該都道府県内にある観光地点を訪れた観光入込客数及びその属性別内訳（目的別、居住地別、宿泊／日帰り別）で、区分は以下の表の示すとおり、都道府県の県内／県外別の観光入込客数の総数及び県内／県外別の宿泊客数、日帰り客数です。なお、単位は観光入込客の1回の来訪を1人回とします。

(2) 観光消費額単価（円／人回）

四半期ごとの当該都道府県内にある観光地点を訪れた観光入込客1人回当たりの属性別平均消費額で、区分は以下の表の示すとおり、都道府県の県内／県外別の観光入込客の消費額単価及び県内／県外別の宿泊客、日帰り客の消費額単価です。

なお、当該都道府県外での消費分については、当該都道府県の観光消費額単価には含めないものとします。

(3) 観光消費額（円）

四半期ごとの当該都道府県内にある観光地点を訪れた観光入込客の総消費額及びその属性別内訳（目的別、居住地別、宿泊／日帰り別）で、区分は以下の表の示すとおり、都道府県の県内／県外別の観光入込客の総消費額及び県内／県外別の宿泊客、日帰り客の総消費額です。

宜野座村観光振興計画

発行年 2022年（令和4年）3月

発行 宜野座村観光商工課

〒904-1392 沖縄県国頭郡宜野座村字宜野座 296 番地

TEL 098-968-5125